

NAS 初心者ガイド

—

DSM7.X を基に

Synology

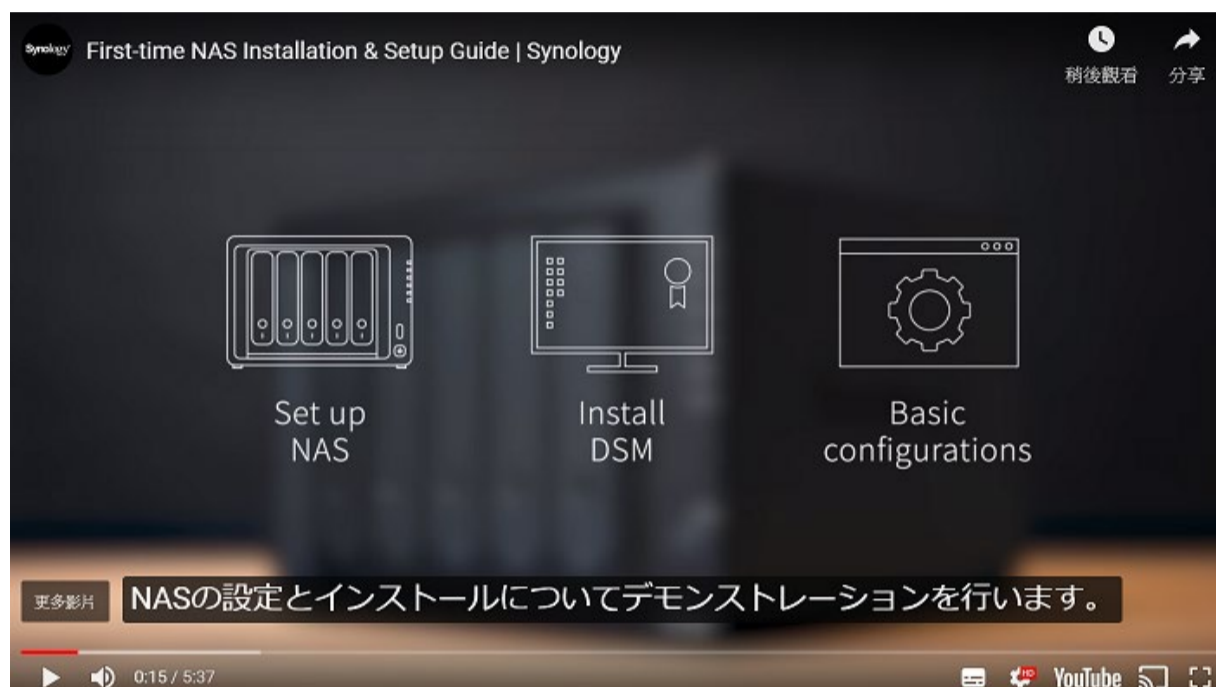
目次

1. NASのハードウェアセットアップ	1
1.1 互換性のあるドライブの確認方法	1
1.2 ハードウェアの組み立て方法	2
1.3 補足:拡張する際の注意点(Plus シリーズ以上の NAS 対象)	8
2. オペレーティングシステム(OS)のインストール	9
2.1 Web Assistant を使って DSM をインストールする	9
2.2 ストレージプール作成(基礎編)	12
2.3 DSM の操作画面	16
3. 基本的な使用方法	19
3.1 共有フォルダの作成・データのアップロード方法	19
3.2 ブラウザから NAS のファイルを操作する	21
3.3 補足:ごみ箱	27
3.4 DSM ユーザーアカウントの作成・権限設定	27
3.5 ローカルネットワークに共有フォルダをマウントする方法	34
3.6 QuickConnect の設定方法	37
4. パッケージの紹介	40
4.1 パッケージのインストール方法	40
4.2 主なパッケージ紹介	41
5. モバイルアプリからNASへ接続する方法	43
5.1 アプリのインストール方法	43
5.2 DS file の操作方法	44
5.3 対応パッケージ一覧表	47
6. 困ったとき確認してほしい項目	48
6.1 Synology 公式ウェブサイト確認方法	48
6.2 サポートチケットの新規作成・返信方法	50
7. 補足資料・よくある質問	58
7.1 RAID の種類と保護レベル	58
7.2 ストレージプール作成(応用編)	60
7.3 DSM 管理者アカウントと Synology アカウントの違い	62
7.4 よくあるお問い合わせ	64
7.5 オンライン上の説明とナレッジベース	67

1.NAS のハードウェアセットアップ

NASの初期設定はとても簡単です。ハードウェアセットアップ～OSインストールまでをご紹介した動画もご用意しています。

- ・ NASのセットアップおよび初期設定：[\[https://sy.to/6ibwh\]](https://sy.to/6ibwh)



ハードウェアセットアップに必要なアイテムは下記になります。

- ・ 購入したNAS
 - ・ NAS本体/LANケーブル/AC電源アダプターなどが同梱されています
- ・ 互換性のあるドライブ(HDD/SSD)1台以上
 - ・ Synology製品にはドライブが付属されていません
 - ・ 複数ドライブを用意する場合、ドライブの容量は同等の容量にすることを推奨します
- ・ その他拡張に必要な部品(メモリ/M.2 SSD/NICなど) … 詳細は[1.3 補足：拡張する際の注意点]をご確認ください

1.1 互換性のあるドライブの確認方法

NASにはドライブ(HDD/SSD)を装着させる必要があります。

初心者の方の場合、ドライブはSSDではなく、HDDから使用することをお勧めします。

HDDを選定する際には「Synology製品互換性リスト」に掲載されているHDDから選定する必要があります。

- ① 「Synology製品互換性リスト」を下記よりアクセスします。

- ・ Synology製品互換性リスト：[\[https://sy.to/v6lnv\]](https://sy.to/v6lnv)



- ② [お使いのSynology製品を見つけてください]からNASモデルを選択
- ③ [カテゴリーの選択]にて[HDD/SSD]を選択
- ④ [デバイスの発見]をクリック

そうすることで、NASと互換性のあるHDD/SSDの一覧を確認できます。

DS220j HDD/SSD デバイスの発見

① ② ③

HDD/SSD

Synology 製品互換性リストのサードパーティ製品および周辺機器の互換性はテストおよび検証済みです。Synology ラボで実施されるテストでは、すべての側面がカバーされていない可能性があり、ファームウェアやハードウェアの変更がデバイスの互換性と安定性に影響を与える可能性があります。Synology は、リスト上のサードパーティ製品および周辺機器との互換性を保証するものではなく、予告なしにいつでもリストを更新する権利を留保します (詳細はこちら)。

Synology 製品互換性リストにないデバイスを使用している場合、Synology はテクニカル サポートを提供しません。

- 4K ネイティブ (4Kn) ハードドライブを別々に使用、管理します。
4Kn ハードドライブは、DSM 5.1-5021 以上でサポートされています。ボリューム、ディスクグループ、RAID group、LUN を作成、修復、拡張、移行するときには、別のディスク セクタ形式のハードドライブとは別に 4Kn ハードドライブをお使いください。
- FS/SA/UC/XS+/XS シリーズモデルには、常にエンタープライズレベルのドライブをインストールしてください。
最適なパフォーマンスを確保するために、エンタープライズレベルのサーバーでエンタープライズレベルのドライブを使用することを強くお勧めします。

▲ 互換しない機種

クラス	製造元	型番	シリーズ	ファームウェア	容量	タイプ	機能	注記
Enterprise	Seagate	ST16000NM001G-2XK103	Exos X16	SN02	16TB	3.5" SATA HDD	-	▲
メモ								
HDD/SSD のファームウェアは、通常、その製造者により更新されたり、修正されたりする場合があります。Synology は、リストに記載されたファームウェアが Synology 製品との互換性を保証します。								
このドライブは、2014年6月以降に出荷されたハードドライブトレイを採用している Synology サーバー モデルとのみ互換性があります。								
Enterprise	Seagate	ST14000NM001G-2QJ103	Exos X16	SN02	14TB	3.5" SATA HDD	-	▼
Enterprise	Seagate	ST12000NM001G-2MV103	Exos X16	SN02	12TB	3.5" SATA HDD	-	▼

※注意※

Synology製品互換性リストにないHDDを使用された際の不具合については、テクニカルサポートによる原因調査などの支援を提供出来ませんのでご注意ください。

1.2 ハードウェアの組み立て方法

1.2.1 ストレージ(HDD・SSD)の取り付け

NASには①ケースにネジでドライブを固定するモデルと、②ドライブトレイを利用するモデルの2種類があります。ご購入したタイプに合わせて、以下の手順に従って、ドライブの組み立てを行いましょう。機種別のより詳しい取り付け方法は、付属のQuick Installation GuideやSynology Japan公式YouTube動画もしくは弊社の公式ウェブサイトのナレッジセンター内のハードウェア設置ガイドをご参照ください。

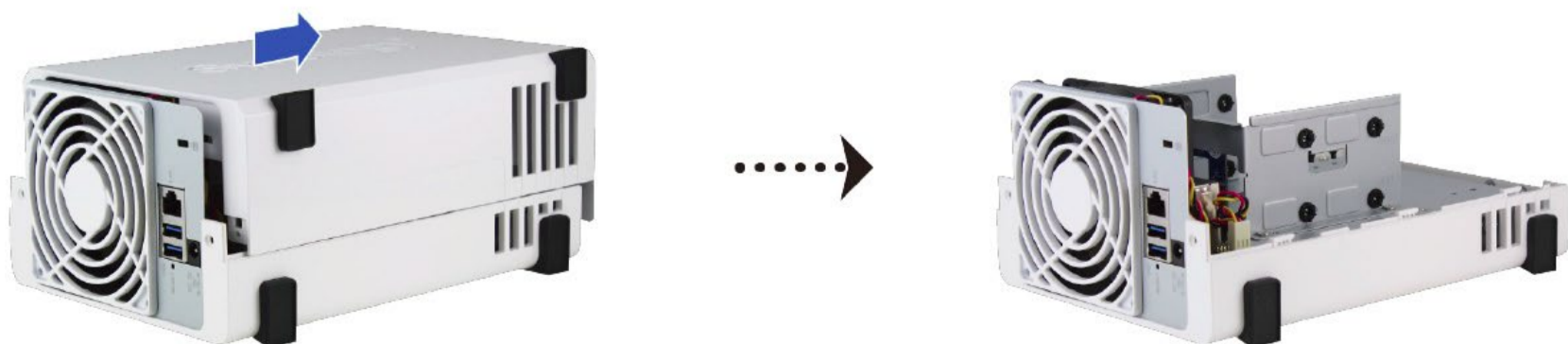
- Quick Installation Guideの2ページ以降参照
- YouTube NASセットアップ動画：[\[https://sy.to/zgmii\]](https://sy.to/zgmii)



注意：データが保存されているドライブを取り付けると、システムはドライブを初期化してドライブ内のすべてのデータを消去します。取り付ける前に、重要なデータをバックアップしておいてください。

① ケースに直接ネジ止めするモデル(対象モデル:DS120j/DS120j/DS220jなど)

a. 下に示す方向に上ケースを矢印方向にスライドし、上ケースを外します。



b. ドライブを取り付けます。

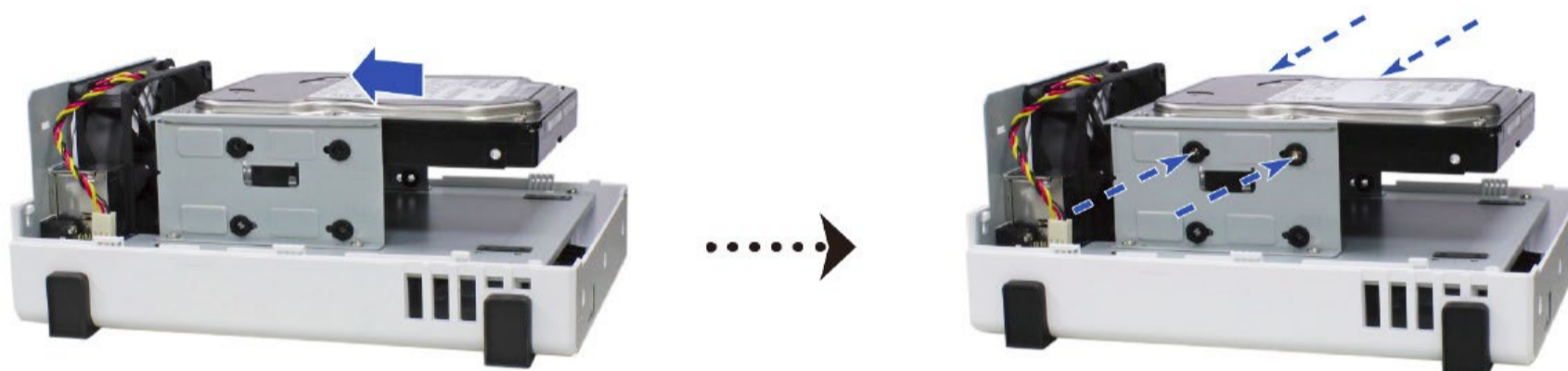
c. d~fについては下記当てはまるドライブの方法でドライブの装着を行います。

■ 両側にネジ穴が3つあるHDDの場合



d. ドライブをドライブベイにスライドさせて、SATAコネクタに完全に差し込みます。

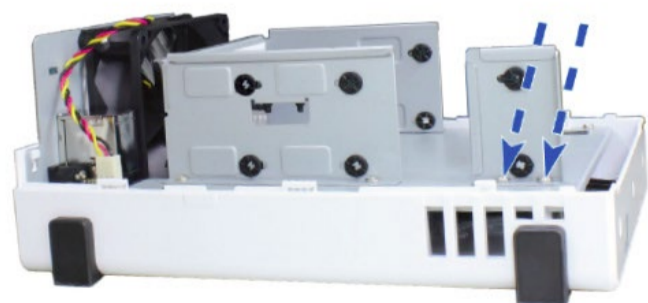
e. ドライブを付属のネジで固定します。



■ 両側に2個のネジ穴のある3.5インチ ドライブの場合

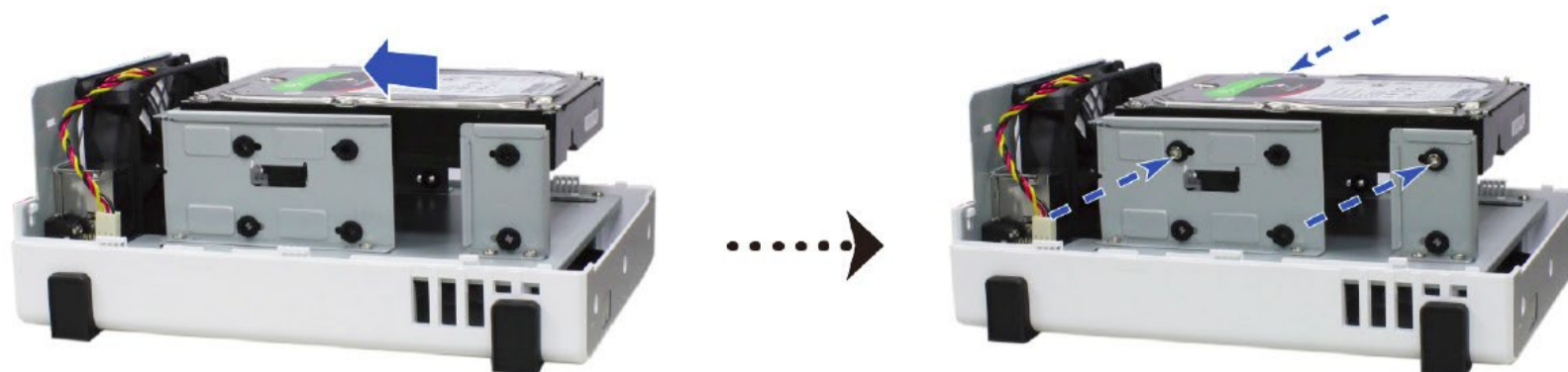


d'. HDDブラケットを下図矢印のように置き、同梱のネジで固定します。



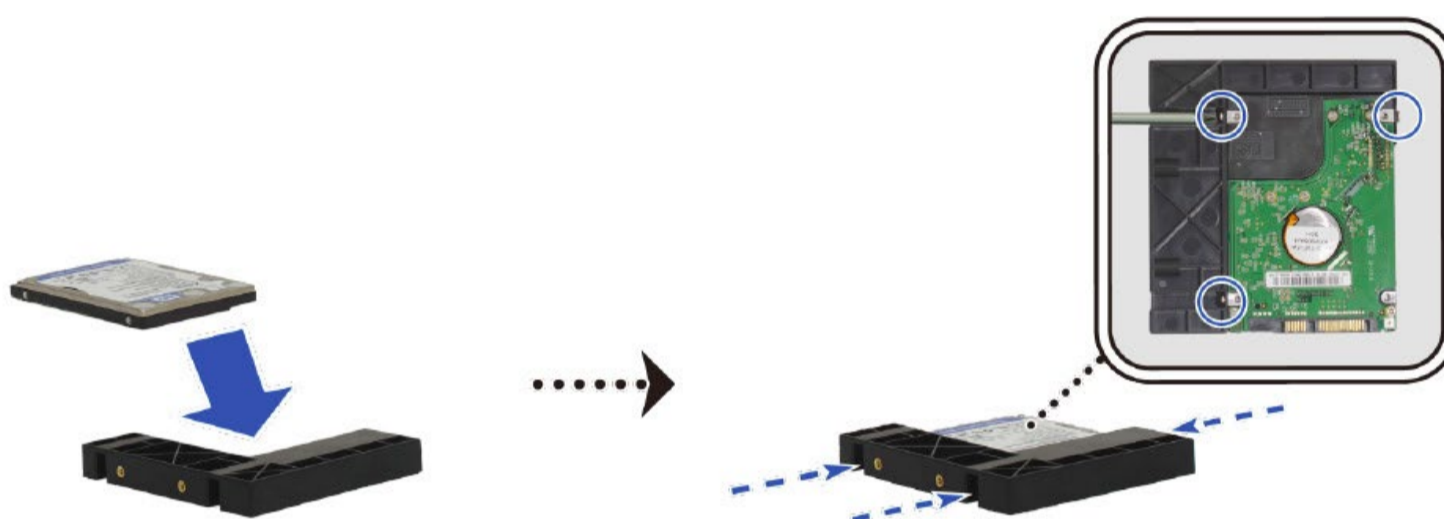
e'. ドライブをドライブベイにスライドさせて、SATAコネクタに完全に差し込みます。

f'. ドライブを付属のネジで固定します。



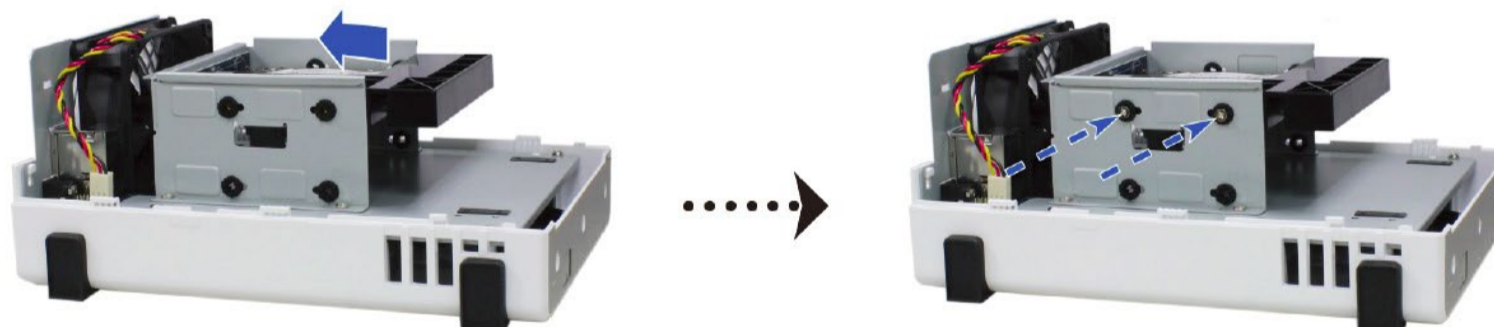
■ 2.5インチドライブの場合

d". 2.5インチドライブに2.5インチ→3.5インチ変換アダプターである「Disk Holder (Type C)」(別売)を取りつけ、ネジを締めてドライブを固定します。※以下は参考例です。



e". Disk Holder (Type C)を装着してからドライブベイに完全に差し込みます。

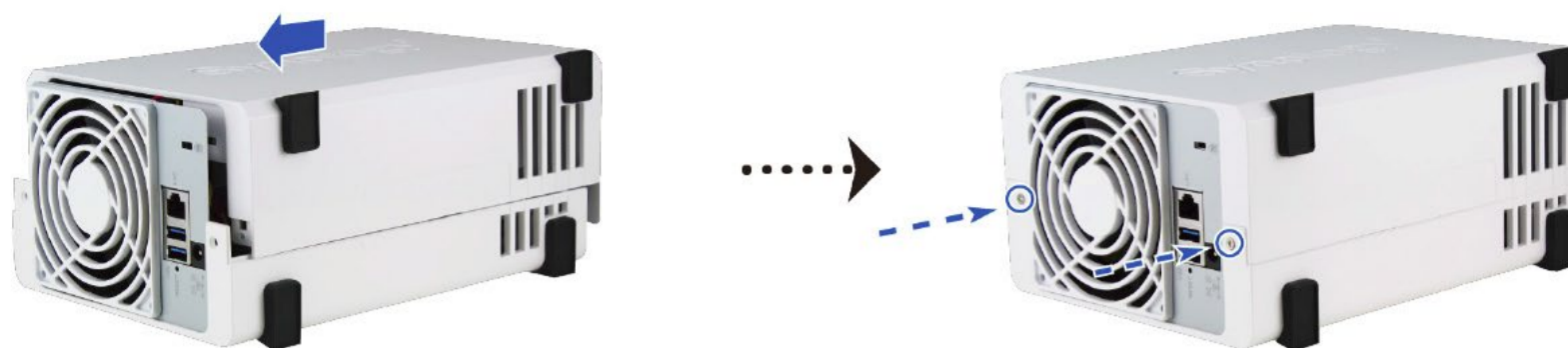
f". ドライブを付属のネジで固定します。



g. 装着予定のドライブ台数分で上記の手順を繰り返し、ドライブを取り付けます。ドライブの番号は次の通りです。



h. 上ケースを戻し、バックパネルをネジで固定し、1.2.2 に移動します。



② ドライブトレイを利用するモデル (HDD ホットスワップ対応モデル)

(対象モデル:DS218+/DS220+/DS920+など)

a. ドライブトレイの下部分を押しなどして、ドライブトレイを取り外します。



b. ドライブトレイにドライブを取り付けます。

c. d~eについては下記当てはまるドライブの方法でドライブの装着を行います。

■ 3.5インチドライブ(HDD)の場合

d. ドライブトレイの側面から固定パネルを取り外します。

e. ドライブトレイにドライブを設置してから、固定パネルを取り付け、ドライブを固定します。



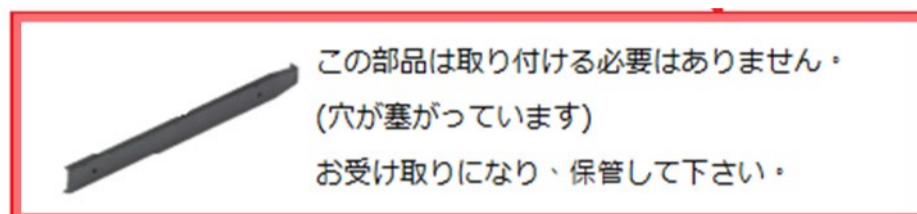
■ 2.5インチドライブ(HDD/SSD)の場合

d'. ドライブトレイの側面から固定パネルを取り外します。

e'. ドライブトレイの青色の領域(下図参照)にドライブを設置し、ドライブトレイを裏返して、ドライブを所定の位置にネジで固定します。



注意:2.5インチドライブでは固定パネルは使用しません。3.5インチドライブを使用する際に備えて保管してください。



f. ドライブを取り付けたドライブトレイを空のドライブベイに挿入します。



注意:トレイが完全に押し込まれていることを確認してください。しっかり接続されていないと、ドライブが正常に機能しない可能性があります。

g. 必要であれば、ドライブトレイ用キーでドライブトレイをロックすることができます。トレイに差し込み、ドライブトレイ用キーを時計回りに回して("I"の位置)ドライブトレイのハンドルをロックします。ご自宅外など、ドライブの抜き差しがされてしまう環境下の場合、不用意にドライブの抜き差しがされないよう、ドライブトレイのロックをご確認ください。

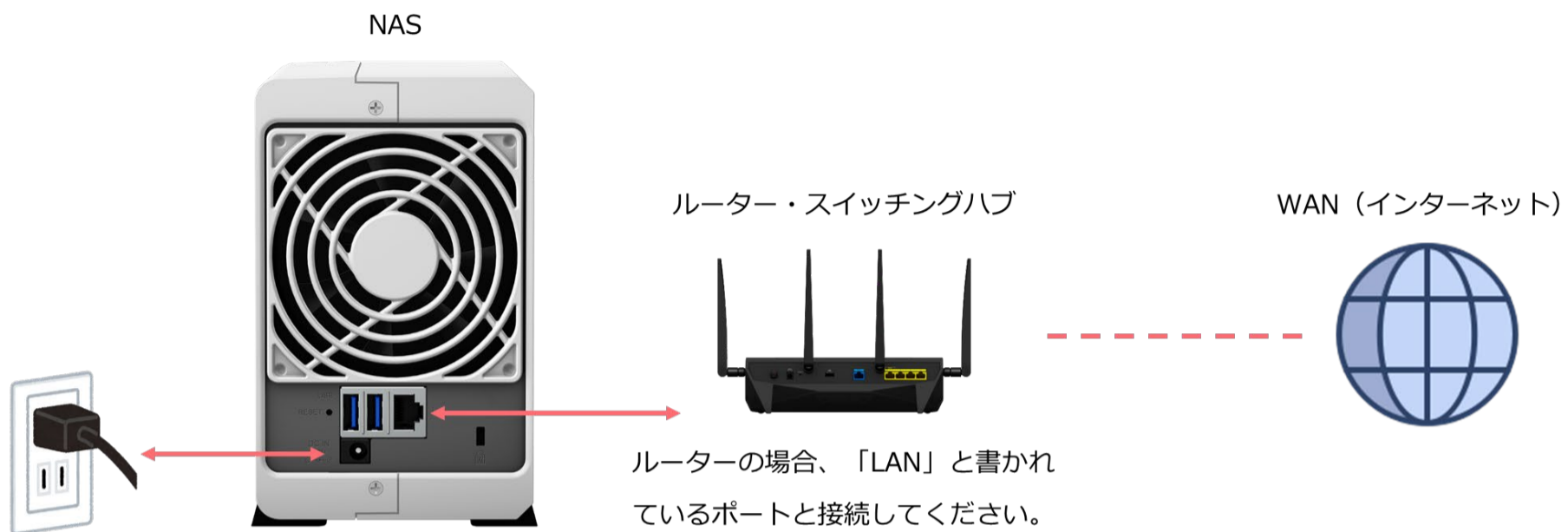


h. 装着予定のドライブ台数分で上記の手順を繰り返し、ドライブを取り付けます。ドライブには以下のように番号が付けられています。



1.2.2 NASを起動する

1. NASの電源ポートにAC電源アダプターを接続します。もう片方のプラグをコンセントに繋ぎます。LANケーブルを使用してNASをルーター(LANと書かれたポートに接続)やスイッチングハブと接続します。この時、WANやInternetと書かれたポートはONUなどと接続されていることを確認してください。



2. 電源ボタンを押して、NASの電源をオンにします。正面のLEDインジケータが点滅もしくは点灯状態となります。しばらくするとNASは稼働開始し、ネットワーク、コンピューターから認識される状態になります。

1.2.3 LEDインジケータの確認方法

NAS本体の前面には、各種状態を確認するためのLEDがあります。LEDの色や点灯/点滅の状態によって、本体のステータスを確認することができます。以下はDS220jの例となります。

その他のモデルについてはハードウェア設置ガイドより確認することができます。

ハードウェア設置ガイドの確認方法は[6.1 Synology公式ウェブサイト確認方法]をご参照ください。

・DS220jのLEDインジケータ

システムモード	LEDインジケータ		
	POWER	ステータス	
	青または緑	緑	オレンジ
電源を入れる	点滅	オフ	オフ
シャットダウン	点滅	静的	オフ/静的
DSMの準備ができていません	静的	点滅	オフ/点滅
DSMを使用できます	静的	静的	オフ/静的
ハイバネーション	静的	オフ	オフ/静的
アプリケーション	静的	切り替え	
電源オフ	オフ	オフ	オフ



1.3 補足:拡張する際の注意点(Plusシリーズ以上のNAS対象)

NASにはJ/Value/Plusシリーズなどを取り揃えています。

「DS●●+(例、DS920+)」など「+」が付くPlusシリーズモデルでは、RAMメモリーモジュールやアダプターカード、ネットワークインターフェースカード(NIC)、M.2 SSDなどを追加搭載できるモデルがあります。これらRAMモジュールやアダプターカードやネットワークインターフェースカード(NIC)、M.2 SSDについては「Synology製品互換性リスト」で必ず互換性を確認いただいた拡張部品のみを搭載して下さい。NASと互換性が確認できていない拡張部品を使用する場合、動作不良などが生じる原因になります。

加えて互換性が確認できていない拡張部品でNASが故障してもテクニカルサポートによる原因調査などの支援を提供出来ませんので、必ず「Synology製品互換性リスト」を確認してからNASに装着して下さい。

2.オペレーティングシステム(OS)のインストール

ハードウェアのセットアップが完了したら、Synology NASのオペレーティングシステム(OS)である、DiskStation Manager(以下、DSM)のインストールを行います。

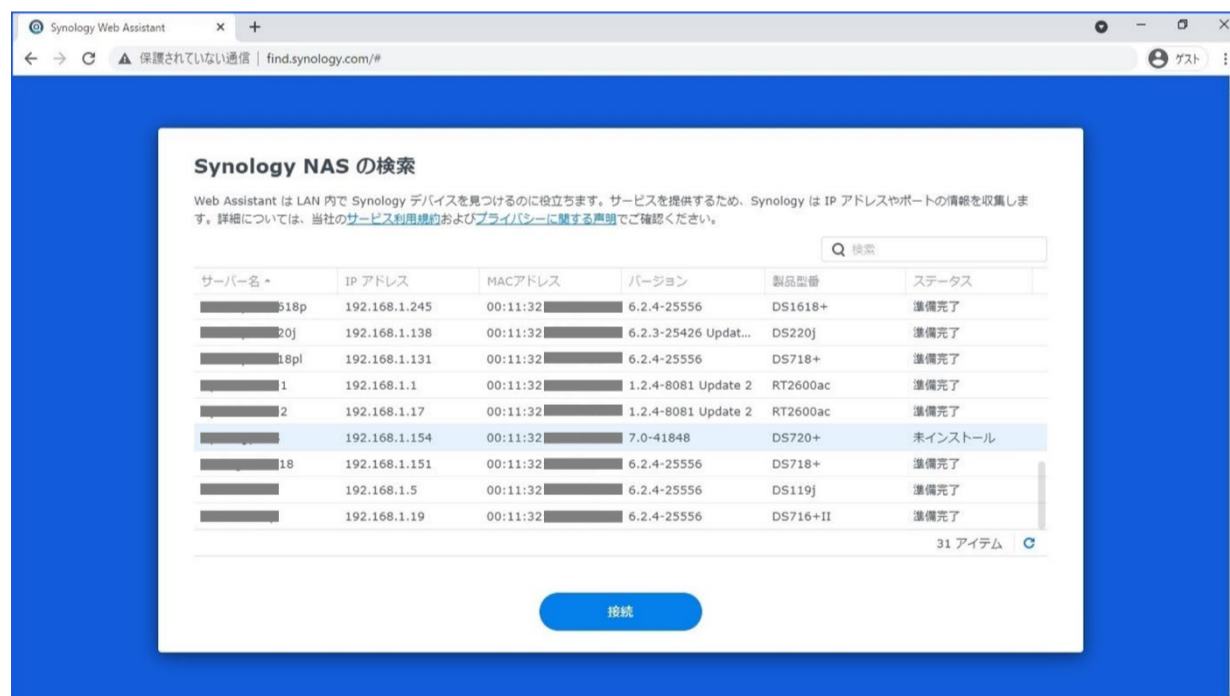
2.1 Web Assistantを使ってDSMをインストールする

NASには「Web Assistant」というツールが用意されています。これはLAN内のNASを自動検索し、インターネットから最新のDSMをダウンロードしてDiskStationにインストールするためのツールです。

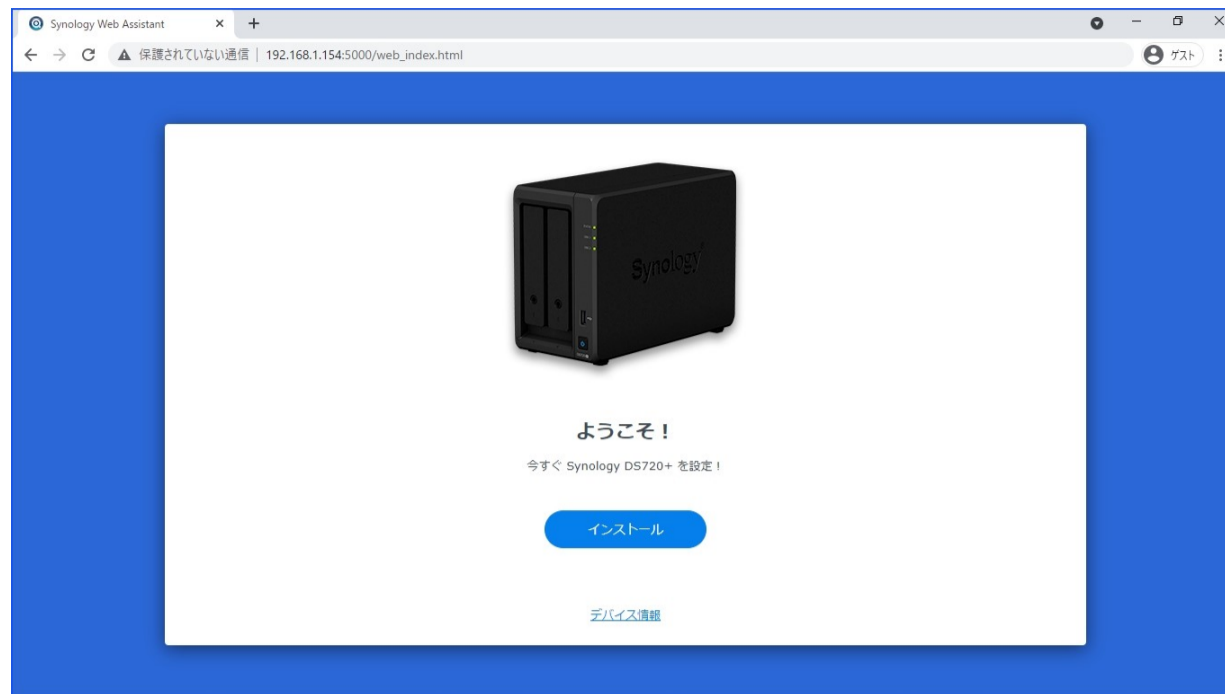
「Web Assistant」を使用するには、次の手順でセットアップを行います。セットアップまで終了したらNASは家庭・企業内のネットワークと接続できる環境にあります。

1. NASと同じネットワーク内のクライアントPC(Windows/Mac)のウェブブラウザ(サポートされるブラウザ: Chrome、Firefox、Safariなど) で下記URLをアドレスバーに入力し、「Web Assistant」を立ち上げてください。クライアントPC(Windows/Mac)のブラウザで「Web Assistant」が起動し、ローカルネットワーク内のNAS を自動的に検索、検出します。

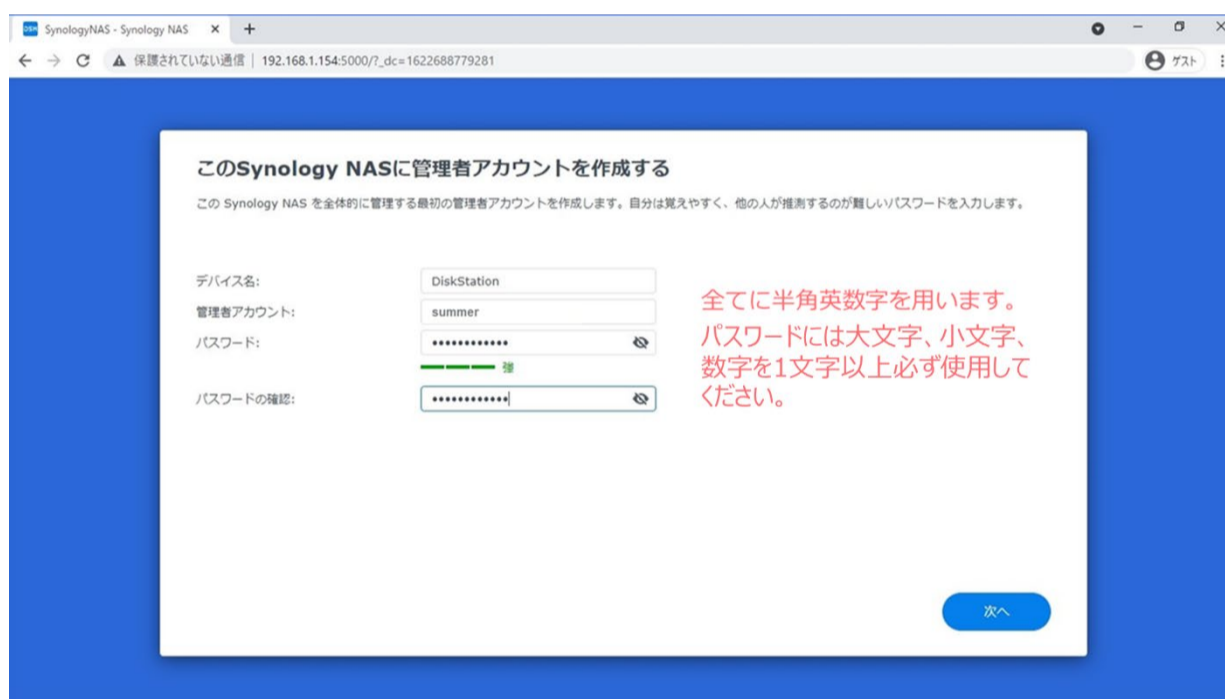
- Web Assistant : [<http://find.synology.com>]



2. 下記はNASにはDSMが未インストールの状態を表示しています。[インストール]をクリックし、[次へ]進みます。DSMのインストールが完了するとNASが再起動します。



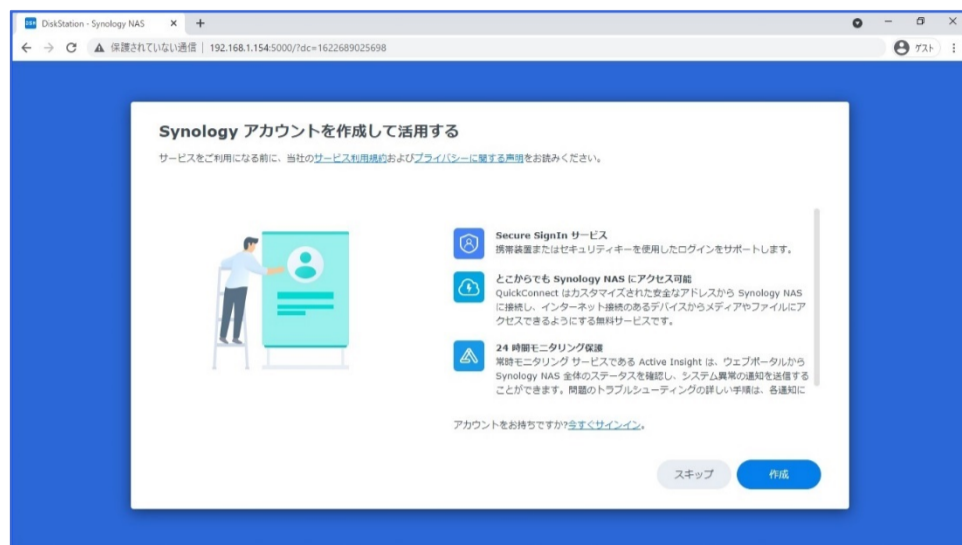
3. [起動]をクリックすると、管理者アカウント作成画面に移行します。使用するNASの[デバイス名]・[管理者アカウント]・[パスワード]を入力し、[次へ]をクリックします。ここで設定した[管理者アカウント]は**DSMアカウント**としてNASの管理者IDとなります。またDSMにログインする際に[パスワード]が必要となります。[パスワード]はNASを管理される方が第三者に不正利用されないよう保護してください。



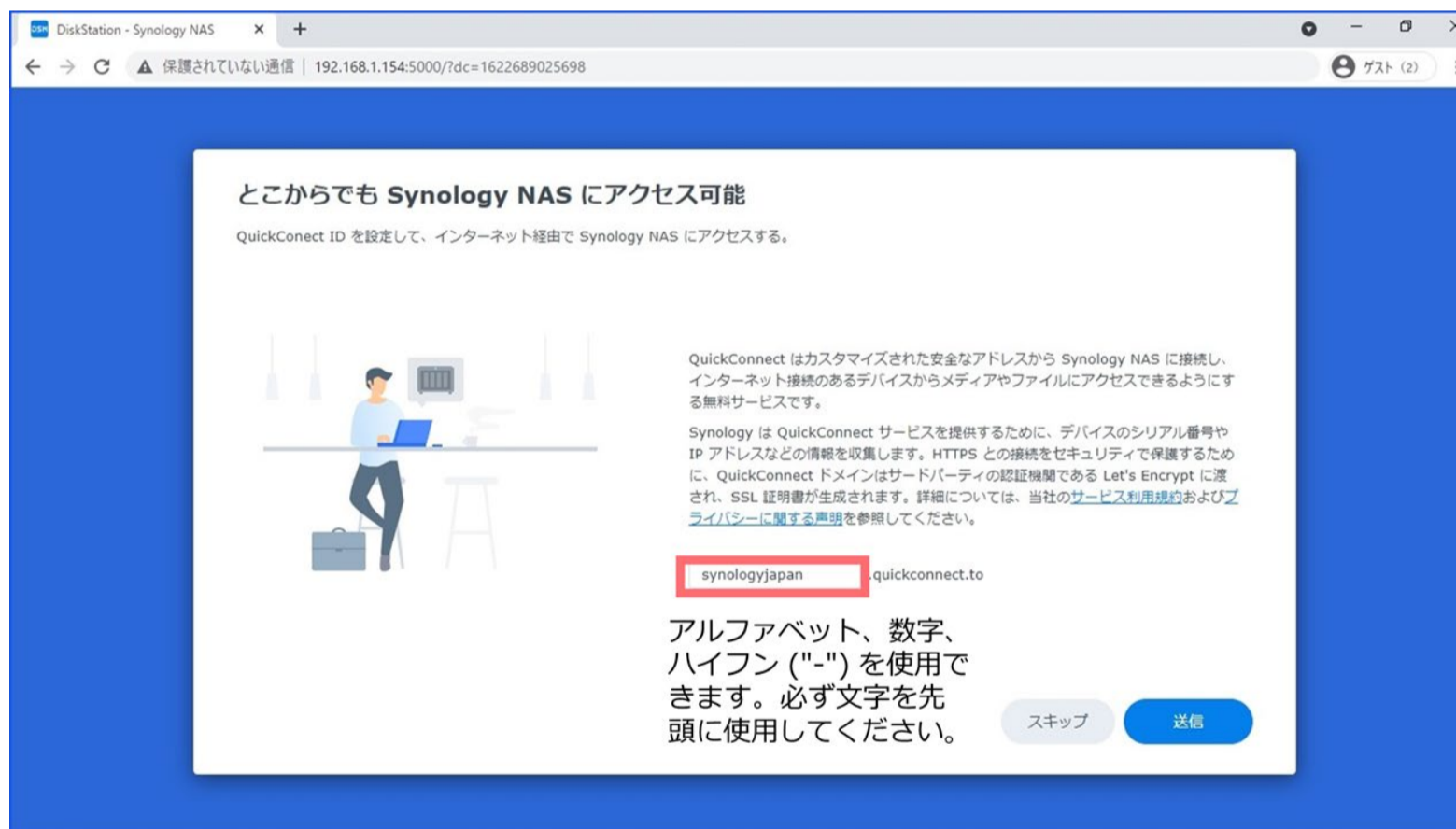
4. DSMアップデートとメンテナンスの設定になります。セットアップ完了後でも変更は可能です。ここでは「自動的に最新のDSMとパッケージのアップデートをインストール」を選び[次へ]進みます。



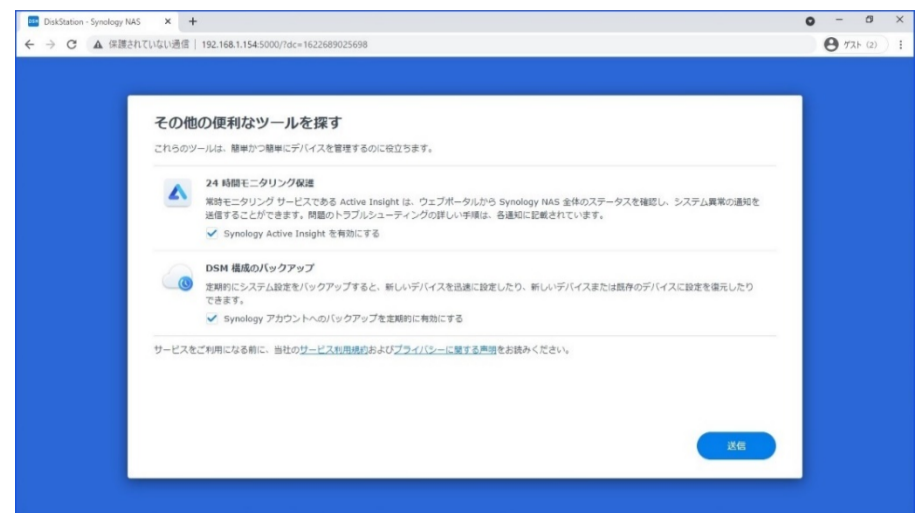
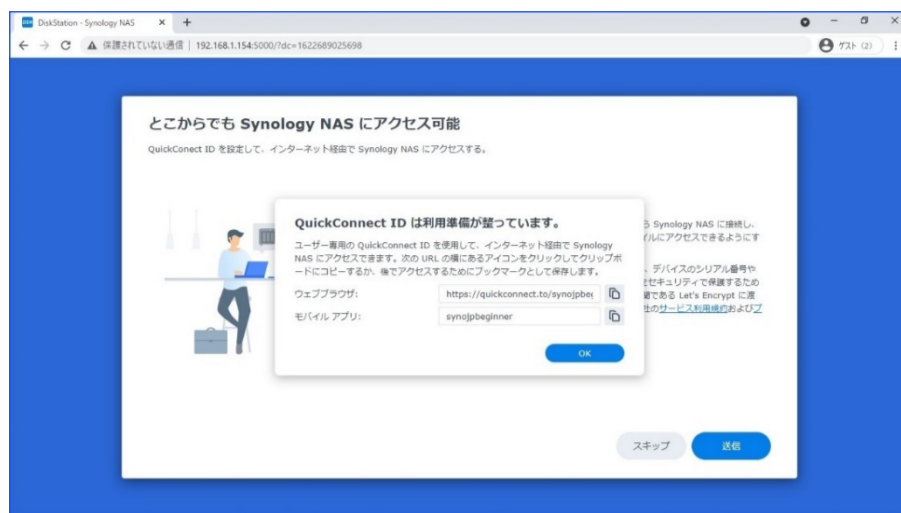
5. Synologyアカウントを作成しましょう。これによってSecure SignInサービス・QuickConnect機能(インターネット上のどこからでもNASに簡単アクセスできるサービス、[3.6 QuickConnectの設定方法]参照ください)・24時間モニタリング保護の利用ができます。後から作成するにはスキップしてください。([コントロールパネル]> [外部アクセス]から作成・編集可能です)アカウントのご利用には規約とポリシーに同意して頂く必要があります。



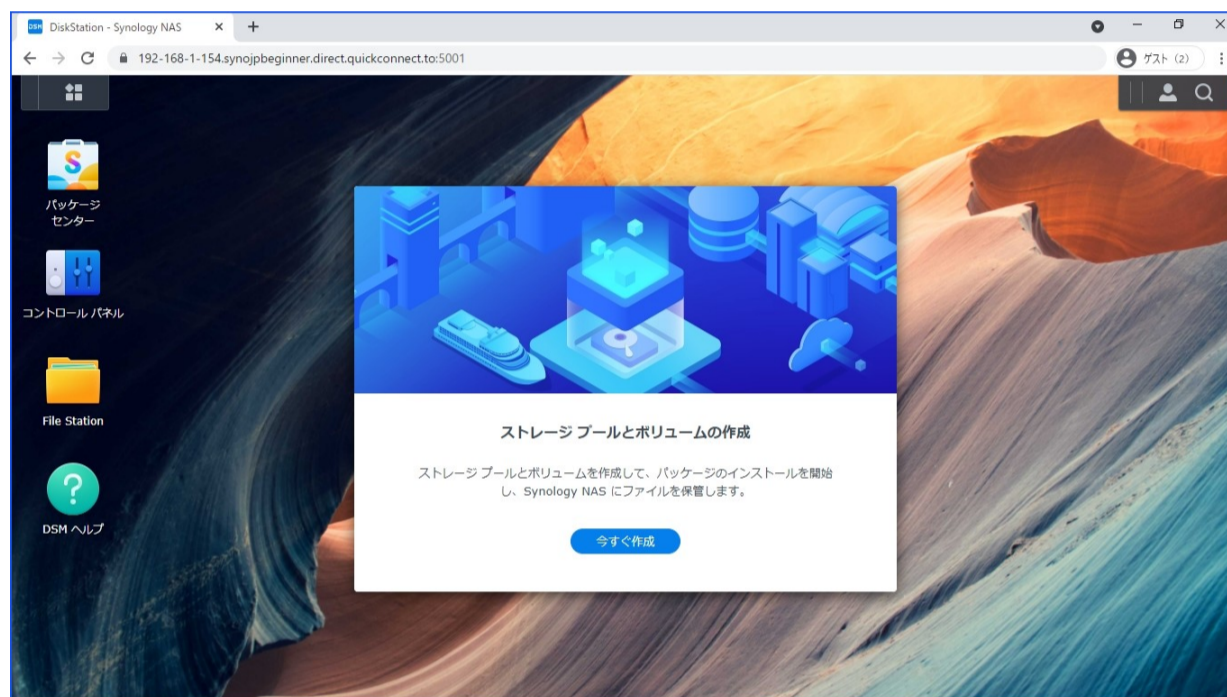
6. [サインイン]を選択すると、QuickConnect IDを作成できます。



7. QuickConnect ID作成後、アクセス用の情報が表示されますので、[OK]をクリックします。次に[その他の便利なツール]を選択し、[送信]をクリックします。



8. DSMデスクトップが表示されます。それではストレージプールを作成しましょう。



2.2 ストレージプール作成(基礎編)

まずNASにデータを保存できるように、共有フォルダを作成する必要があります。

NASでは、共有フォルダを作るにはボリュームが必要であり、ボリュームを作るにはストレージプールが必要であり、ストレージプールを作るにはドライブが必要となっています。

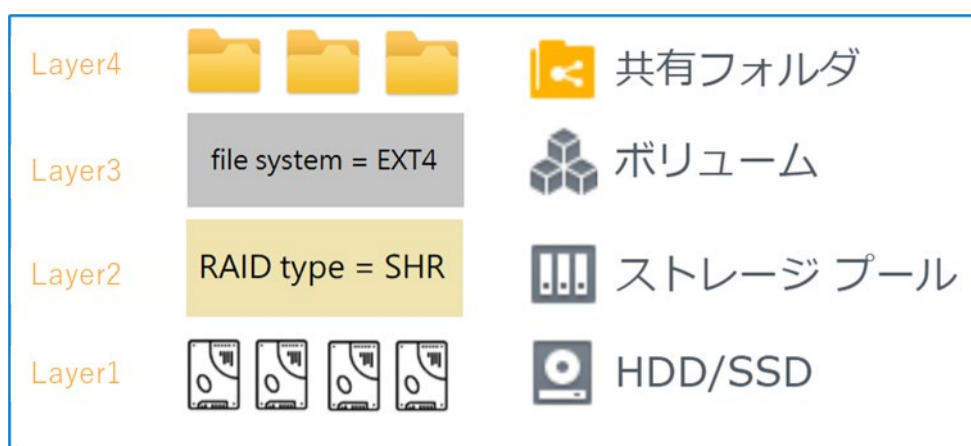
既にドライブはNASに装着されていますので、次に使用するRAIDの種類を選んでストレージプールを作成し、その上にボリュームを作成します。ボリュームにはファイルシステムが同時に作成されます。

ファイルシステムについては、ext4とBtrfsがあり、全てのSynology NASはext4に対応しています。Btrfsに対応しているモデルは下記のURLをご参照ください。

- ・ Btrfs対応モデル : [<https://sy.to/23fof>]



ボリュームが作成された後、実際にファイルを保管する場所として使用する共有フォルダの作成が可能となります。共有フォルダの作成については[3.1 共有フォルダの作成・データのアップデート方法]をご確認ください。

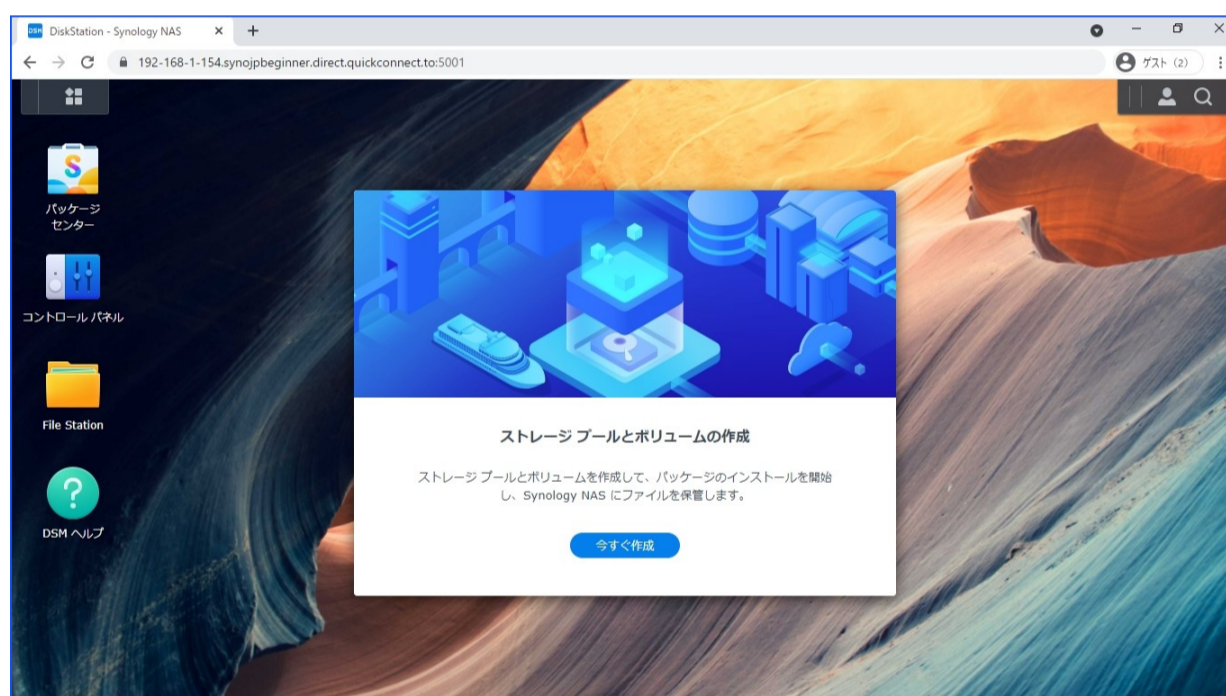


※参考イメージ図

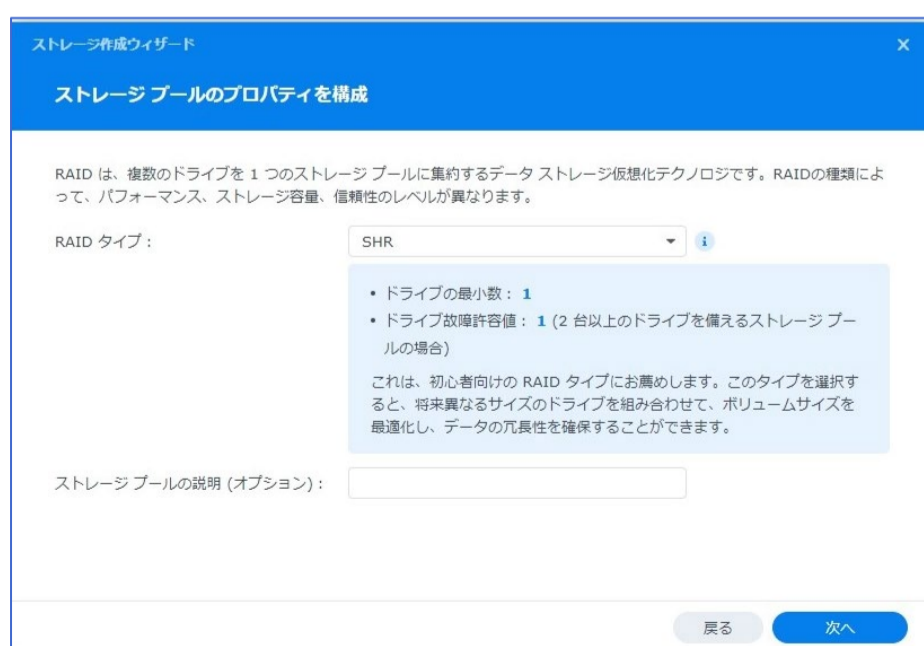
[2.2 ストレージプール作成(基礎編)]ではSHR構成によるストレージプールおよびボリュームの作成をご案内します。SHR構成について、[7.1 RAIDの種類と保護レベル]を参照ください。

その他のRAIDタイプをご選択したい場合、[7.2 ストレージプール作成(応用編)]をご確認の上作成してください。(下記では新規のウィザード通りの手順ですが、[ストレージマネージャ]>[ストレージ]>[作成]からも作成可能です)

1. [今すぐ作成]をクリックします。



2. [起動]をクリックし、ストレージプールとボリュームを構成します。ここでは、「RAIDタイプ」は「SHR(Synology Hybrid RAID Technology)」を選択します。



3. ドライブの選択でディスク(HDD/SSD)を選択しストレージプールを作成します。

ストレージ作成ウィザード

ドライブの選択

1 以上のドライブを選択して、RAID タイプ SHR のストレージプールを作成してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	ディスク	モデル	ドライブの種類	ドライブ サイズ
<input checked="" type="checkbox"/>	ディスク 1	ST1000VN002-2EY102	SATA / HDD	931.5 GB
<input checked="" type="checkbox"/>	ディスク 2	ST1000VN002-2EY102	SATA / HDD	931.5 GB

推定容量: 926.9 GB

戻る 次へ

4. ドライブチェックを実行するかを確認します。(新しいドライブにおいても不良セクタが存在する可能性があるため、実際にデータを保存する前にドライブ検査を行うことを推奨します)

ストレージ作成ウィザード

ドライブ チェック

ドライブ チェックを実行すると、ドライブを自動的に再構成できるため、データ アクセス エラーのリスクが軽減されます。

ドライブ チェックを実行
ドライブチェックは、ストレージプールの作成中に同時に実行されるため、時間がかかる場合があります。

ドライブ チェックをスキップする
ドライブ不良セクタは、不良セクタにアクセスしている場合にのみ再構成されます。

戻る 次へ

5. ボリューム容量の割り当てを行います。

ストレージ作成ウィザード

ボリュームの容量の割り当て

ストレージプール: ストレージプール1 (SHR)

合計容量: 926.9 GB

利用可能な容量: 926 GB

割り当てられたサイズを修正: 最大 ⓘ

ボリュームの説明 (オプション):

戻る 次へ

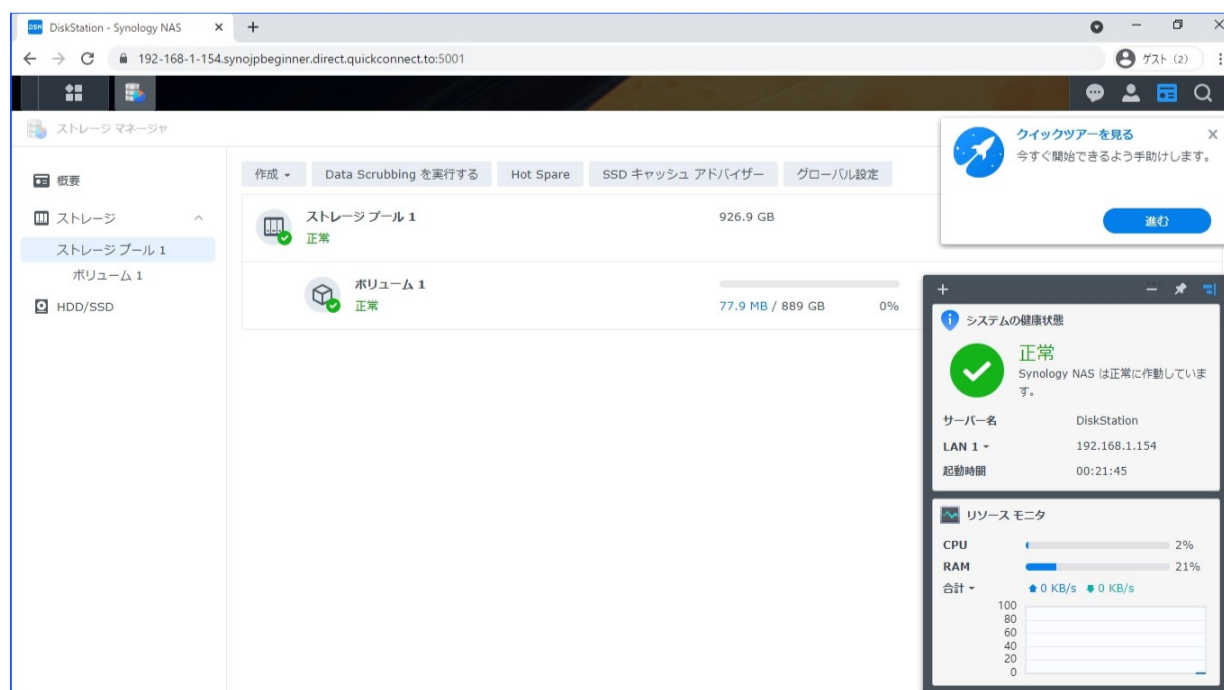
6. ファイルシステムを選択します。NASモデルによってext4しか選択出来ない場合があります。下記はBtrfsとext4が表示されています。



7. 設定内容を確認し、[適用]をクリックしてストレージ プールを作成します。「新しく追加されたドライブ上のすべてのデータをすべて消去する」旨の警告が出ます。再度確認後、問題がなければ[適用]をクリックして進みます。

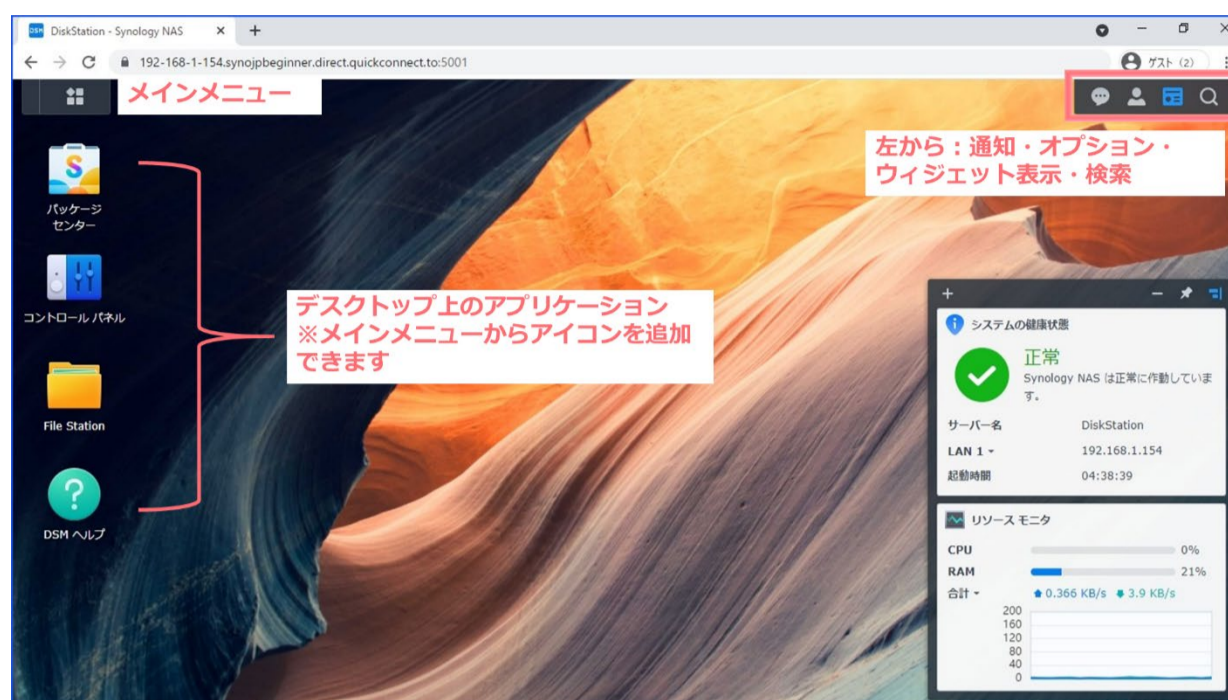


8. ストレージプールの作成が完了しました。



2.3 DSMの操作画面

デスクトップ:デスクトップ上でパッケージとメインメニューを確認することができます。お気に入りのパッケージやよく使用するフォルダのショートカットをデスクトップに追加することができます。



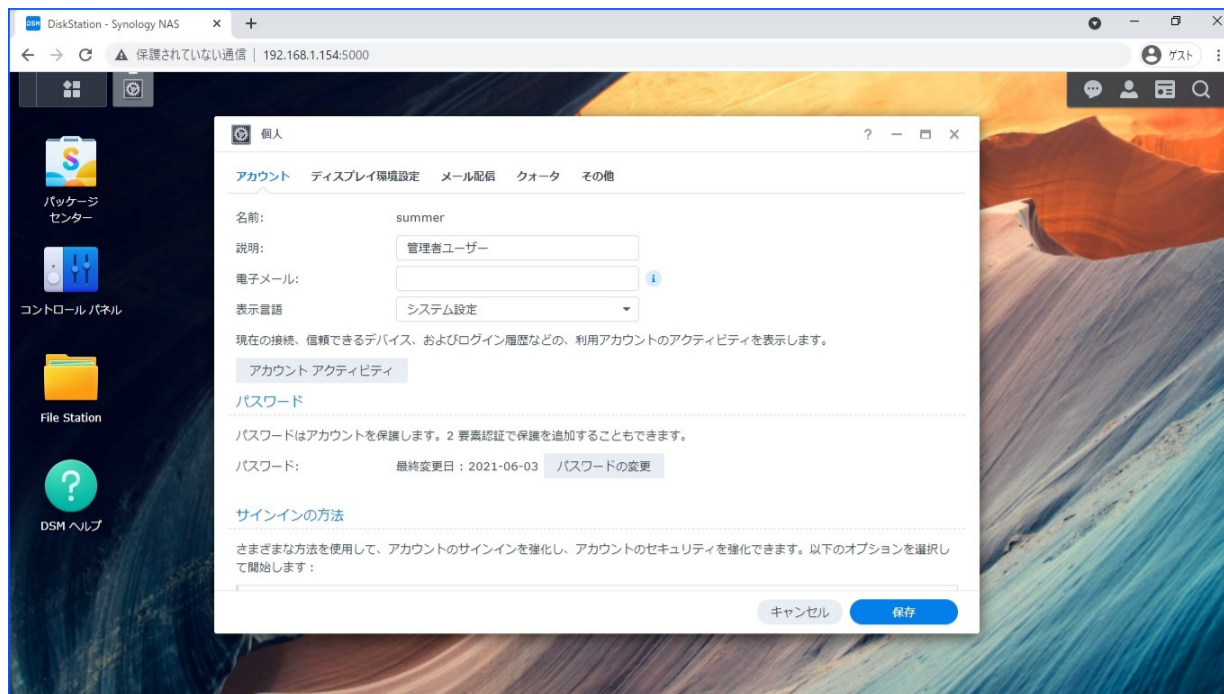
タスクバー:デスクトップ上部にあるタスクバーに以下のアイコンが表示されます:



- ① デスクトップを表示:使用しているパッケージを最小化しデスクトップを表示させます。
- ② メインメニュー:NAS上にインストールしたパッケージを全て表示します。アイコンを押したまま移動させるとデスクトップにパッケージのショートカットを追加できます。
- ③ 使用している(開いている)パッケージ:アイコンをクリックするとパッケージが最小化または表示されます。右クリックをすると管理メニュー(タスクバーに固定、解除、最大、最小、復元、閉じる)が表示されます。
- ④ ハードウェア接続:ハードウェア(USB接続による外付けHDDなど)接続時に接続されているかを確認できます。
- ⑤ アップロード状態:ファイルをNASへアップロードする時に現れます。クリックすると速度や進捗などアップロードに関する詳細が確認できます。
- ⑥ 通知:DSMからの通知やメッセージなどを表示します。
- ⑦ オプション:再起動、シャットダウン、ログアウト、アカウントの設定変更などが選べます。
- ⑧ ウィジェット:システムの健康状態やリソースモニターのグラフィックを表示します。
- ⑨ 今すぐ検索:パッケージ、ファイルやDSMについての説明文などが単語レベルで検索できます。

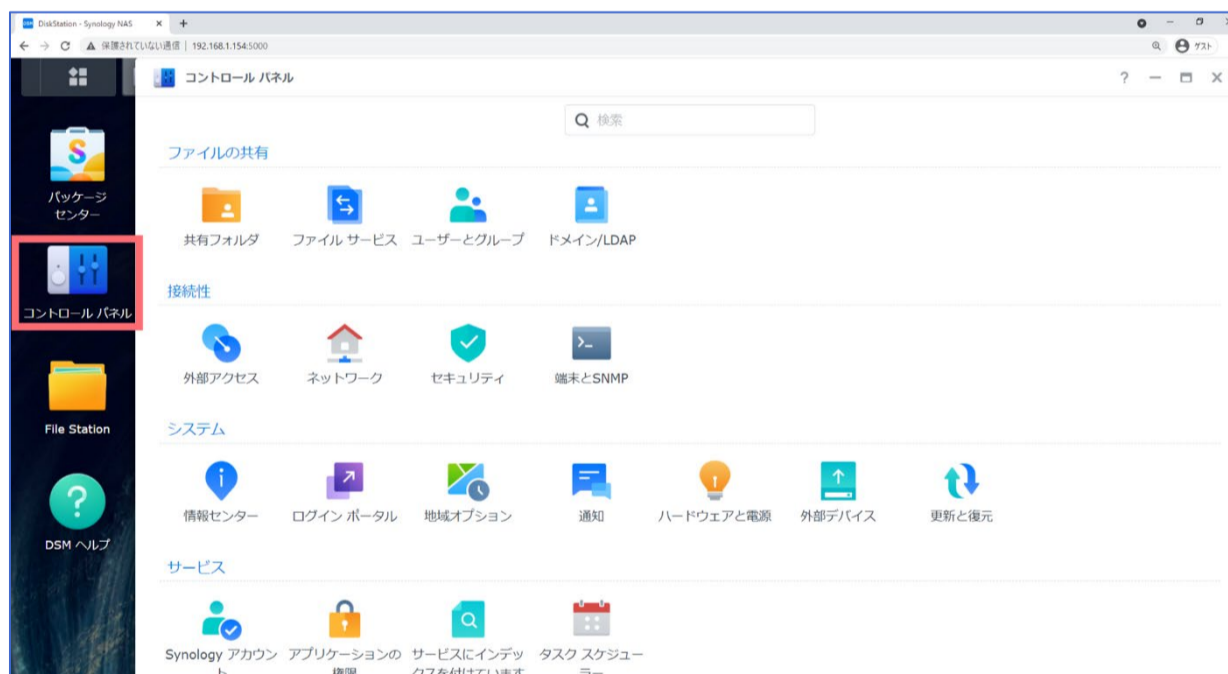
■ 個人設定の管理

個人設定を変更したい場合:オプション(人型のアイコン)をクリックし、[個人]を選択してください。パスワード、2要素認証、デスクトップ背景の変更などが可能です。

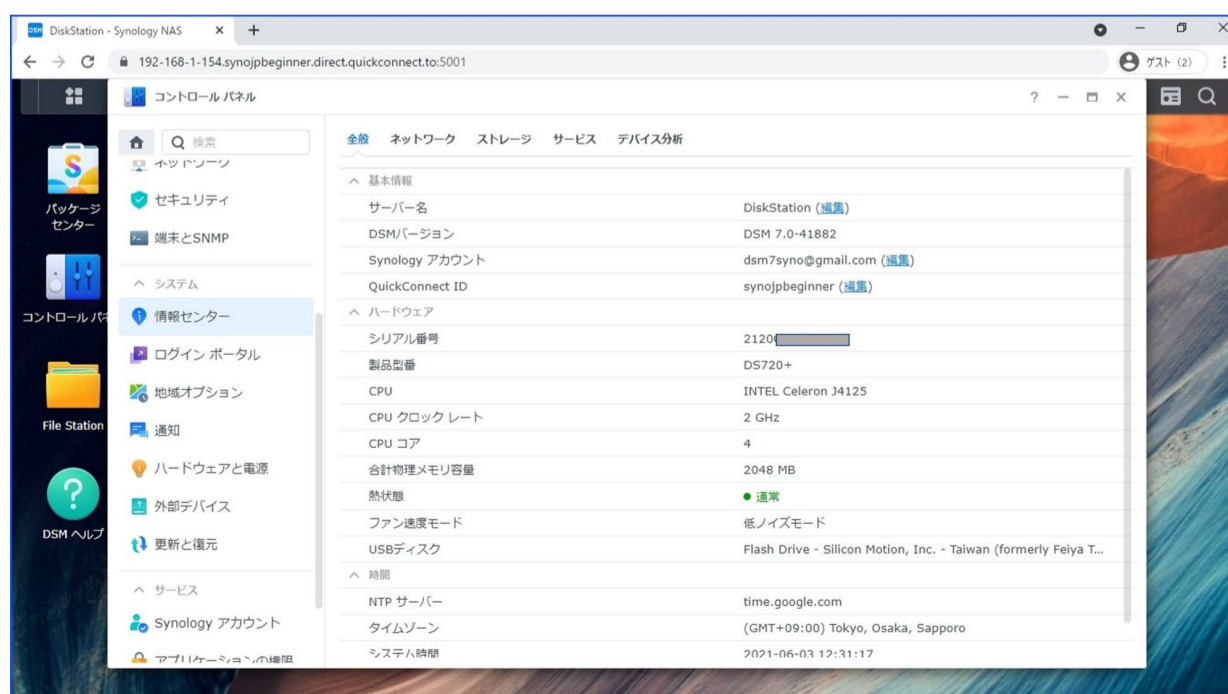


■コントロールパネルとは

DiskStationのほとんどの設定は「コントロールパネル」で行います。コントロールパネルへはデスクトップ上のアイコンか、画面上部の[メインメニュー]からアクセスすることが可能です。コントロールパネルから設定可能な項目は以下の通りです。[更新と復元]では、DSMの更新に関する設定(自動更新やそのスケジュール)が可能です。



■基本設定の情報一覧:



下記はコントロールパネル内の情報センター右上にあるタブの内容になっており、重要な基本設定の確認ができます。

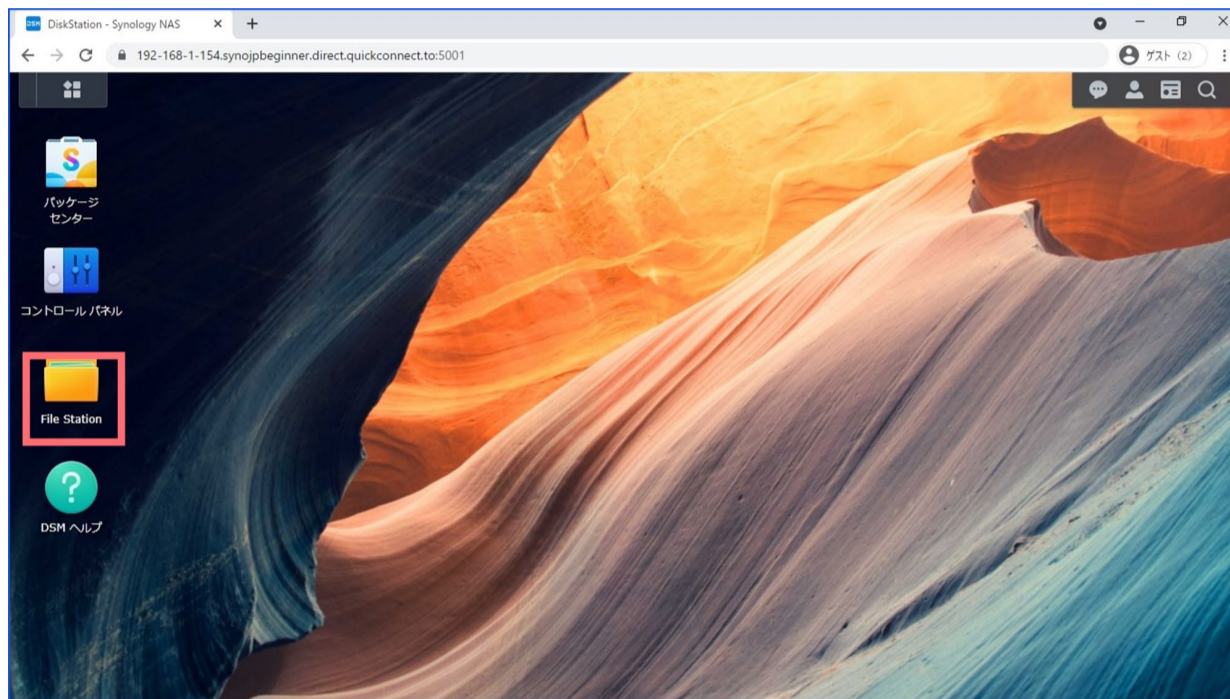
全般	サーバー名、Synologyアカウント(※)、QuickConnect、シリアル番号、製品型番、合計物理メモリ容量、DSMバージョン、時間情報、システム温度ステータス、外部デバイスなど、NASについての基本情報を確認いただけます。 また、サーバー名、Synologyアカウント、QuickConnectについては[編集]より該当ページに表示が切り替わります。
ネットワーク	DNSサーバー、IPアドレス、サブネットマスクなどのネットワーク情報が表示されます。
ストレージ	ボリュームの使用量とドライブの状態に関する情報が表示されます。
サービス	サービスやインストールされているパッケージが表示されます。各サービスで使用されるポート番号やファイアウォールの通過許可があるかを表示します。
デバイス分析	NASの使用情報をSynology社と共有するかについて、概要の確認と設定が可能です。

3. 基本的な使用方法

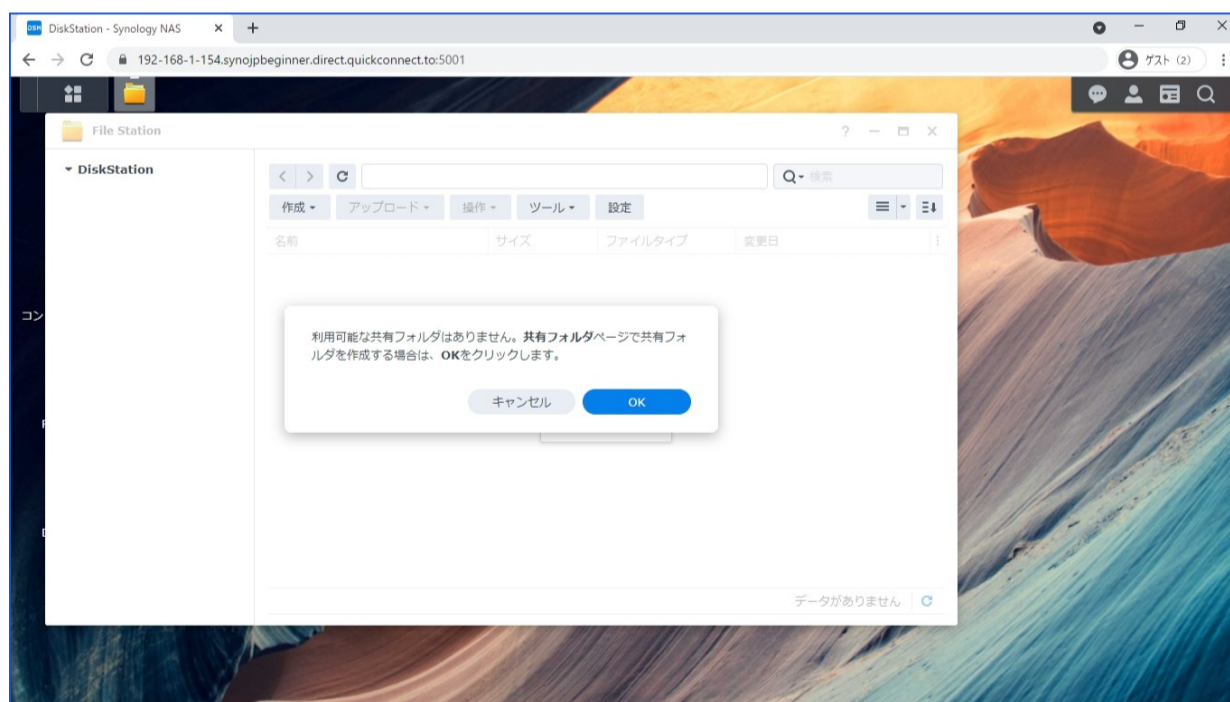
3.1 共有フォルダの作成・データのアップロード方法

DSMのインストールが完了したら、まず共有フォルダを作成し、データをアップロードします。

1. File Stationを開きます。



2. 下記ではFile Stationは「利用可能な共有フォルダがない」ことを表していますので、[OK]をクリックして[共有フォルダ]を作成します。



3. フォルダ名を入力し、Windows環境において「マイネットワーク」にて非表示にされるようにするか、無許可のユーザーにサブフォルダとファイルを見せるか、ごみ箱を有効にするかを決めてチェック(有効)します。

共有フォルダの作成ウィザード

基本情報をセットアップ

名前 * :

説明 :

場所 : ボリューム 2 : Btrfs

「マイ ネットワーク」でこの共有フォルダを非表示にする

無許可のユーザーにサブフォルダとファイルを見せない ⓘ

ごみ箱を有効にする

管理者のみにアクセスを許可する

注 : ごみ箱を空にする日時を設定するには

* この項目は必須です。

次へ

4. 共有フォルダを作成する場所(=ボリューム)を選びます。(ディスクに複数のボリュームを作成した場合は作成先のボリュームを選択します)

共有フォルダの作成ウィザード

基本情報をセットアップ

名前 * : public

説明 :

場所 : ボリューム 2 : Btrfs

「マイ ネットワーク」でこの共有フォルダを非表示にする

無許可のユーザーにサブフォルダとファイルを見せない ⓘ

ごみ箱を有効にする

管理者のみにアクセスを許可する

注 : ごみ箱を空にする日時を設定するには

* この項目は必須です。

次へ

5. 必要な場合には共有フォルダの暗号化や構成詳細を設定し、[次へ]をクリックします。今までの設定内容を下記ステップにて確認し、[次へ]をクリックします。

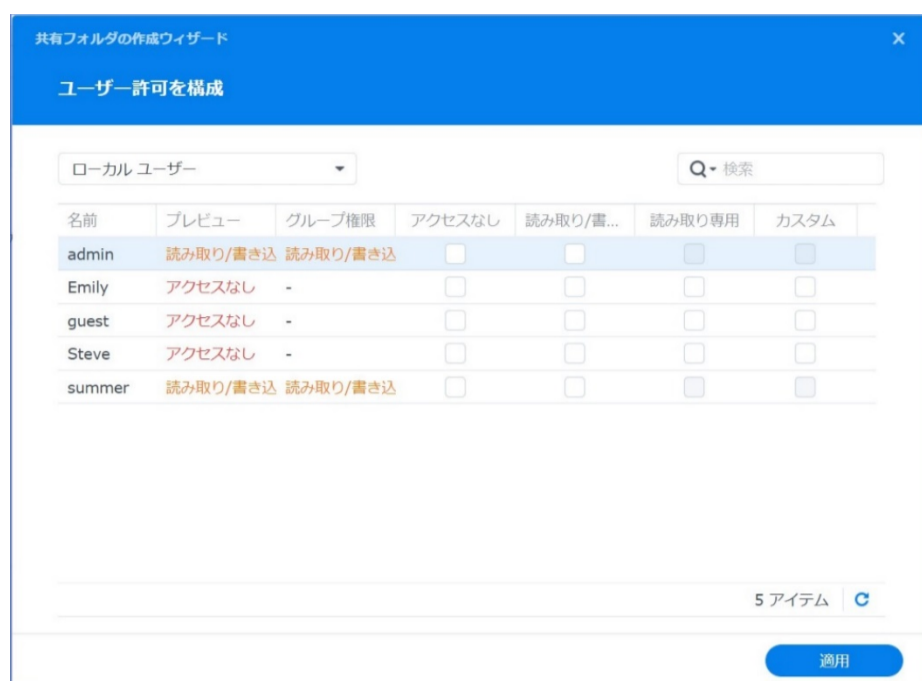
共有フォルダの作成ウィザード

設定の確認

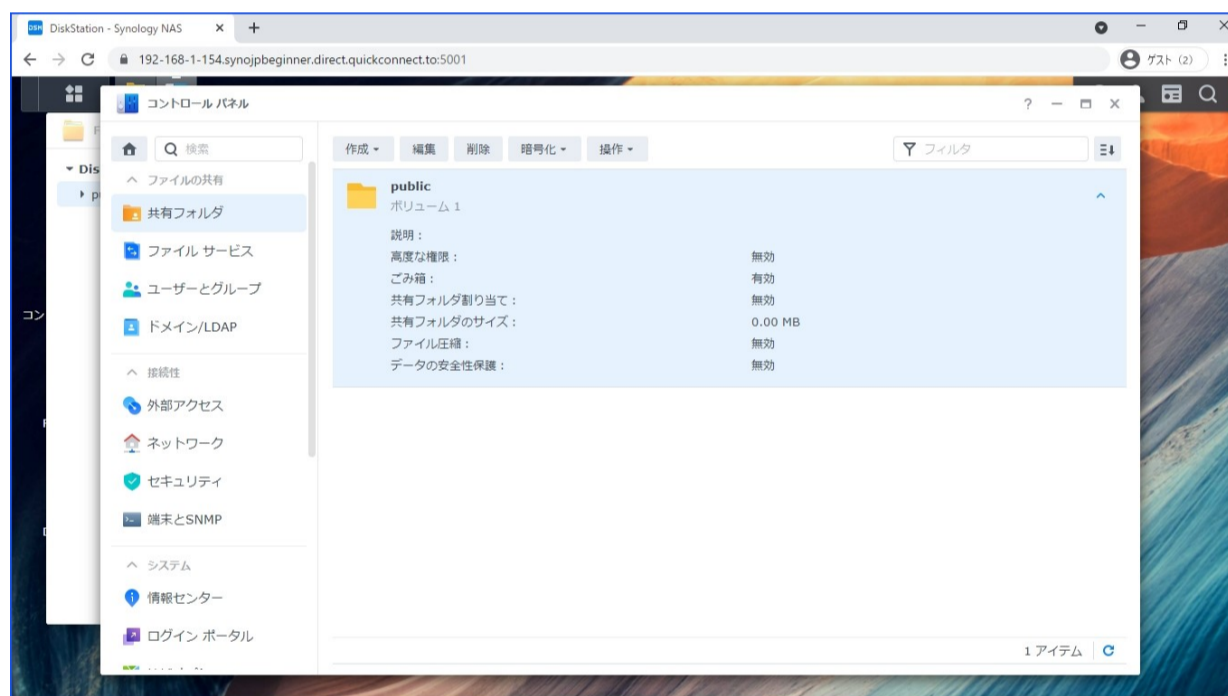
項目	値
名前	public
説明	
場所	ボリューム 2 : Btrfs
表示性	
ごみ箱	有効化、管理者のみ
暗号化	
データの安全性保護	
ファイル圧縮	
クォータ	

戻る 次へ

6. 共有フォルダの権限設定を確認します。ここでは[適用]をクリックします。(フォルダを作成後に権限の変更が必要になった場合は、コントロールパネルから権限を編集することができます。)



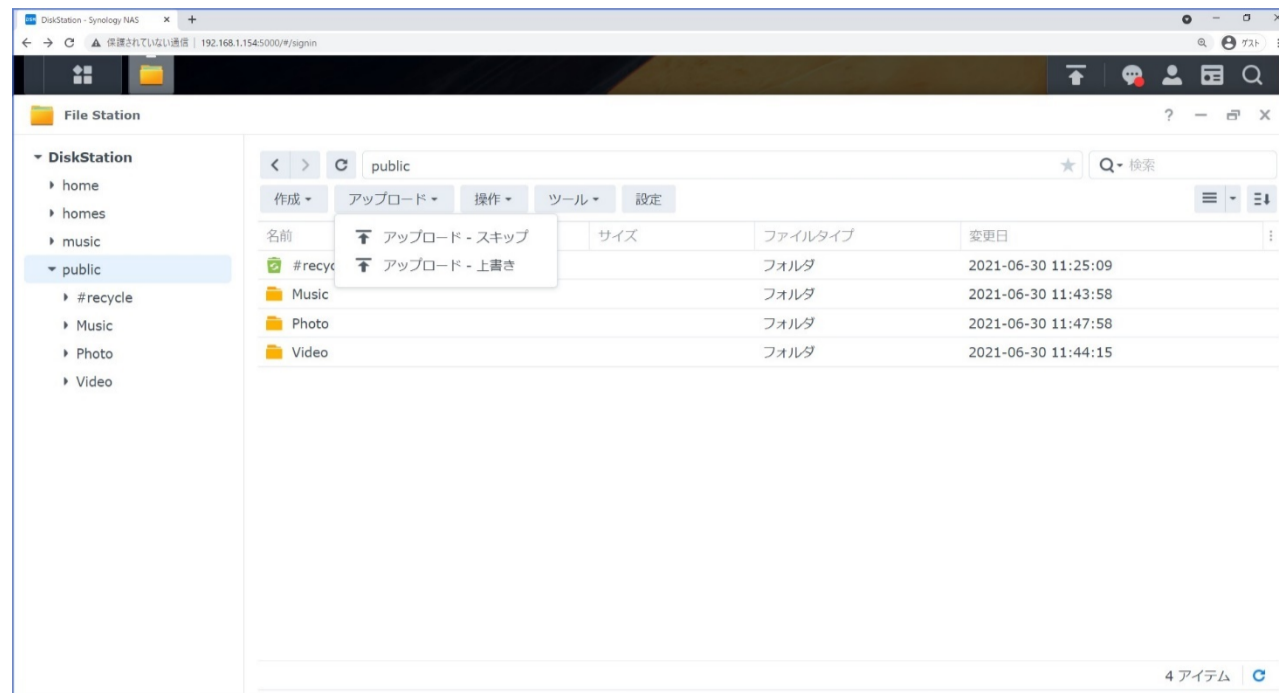
7. 共有フォルダの作成が完了すると[共有フォルダ]の画面に戻ります。



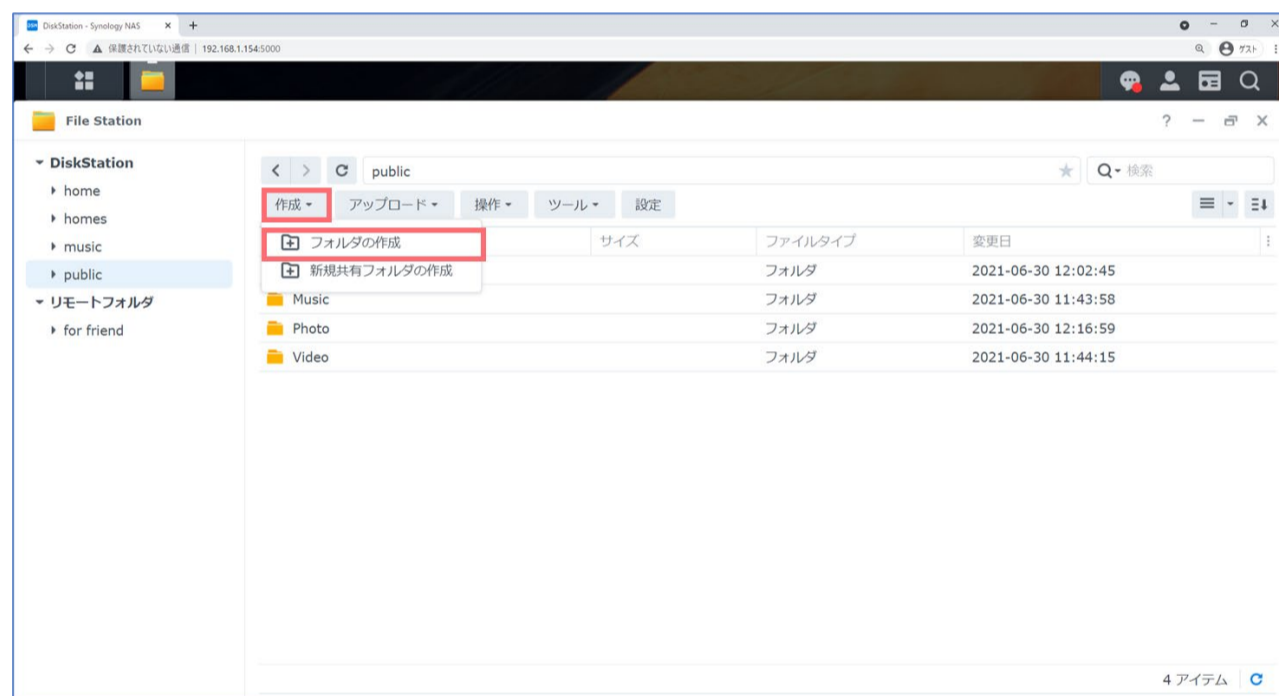
3.2 ブラウザからNASのファイルを操作する

File Stationのブラウザからさまざまな操作を行うことができます。例えば、動画をダウンロードしたり、リンクをコピーしたり、写真のプレビューを見たり、DSMアカウントを持っていない人とのシェアを行ったりすることができます。詳しい内容については下記をご覧ください。

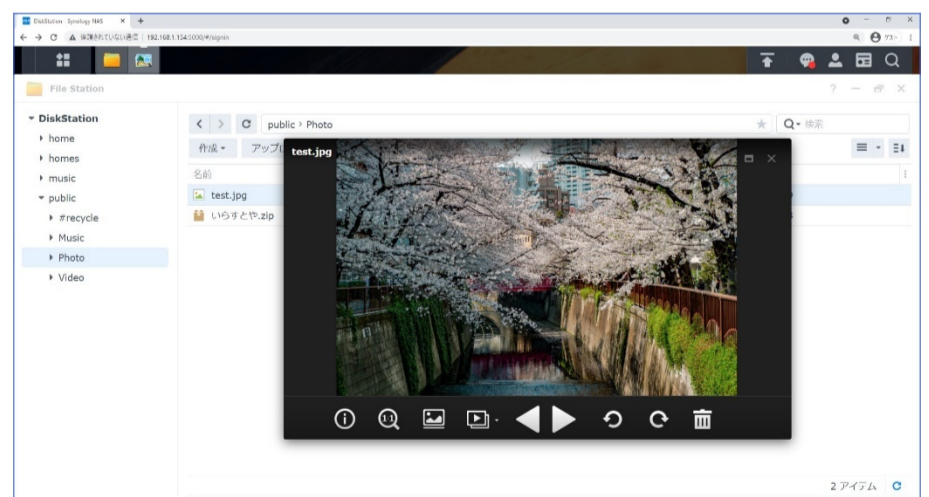
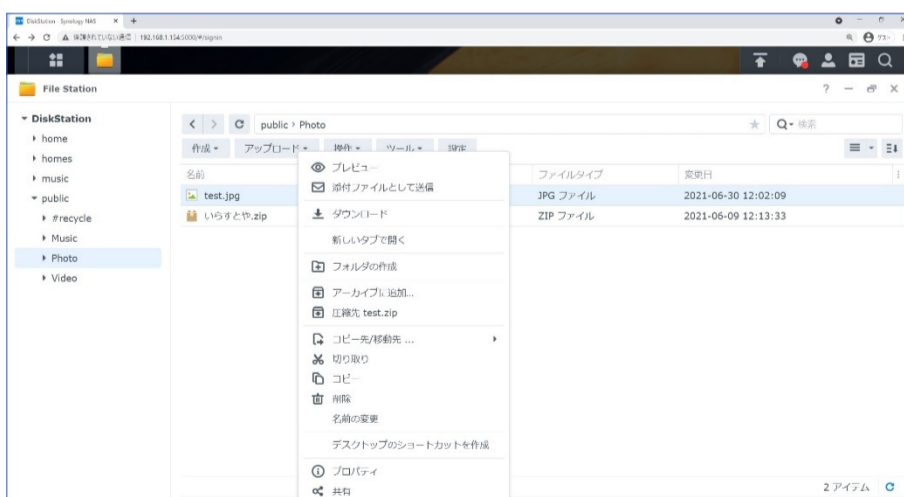
■ ファイルのアップロード、上書き



■ フォルダ内でのサブフォルダの作成(サブフォルダの権限はデフォルトで親フォルダの権限設定と同じになります。設定により権限の変更が可能です)

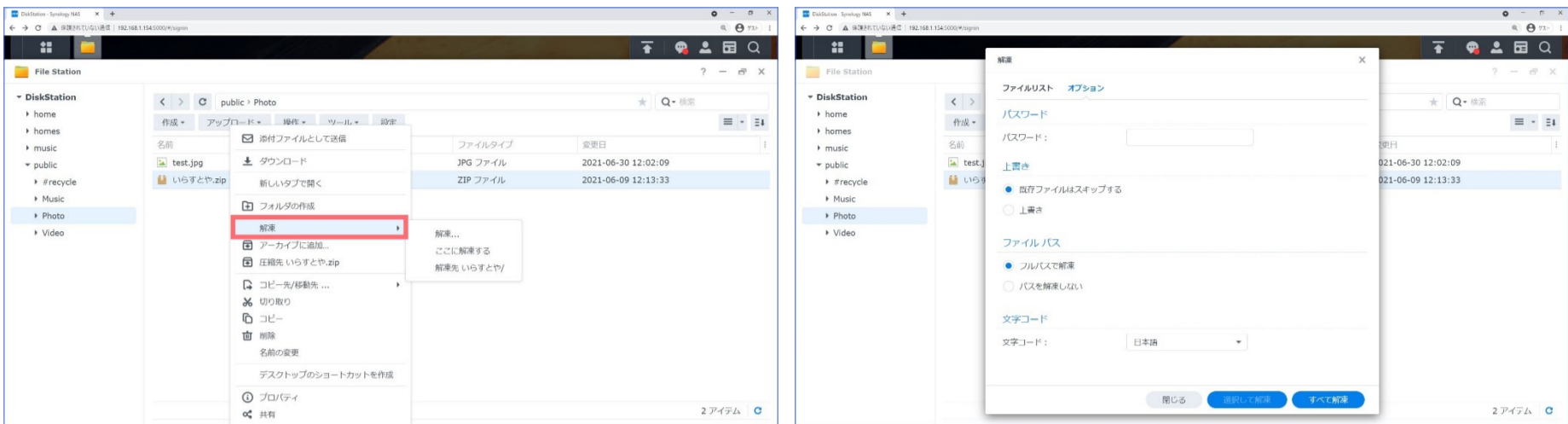


■ 画像のプレビューを見る

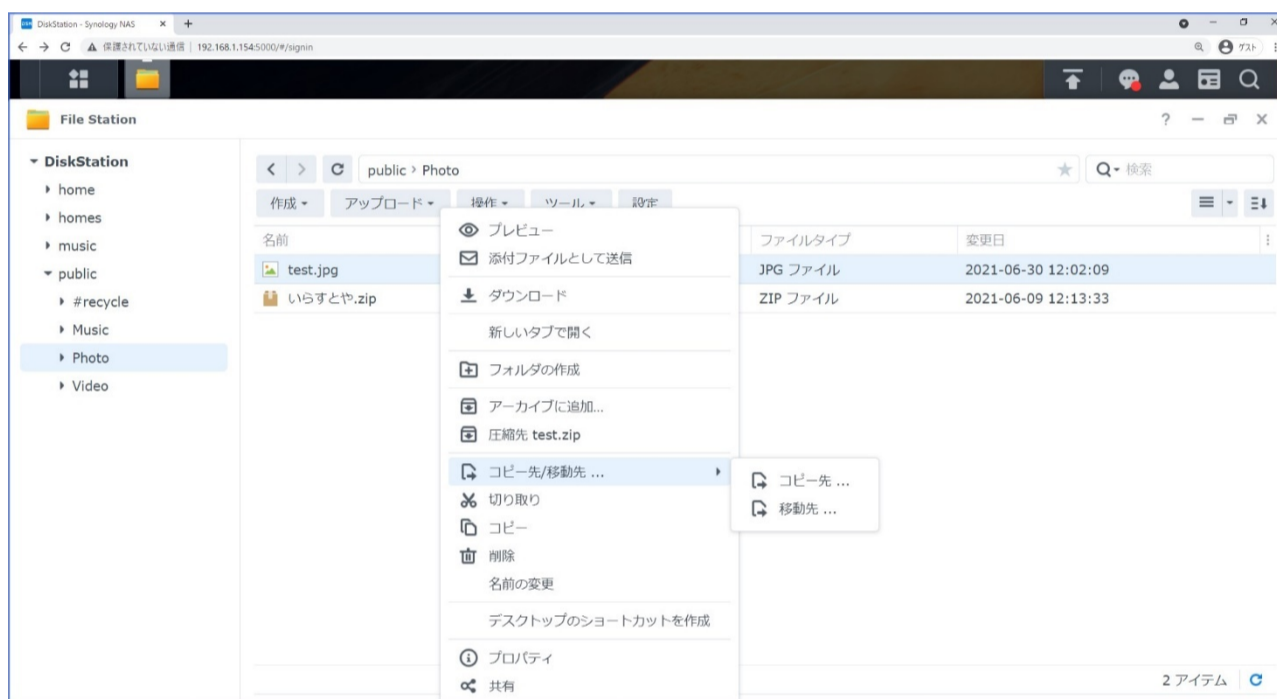


■ ファイルの解凍(圧縮ファイルを解凍します。)

対応圧縮ファイル形式:zip 、 tar 、 gz 、 tgz 、 rar 、 7z 、 iso (ISO 9660 + Joliet)



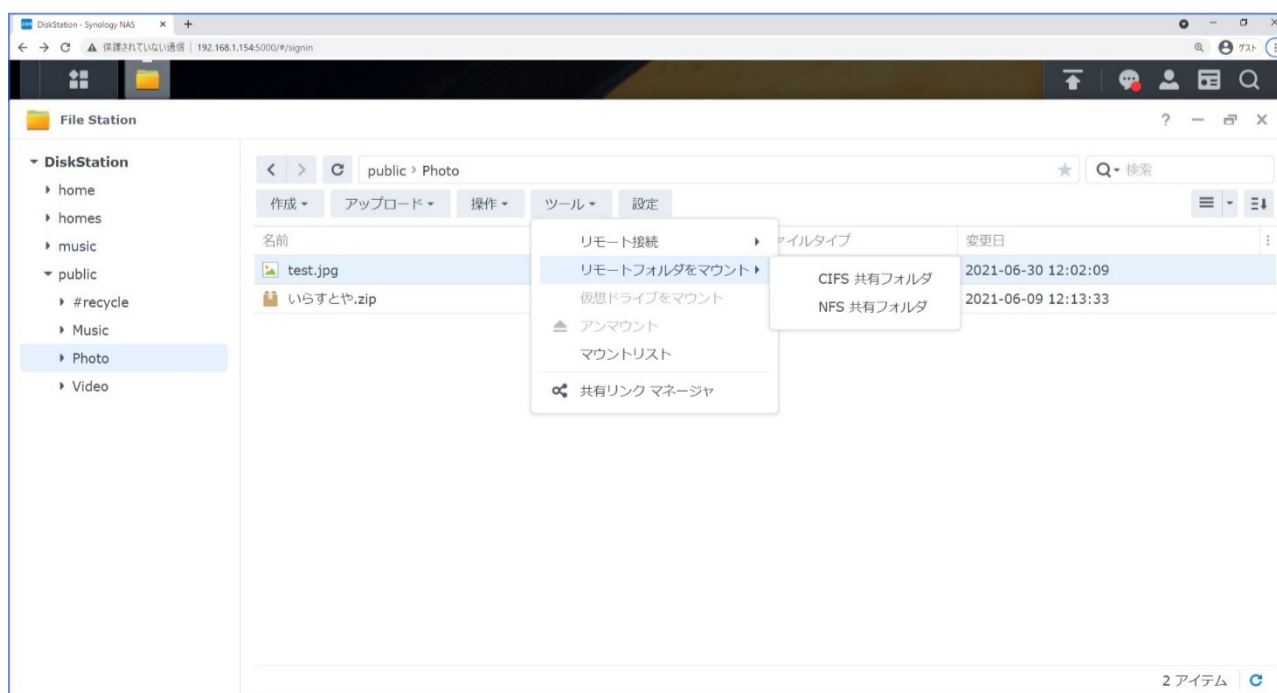
■ ファイルのコピー・移動(フォルダまたはファイルを別のフォルダにコピーまたは移動します。)



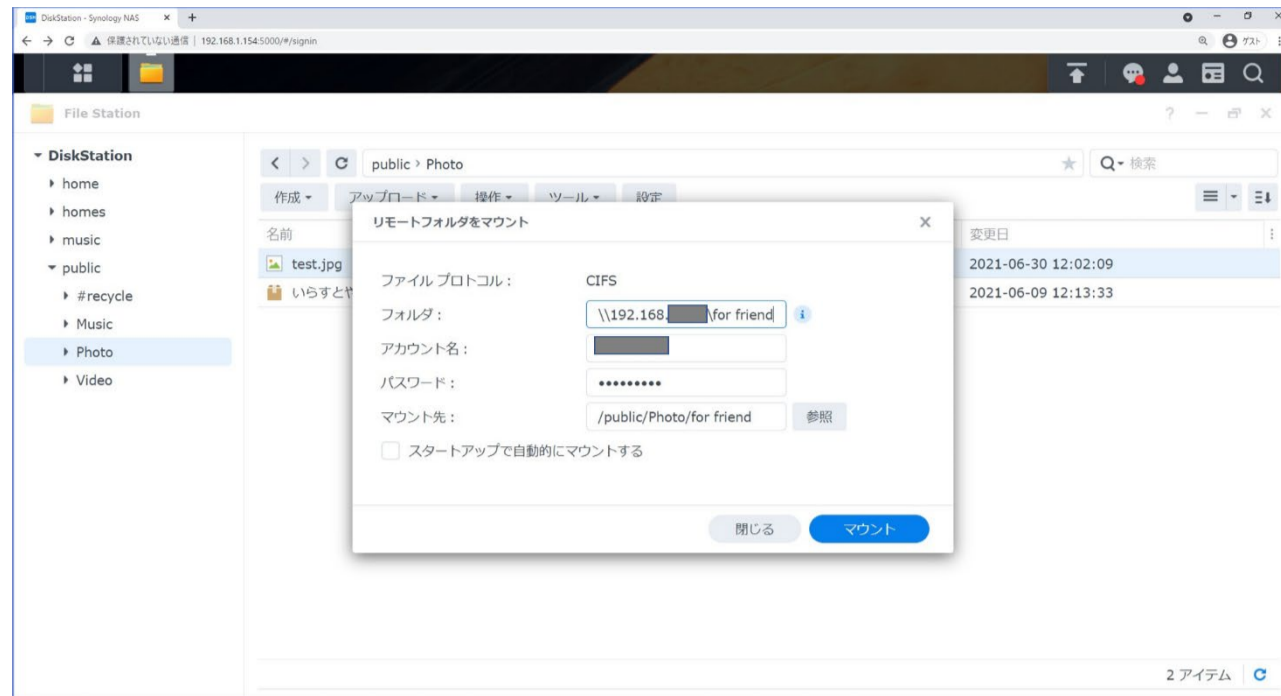
■ リモートフォルダをマウント (接続先がCIFSかNFSで接続できる環境である場合)

事前に、 [コントロールパネル]>[ファイルサービス]にて、SMB(CIFS経由の場合)あるいはNFS(NFS経由の場合)のサービスが有効になっているかご確認ください。

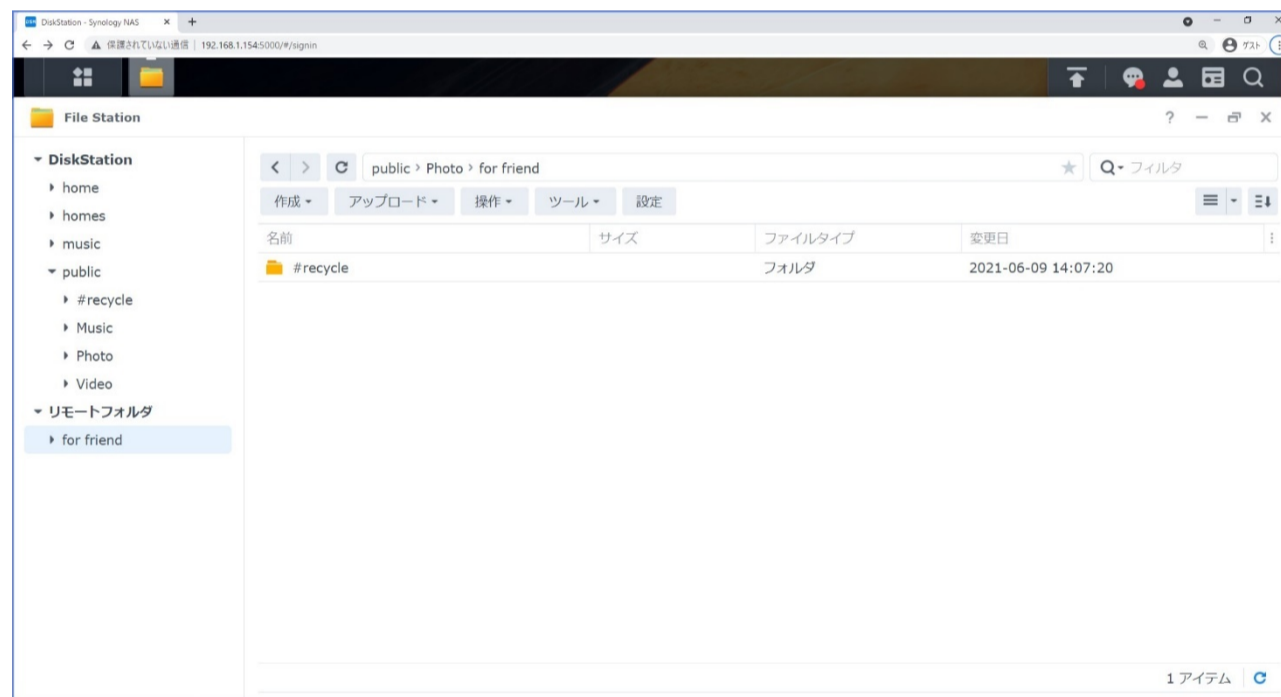
1. File Stationで[ツール]>[リモートフォルダをマウント]>[CIFS共有フォルダ]または[NFS共有フォルダ]をクリックします。



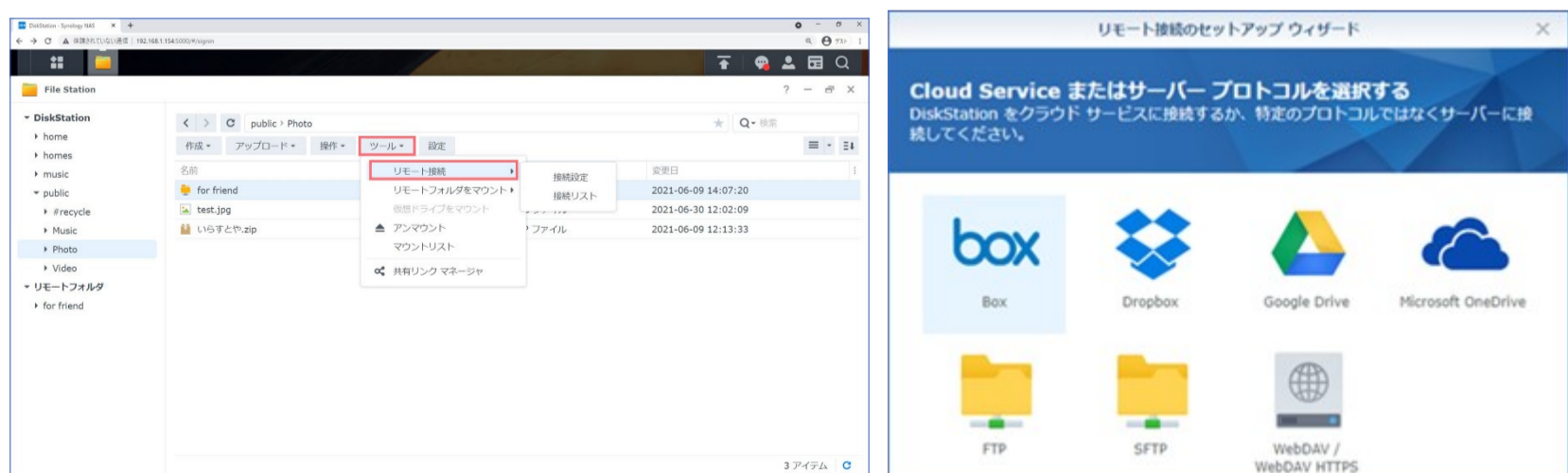
2. 接続先のフォルダのフォルダパスやアカウント名・パスワードが必要な場合は入力します。ここでは別のNASのフォルダをマウントします。



3. リモートフォルダが新しく作成されました。

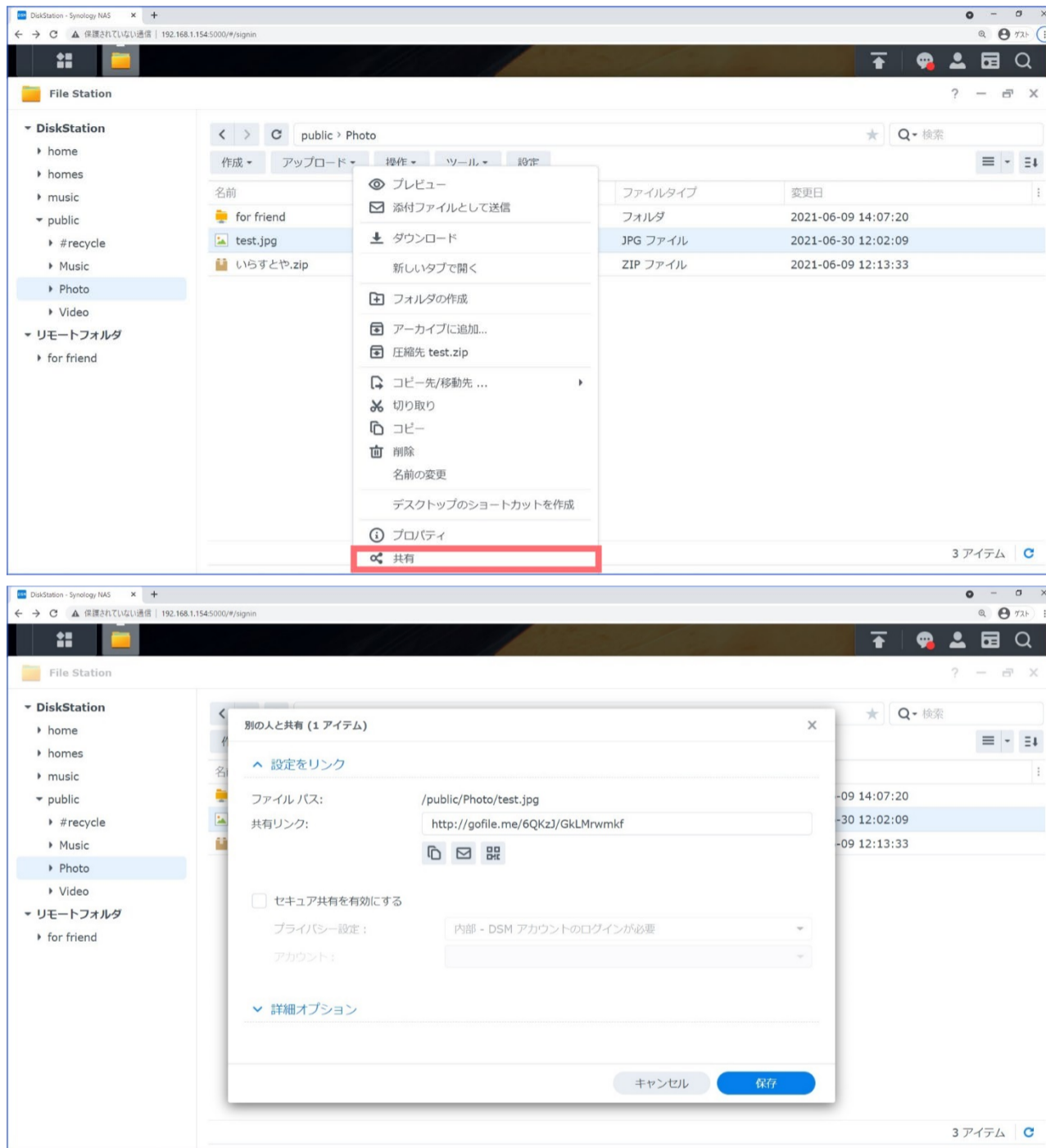


■クラウドサービスへのリモート接続(WebDAVやパブリッククラウドサービスのDropbox、OneDrive、Boxなどが選択可能)



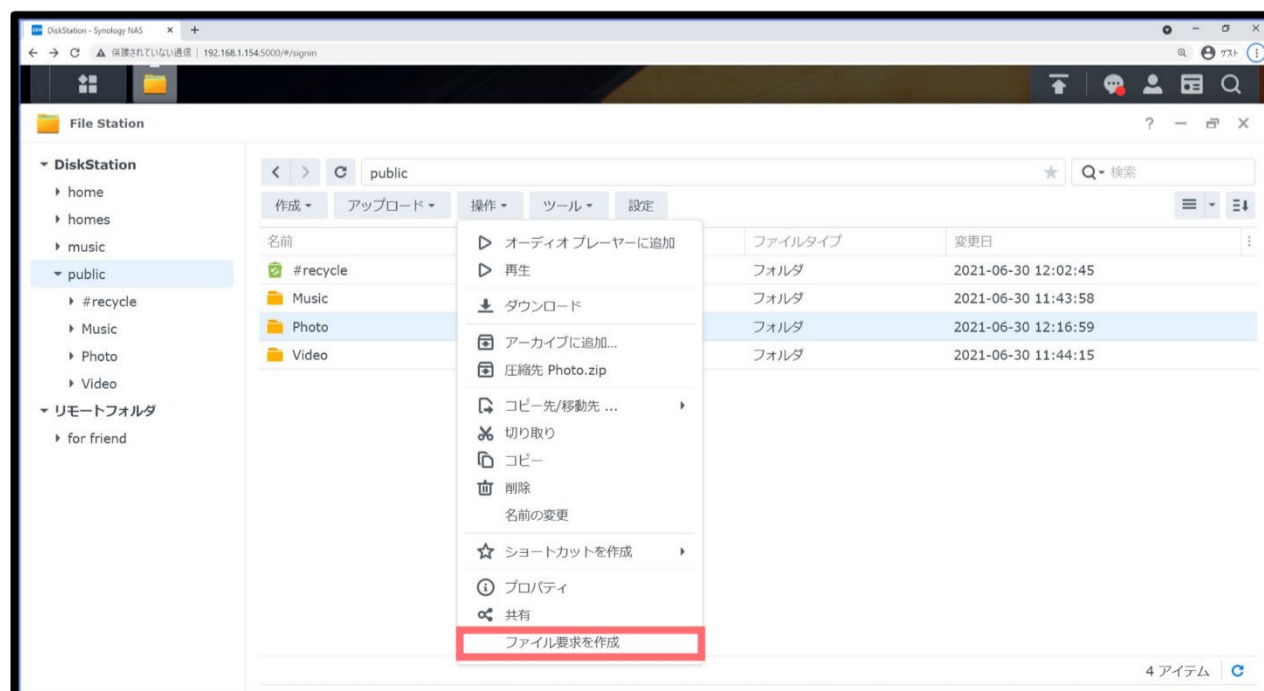
■ 共有リンクの作成と共有

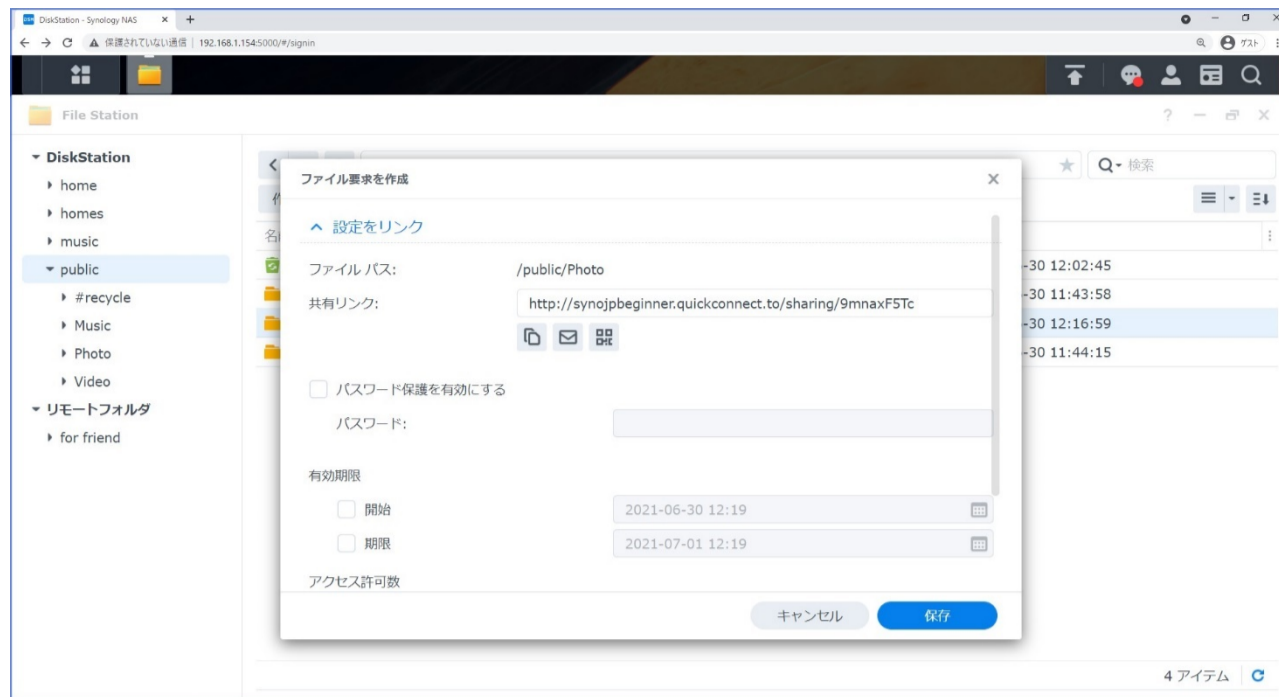
File Station上で選択されたファイルを、DSMユーザーアカウントを所持していない任意の人と共有します。「共有リンク」を作成し、ファイルを共有したい人に「共有リンク」を提供することで、NAS上のファイルをダウンロードさせることができます。



■ ファイル要請の作成

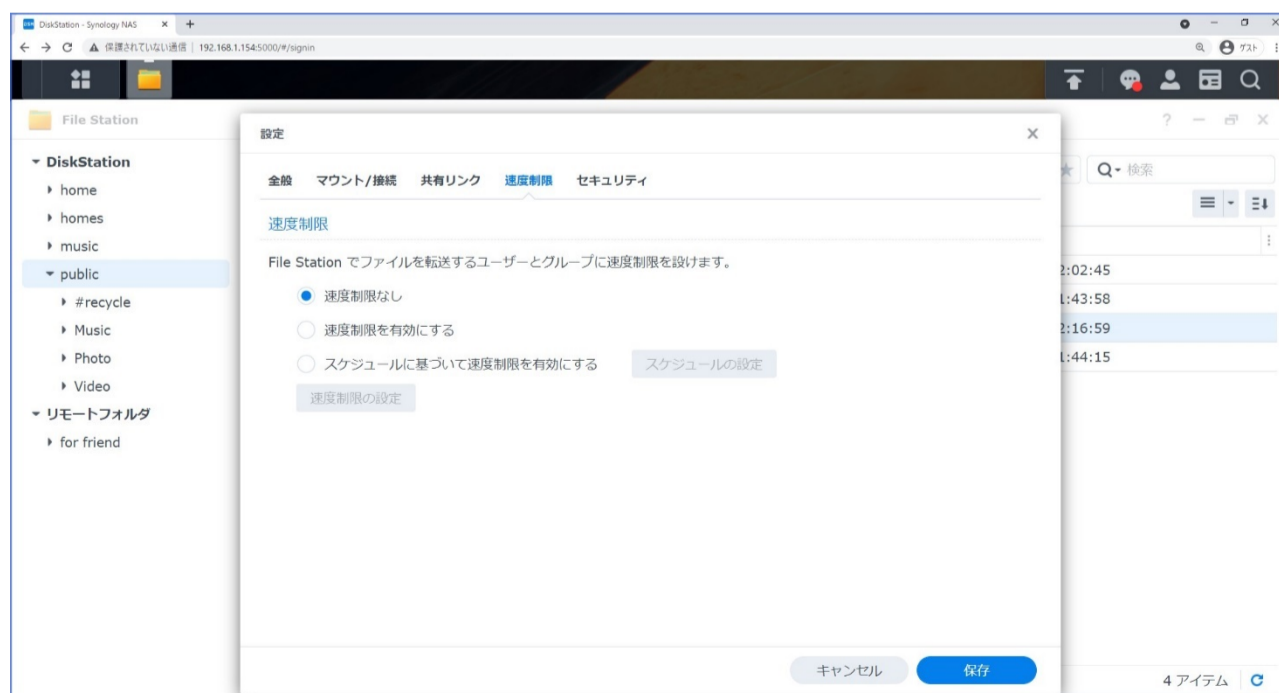
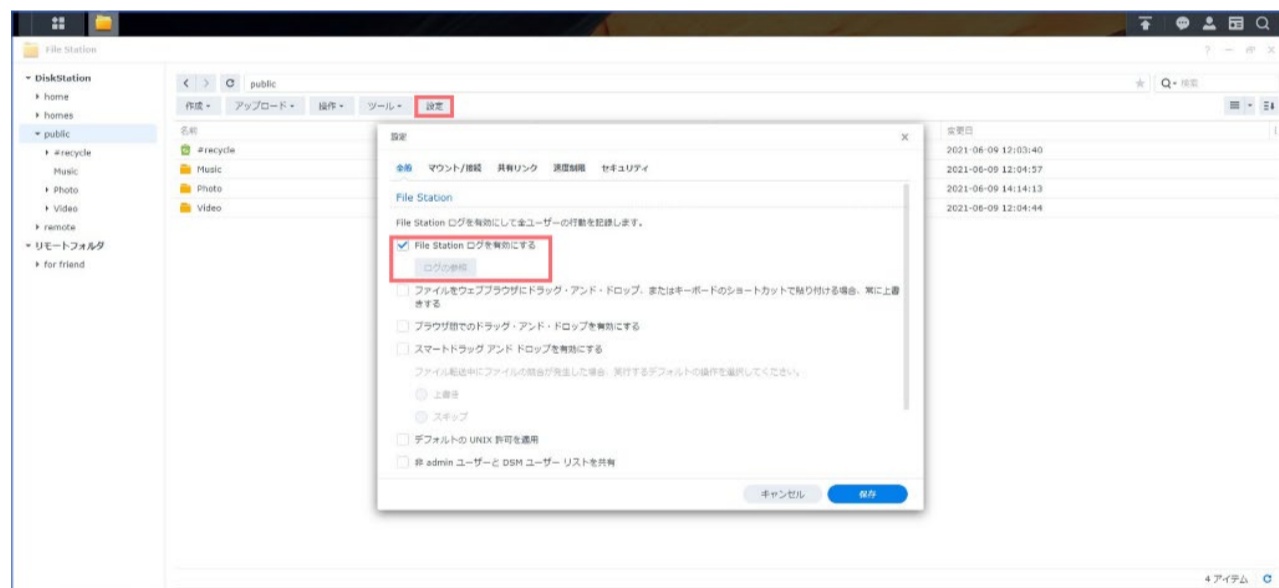
「ファイル要請リンク」を作成・提供することによって、DSMユーザーアカウントを所持していない人も指定するフォルダにファイルのアップロードができます。





「共有リンク」及び「ファイル要請リンク」にはパスワードの設定や有効期間を設定できます。有効期限を過ぎた「共有リンク」や「ファイル要請リンク」は無効となり、ファイルをダウンロードもしくはアップロードできなくなります。また、「QRコードを取得」にて「共有リンク」のQRコードが生成し、広告やウェブページにこのQRコードを掲載しますとNAS上のファイルをスマートフォンなどから確認することができます。既存の「共有リンク」及び「ファイル要請リンク」は、[ツール]>[共有リンク マネージャ]で管理できます。

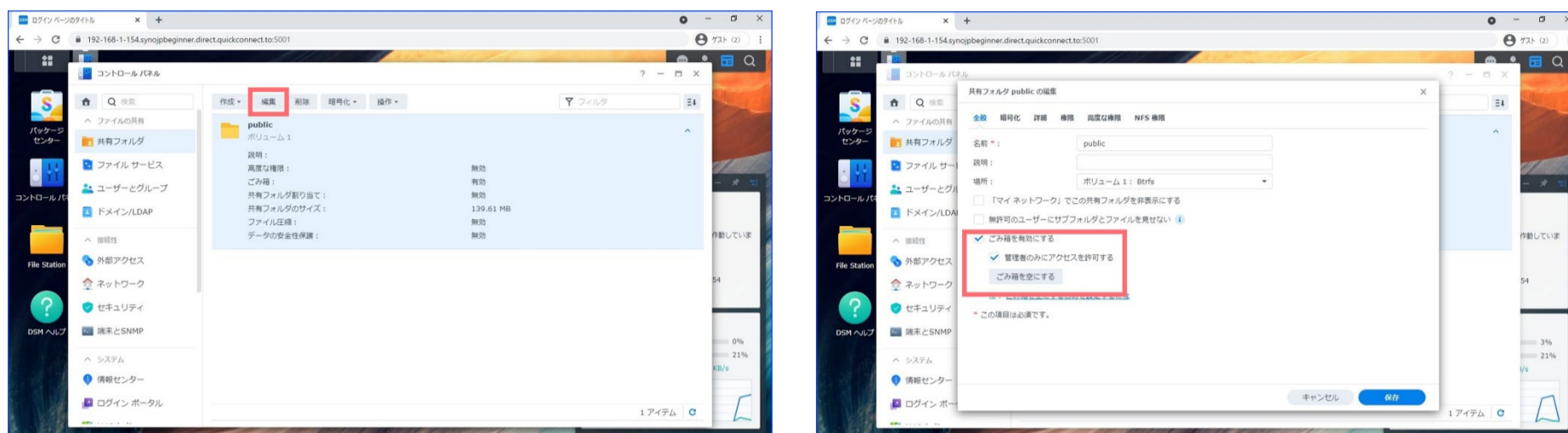
■ File Stationログの記録を有効化や速度制限



3.3 補足:ごみ箱

ごみ箱を有効にすることで、誤操作によるデータの削除を防ぎ、さらに簡単にファイルを復元することができます。[コントロールパネル]>[共有フォルダ]からごみ箱を有効にする共有フォルダを選択し[編集]します。

共有フォルダのごみ箱を有効にしたら、削除されたファイルを保存するサブフォルダが設置されます。削除されたファイルは、ごみ箱フォルダから復旧できます。ごみ箱内のデータを完全に削除する場合は手動またはスケジュールタスクでごみ箱を空にする必要があります。(削除しない限りデータは消えません)



3.4 DSMユーザーアカウントの作成・権限設定

ご家庭でNASを使用する場合、自分だけではなく子供や祖父母、あるいは友人も一緒に使用するかもしれません。その場合、DSMユーザーアカウントを複数作成し自分以外のDSMユーザーアカウントではシステム設定が変更できないようにしたり、他のDSMユーザーアカウントに編集や閲覧できるファイルを設定したりするなど、各DSMユーザーアカウントに権限を設定することが可能です。

DSMユーザーアカウントではユーザー毎およびグループ毎の2つの項目で権限管理を行っています。

■ユーザー毎の権限管理について

ユーザー一人一人にフォルダやパッケージの権限を設定します。

また、DSMユーザーアカウント毎に個人用フォルダ(homeフォルダ)の設定が可能です。

※管理者は全員のhomeフォルダをhomesフォルダより確認可能です。

■グループ毎の権限管理について

グループ単位でフォルダやパッケージの権限を設定します。

DSMユーザーアカウントはいずれかのグループに所属し、その上で、ユーザー毎にアカウント権限を設定することが可能です。

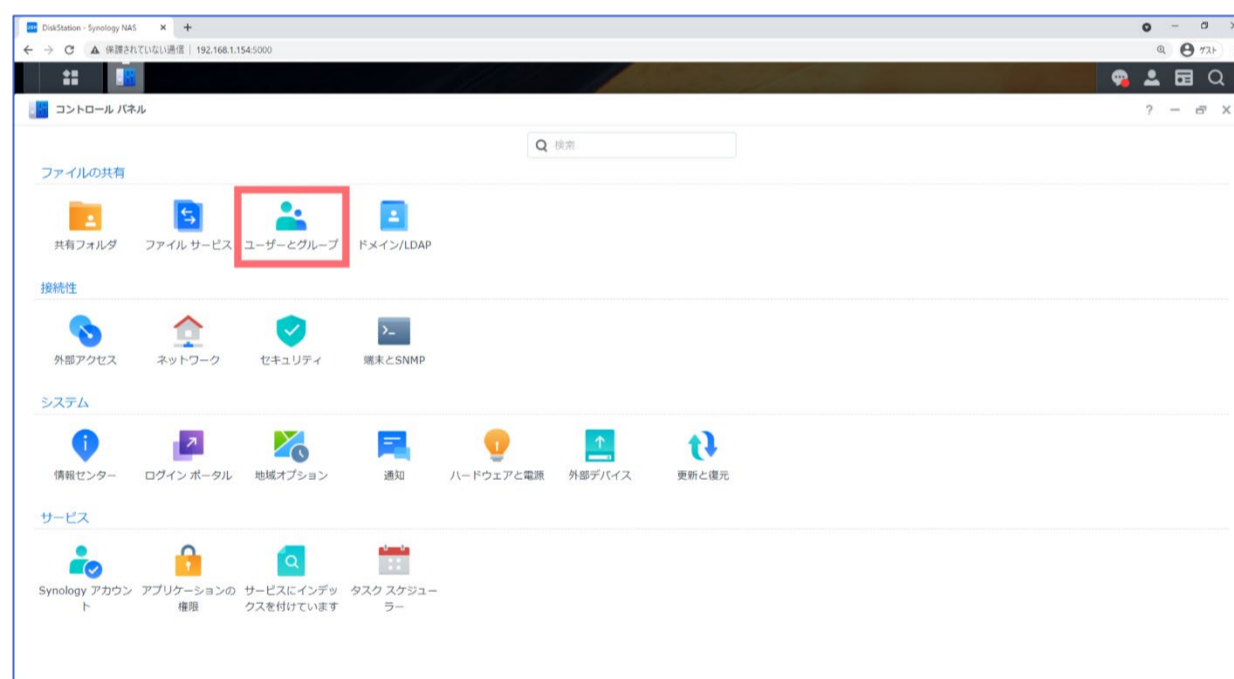
なお、デフォルトでNASは[administrators]と[users]の2つのグループがあります。

- [administrators](管理者権限グループ):全てのNASの機能を使用できるグループです。
 1. DSMを管理するDSMユーザーアカウントが登録されます。
 2. このグループに含まれているDSMユーザーアカウントはNASのシステム設定の変更ができます。
 3. DSM上のすべてのデータにアクセスでき、全パッケージのアクセス権が与えられています。
 4. DSMユーザーアカウントの作成やグループの追加、各種権限設定ができます。
- [users](一般ユーザーグループ):全てのユーザーが所属するグループです。
 1. 全てのDSMユーザーアカウントが登録されます。
 2. コントロールパネルなどは管理者権限グループと異なり操作できません。

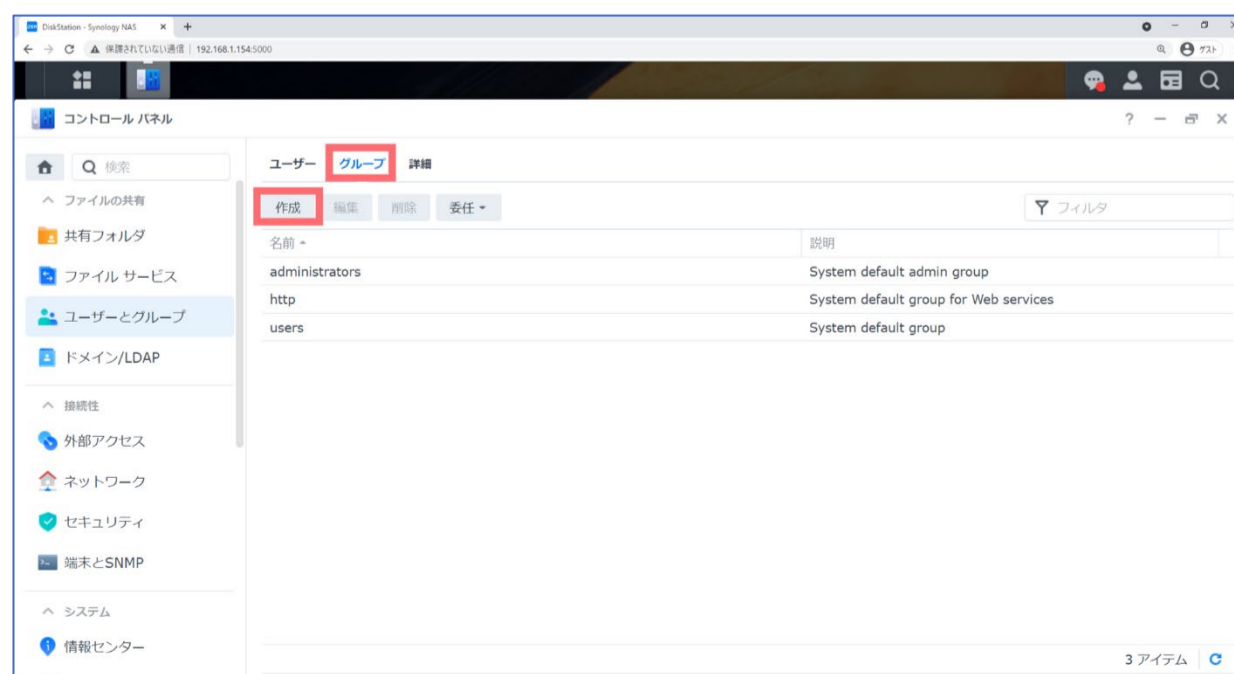
DSMの共有フォルダのアクセス権限やパッケージの利用権限については新たにグループを作成してご利用ください。下記ではグループを作成して共有フォルダの権限を設定します。

■グループの作成

1. [コントロールパネル]>[ユーザーとグループ]をクリックします。



2. [グループ]タブの作成をクリックします。



3. グループ作成ウィザードが開くので、グループ名を入力します。(今回は「family」とします)

グループ作成ウィザード

グループ情報を入力

グループ名 * : family

グループの説明 : 家族用グループ

* この項目は必須です。

次へ

4. 既存のアカウントを作成するグループに所属させる場合、チェックボックスにチェックを追加します。

グループ作成ウィザード

メンバーを選択

検索

名前 *	説明	追加
admin	System default user	<input type="checkbox"/>
guest	Guest	<input type="checkbox"/>
summer	管理者ユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>

3 アイテム

戻る 次へ

5. 次に「family」グループに既存の共有フォルダの権限を設定します。

共有フォルダの権限はアクセス不可・読み取り専用・読み取り/書き込みの3種類があります。(ここでは全ての共有フォルダに読み取り専用の権限を設定します)

グループ作成ウィザード

共有フォルダに権限を割り当てる

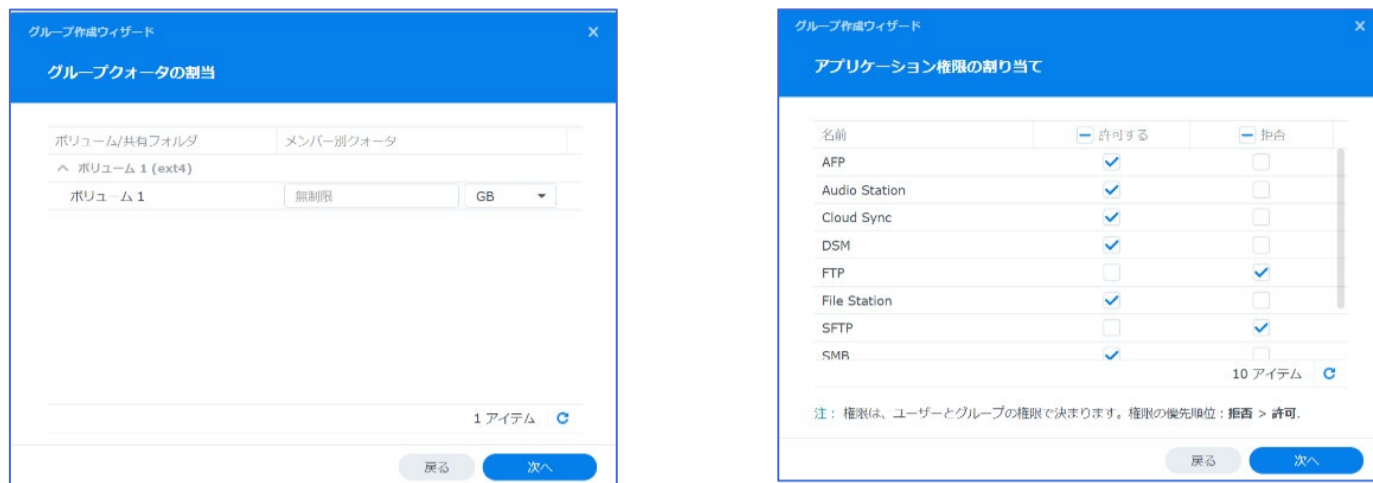
名前	<input type="checkbox"/> アクセスなし	<input type="checkbox"/> 読み取り/...	<input checked="" type="checkbox"/> 読み取...
homes	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
music	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
public	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
remote	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

4 アイテム

注: 権限は、ユーザーとグループの権限で決まります。権限の優先順位: NA > RW > RO

戻る 次へ

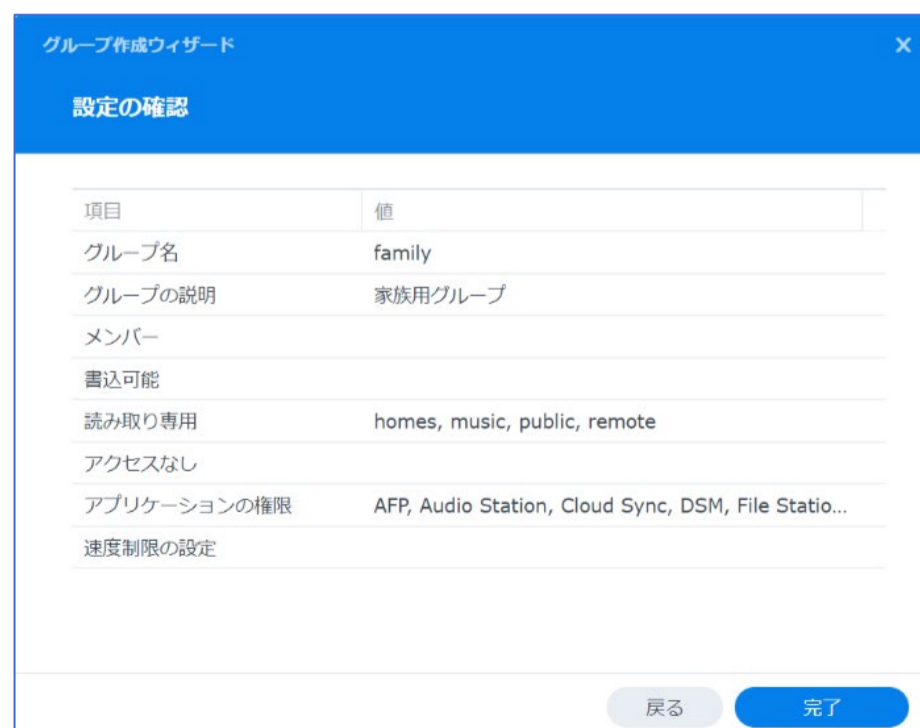
6. その他に、グループに属するメンバー別の容量設定や各アプリケーション/サービスの権限設定を行うことができます。※共有フォルダ単位の使用容量の割り当ては、一部NASモデルでのみ利用可能です。



7. グループ速度の制限を設定することで1人のユーザーが多くの帯域を使用して他のユーザーの通信パフォーマンスが低下することを防ぐことができます。

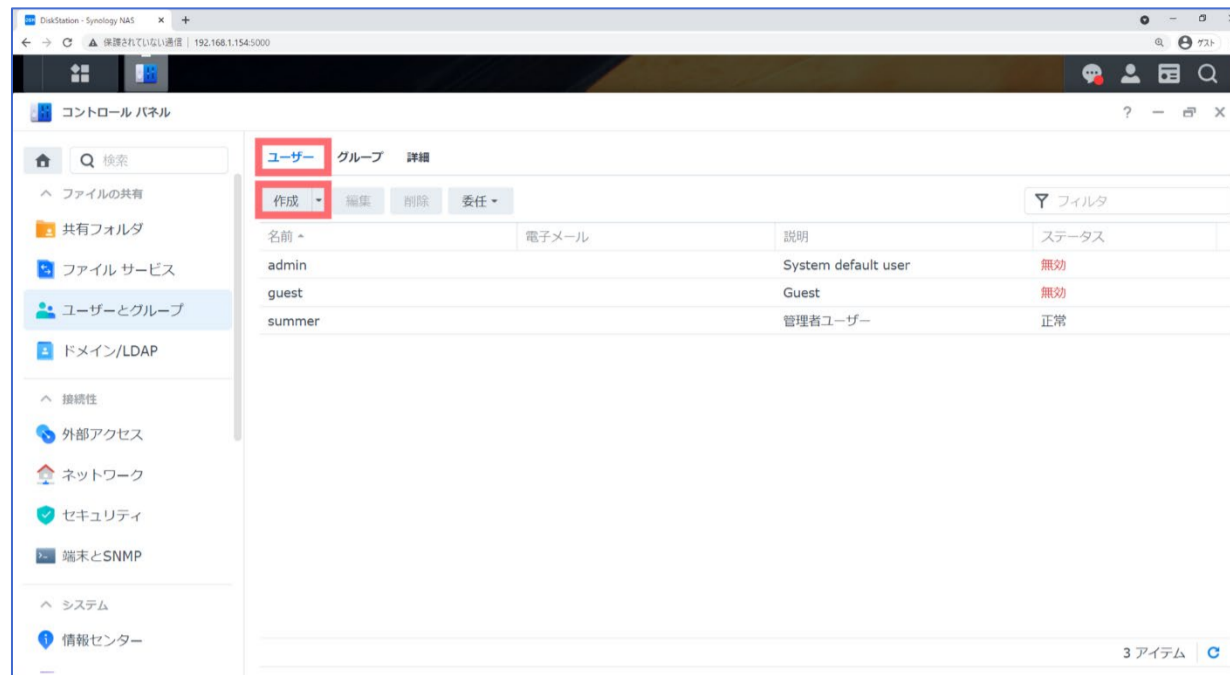


8. 最後に設定した内容で間違いがないことを確認してから[完了]をクリックします。



■ DSMユーザーアカウントの作成

1. [ユーザー]タブの[作成]をクリックします。



2. 管理者アカウントを作成した際と同様、名前、パスワードを入力します。パスワードは強度要件に従い設定してください。

The screenshot shows the 'ユーザー作成ウィザード' (User Creation Wizard) in the 'ユーザー情報を入力' (Enter User Information) step. The form contains the following fields and options:

- 名前 *: Steve
- 説明: (empty)
- 電子メール: (empty)
- パスワード *: (masked with dots) [ランダムパスワードの生成]
- パスワードの確認 *: (masked with dots)
- 新規ユーザーに通知メールを送る
 - 通知メールにユーザー パスワードを表示する
 - アカウントパスワードの変更をユーザーに許可しない

* この項目は必須です。

3. 作成するDSMユーザーアカウントを所属させるグループを選択します。(今回は「Steve」を「family」グループに所属させます)。

The screenshot shows the 'ユーザー作成ウィザード' (User Creation Wizard) in the 'グループの結合' (Group Selection) step. The form displays a table of available groups:

名前	説明	追加
administrators	System default admin group	<input type="checkbox"/>
family	家族用グループ	<input checked="" type="checkbox"/>
http	System default group for Web services	<input type="checkbox"/>
users	System default group	<input checked="" type="checkbox"/>

4. 所属させるグループの権限とは異なる権限設定が必要な場合、DSMユーザーアカウントに対して共有フォルダの権限設定をすることが可能です。



5. 続いてDSMユーザーアカウントに対してボリューム/共有フォルダ使用容量の割り当て設定をします。※共有フォルダ単位の使用容量の割り当ては、一部NASモデルでのみ利用可能です。



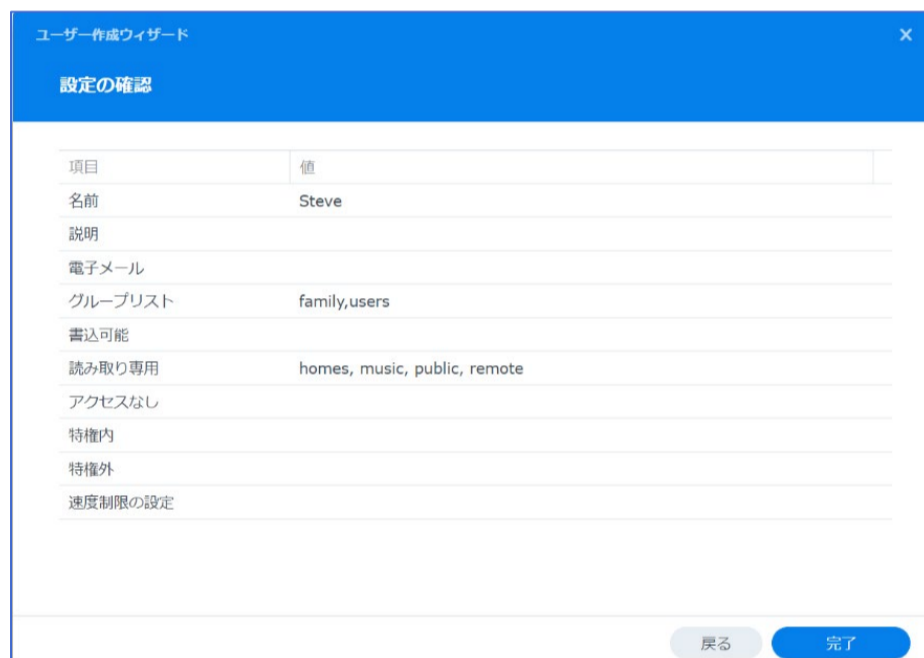
6. DSMユーザーアカウントに対して許可するパッケージ権限設定を行います。これにより許可されていないユーザーがDSMにログインした際にパッケージがメインメニューに表示されません。



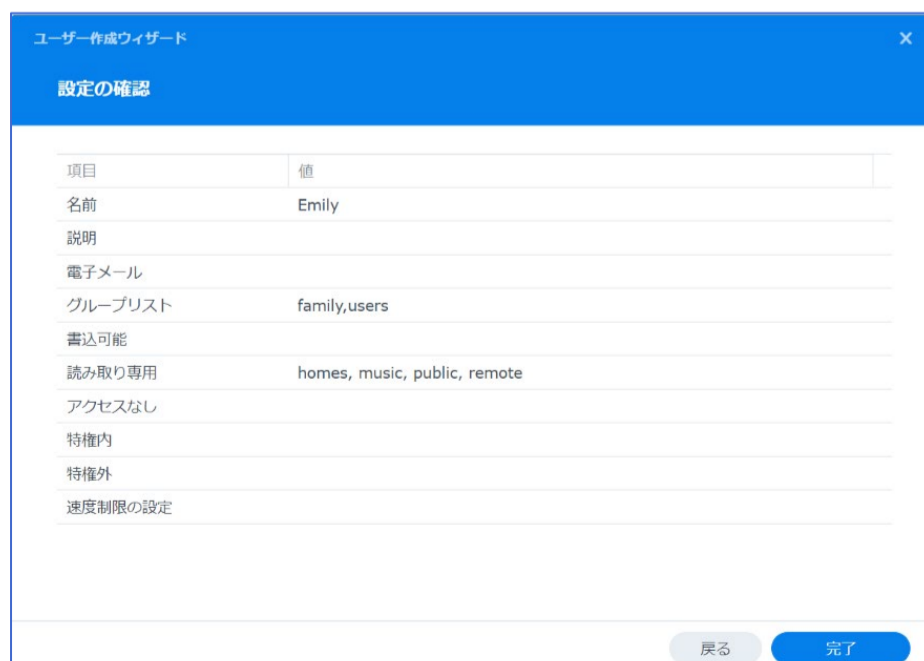
7. パッケージ毎に使用可能な帯域幅を設定します。



8. 最後に設定した内容で間違いがないことを確認してから[完了]をクリックします。



同様の権限設定のDSMユーザーアカウントを複数作成する場合、初めにグループの作成とグループへの権限設定を行います。次にDSMユーザーアカウントの作成時に作成済みグループに所属させることでアカウント毎に権限設定する手順を省けます。今回、「Emily」というアカウントも作成しましたが、先にグループでフォルダなどの権限設定を行っているため、「Steve」と同じグループに所属させることで同じ権限を容易に付与できます。



また、[グループ]タブからどのグループにどのDSMユーザーアカウントが所属しているかを[編集]より確認できます。

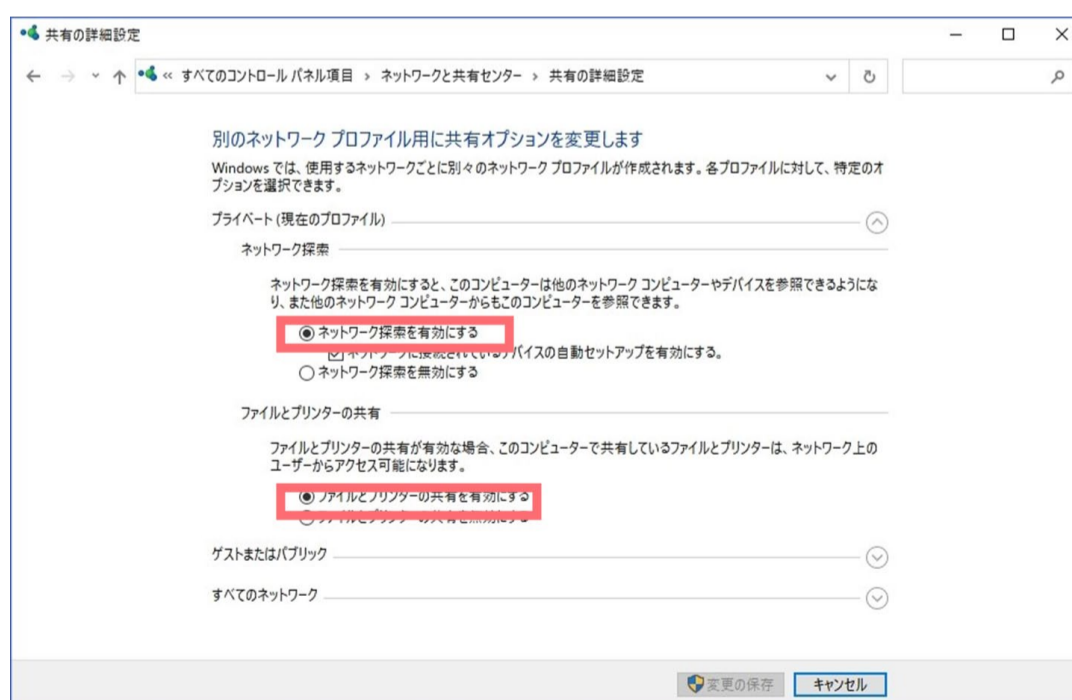


3.5 ローカルネットワークに共有フォルダをマウントする方法

ウェブブラウザ経由の接続以外であり、かつPCとNASは同じLANである場合、Windows PCはファイルエクスプローラー、macOSの場合はFinderを経由してNASの共有フォルダにアクセスすることができます。お客様のPCにあるローカルフォルダと同じようにアクセスする方法をWindows/Macの2つの場合に分けてご紹介します。

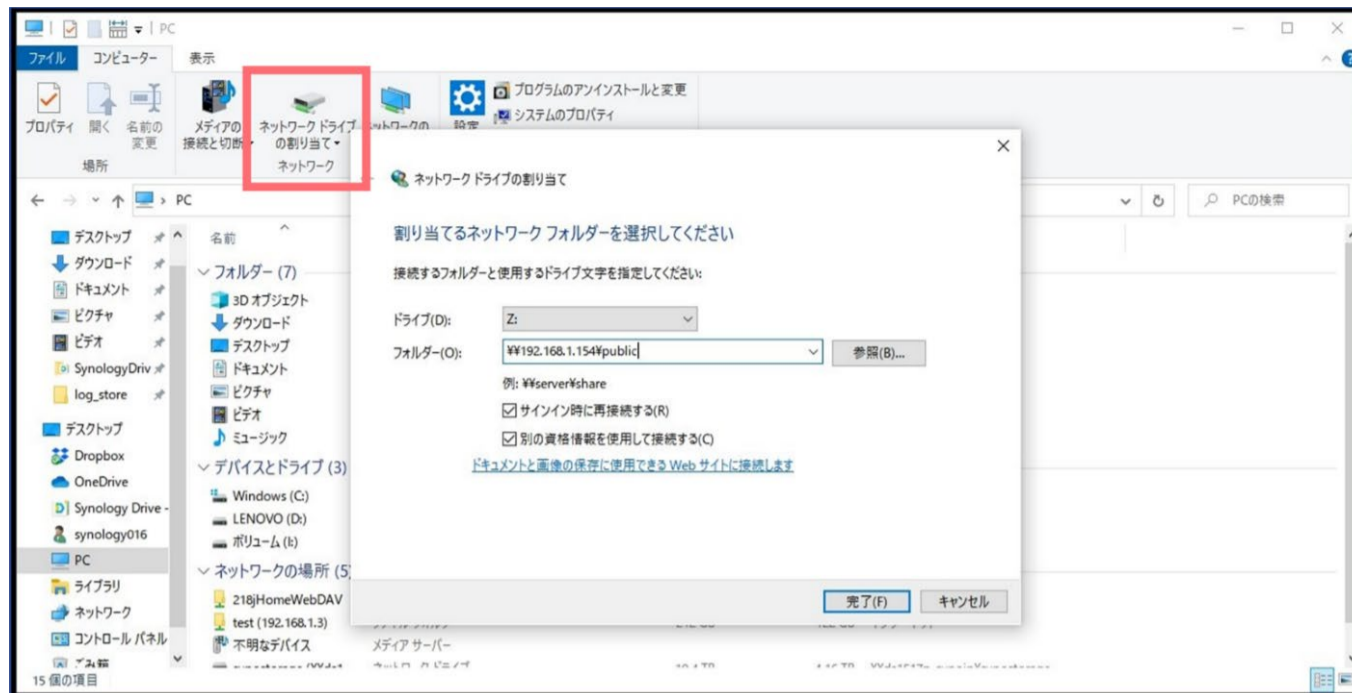
■ Windowsの場合

1. PCのコントロールパネルから[ネットワークとインターネット]>[ネットワークと共有センター]>[共有の詳細設定]内にあるネットワーク探索・ファイルとプリンターの共有が無効になっている場合、有効に変更します。但し、Windowsのデフォルト設定により、無効の場合でもIPアドレスの検索のみ可能です。(サーバー名にて検索する場合には有効化する必要があります。)

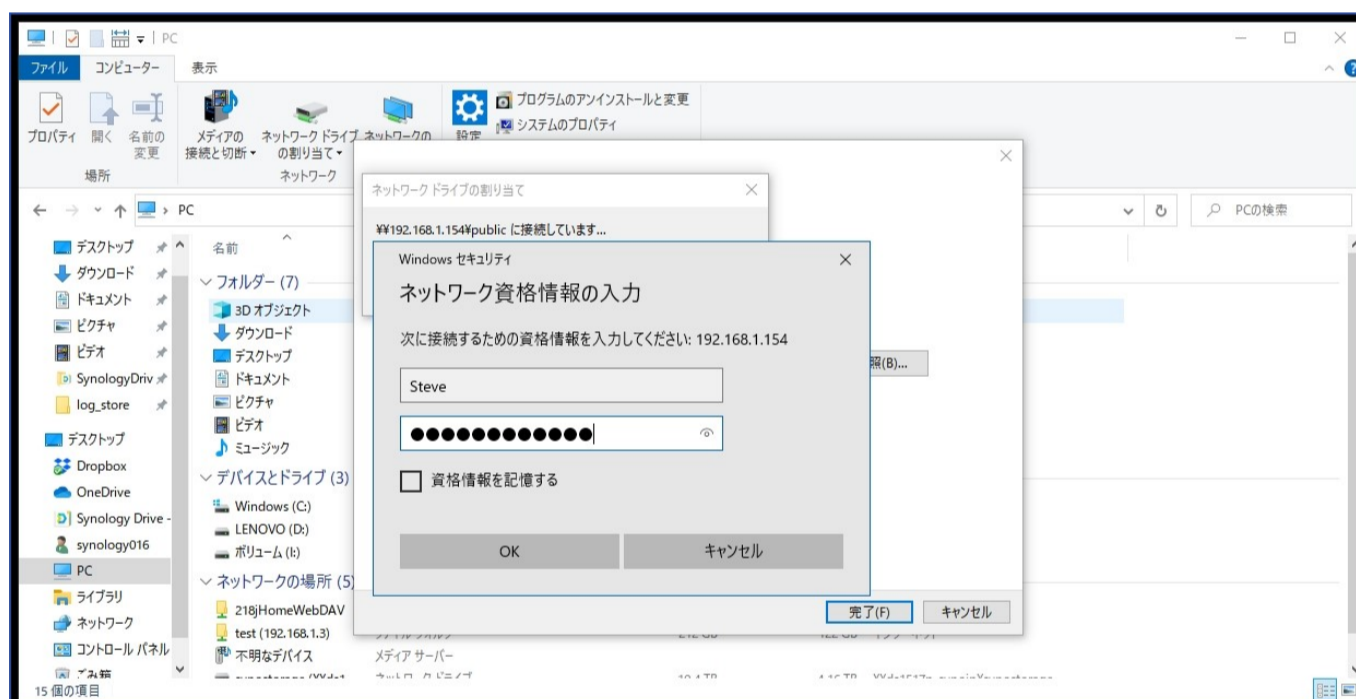


2. 次にエクスプローラーの左側のウィンドウで「PC」を選択します。「コンピューター」のタブで「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。「ドライブ」欄の一覧で、ドライブ文字を選択します(ここでは「Z:」ですが、お客様が利用可能なアルファベットを選択してください)。「フォルダー」欄ボックスに、NAS

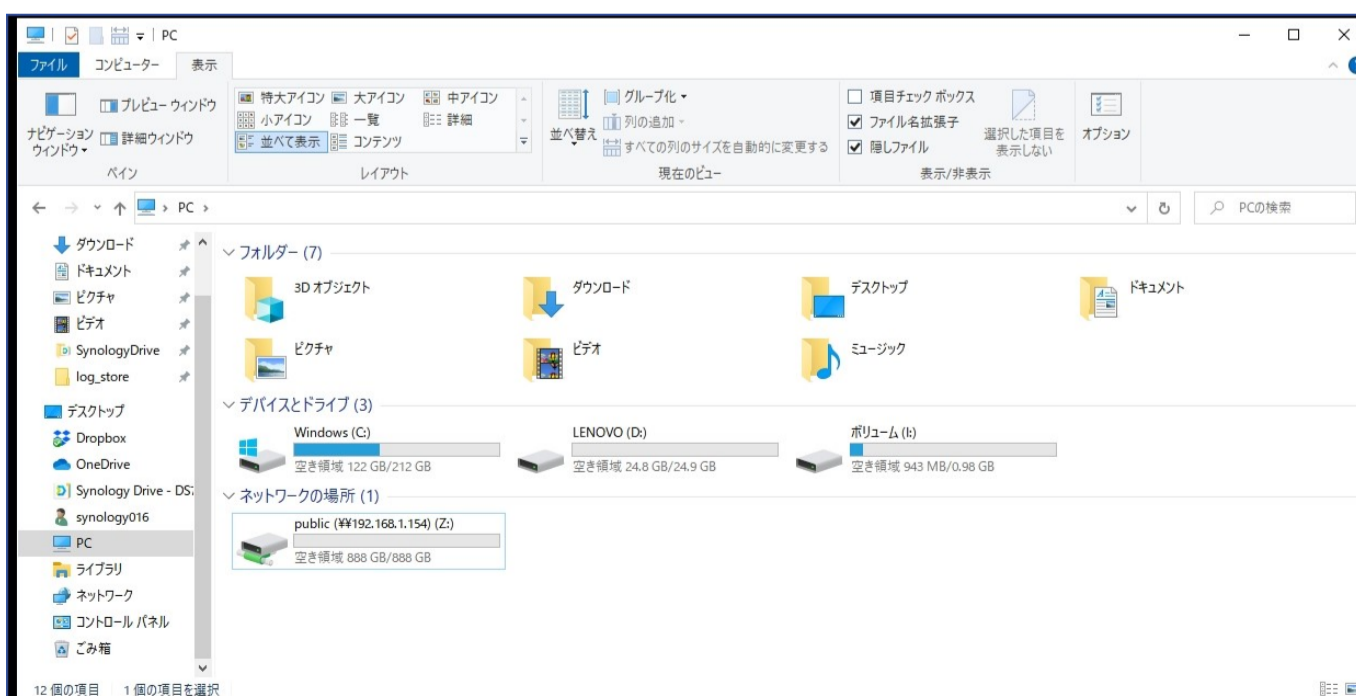
のIPアドレスが192.168.1.154なら「¥¥192.168.1.154¥フォルダ名」、サーバー名がNASなら「¥¥NAS¥フォルダ名」のどちらかを入力し、[完了]をクリックします。



3. 選択すると[ユーザー名]および[パスワード]の入力を求められるので、DSMユーザーアカウント(DSMで設定したユーザー名)とパスワードを入力して[OK]をクリックします。

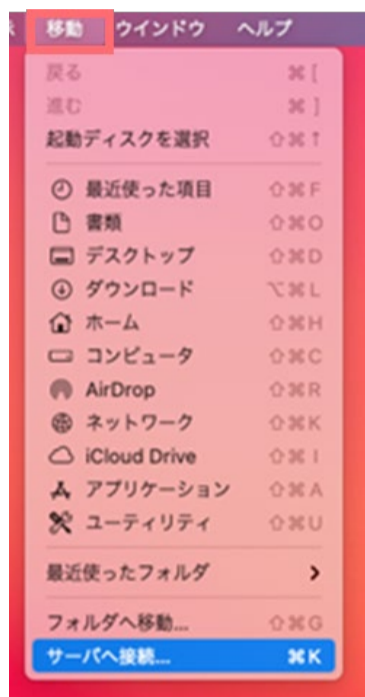


4. publicフォルダがZドライブとして、エクスプローラーの「コンピューター」の「ネットワークの場所」に表示されるようになります。この状態でファイルをドラッグ&ドロップすればコピーが行えます。

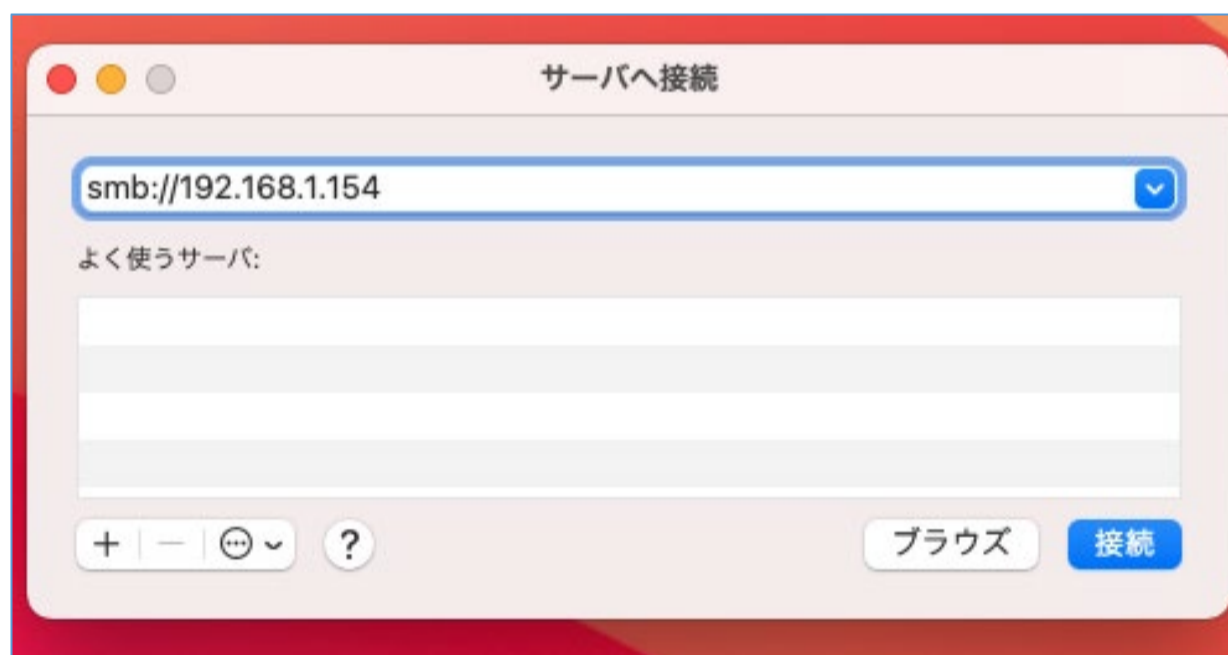


■ MacOSの場合

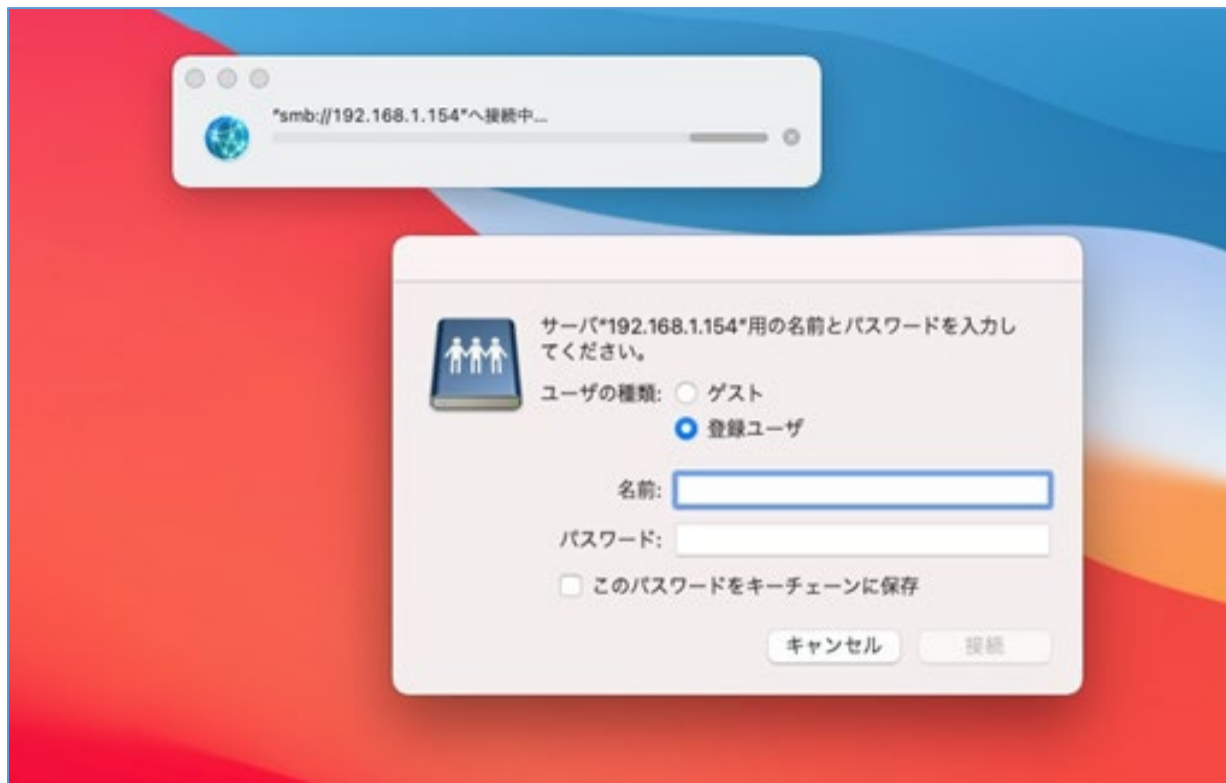
1. Finderを起動して、デスクトップ画面の左上にあるメニューバーの[移動]をクリックし[サーバーへ接続...]を選択します。



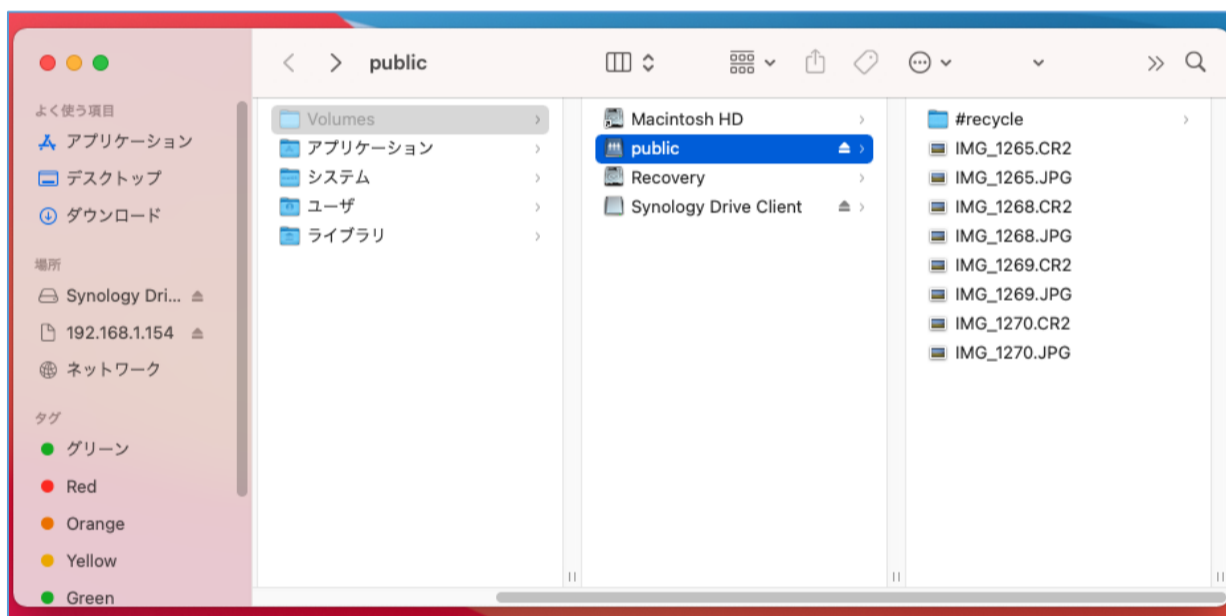
2. サーバーアドレス欄に「smb://(NASのIPアドレスもしくはサーバー名)」を入力して接続します。NASのIPアドレスが192.168.1.154なら「smb://192.168.1.154」、サーバー名がNASなら「smb://NAS」です。入力できたら[接続]をクリックします。



3. 「サーバー“○○○○”用の[名前]と[パスワード]を入力してください。」と表示されますので、ユーザーの種類は「登録ユーザー」でDSMユーザーアカウントとパスワードを入力して接続を選択します。



4. 接続するサーバー上のマウントするボリューム(home、musicなどのフォルダ)を選択し、[OK]をクリックすると下記の画面となります。これでFinderの共有ドライブ欄にNASが表示されるようになります。

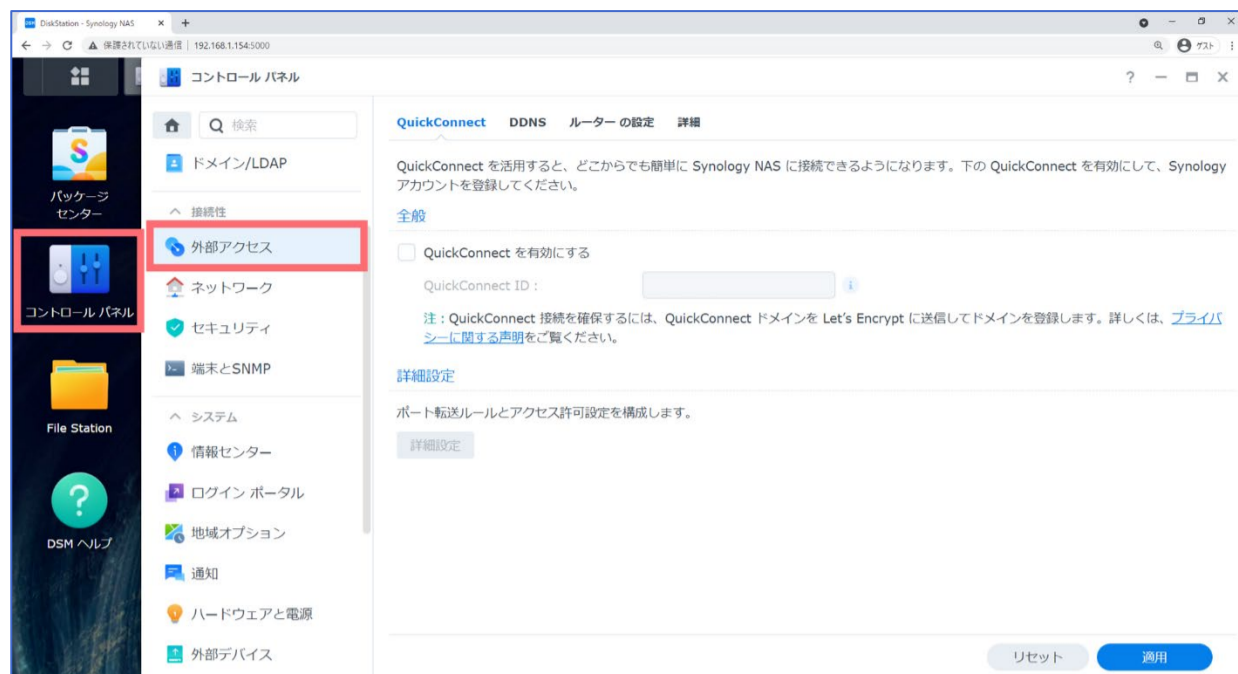


3.6 QuickConnectの設定方法

QuickConnectという機能を使用することで外出先から自宅にあるNASに簡単にアクセスできます。なお、QuickConnectの機能を使用する場合、Synologyアカウントが必要になります。

■ QuickConnectの設定方法:

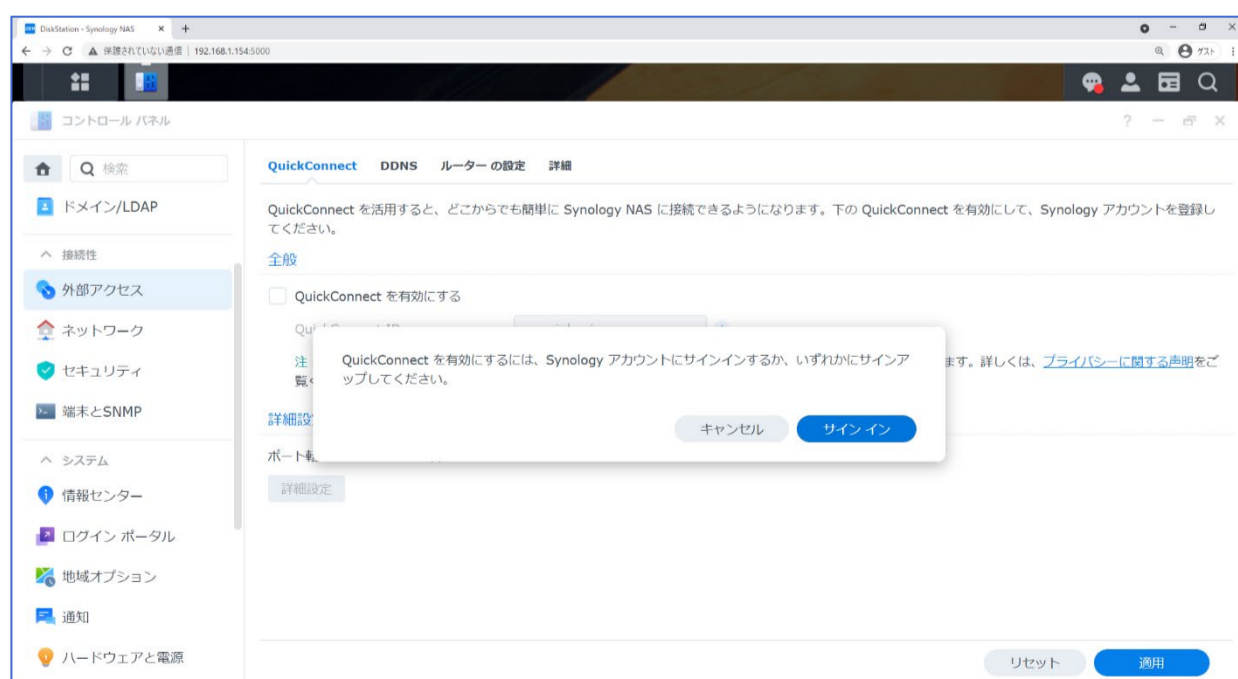
1. [コントロールパネル]>[外部アクセス]の順に選択します。



2. [QuickConnectを有効にする]にチェックを入れます。



3. 「Synologyアカウント」にNASが登録されていない場合は、[Synologyアカウントにサインインにするか、いずれかにサインアップしてください。]と表示されます。ここでは既にSynologyアカウントを作成済みのため、サインインを選択します。

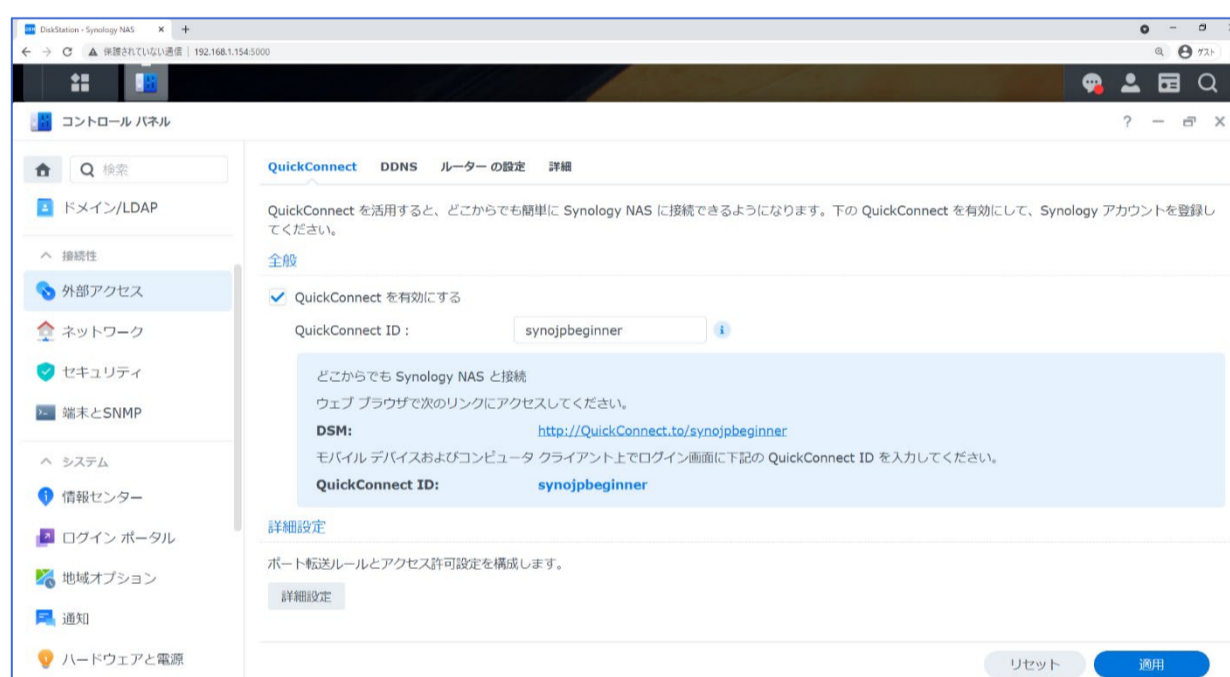


4. [QuickConnect ID]欄で、自分のQuickConnect IDを作成します。次に[適用]をクリックします。



5. QuickConnectリンクの情報が表示されます。このリンクを使ってDiskStationにアクセスします。

この例では、DSMのアドレスは<http://QuickConnect.to/>(設定したQuickConnect ID)になっています。



6. QuickConnectリンクが表示されない場合は、[詳細設定]をクリックして DSMが有効になっているか確認します。

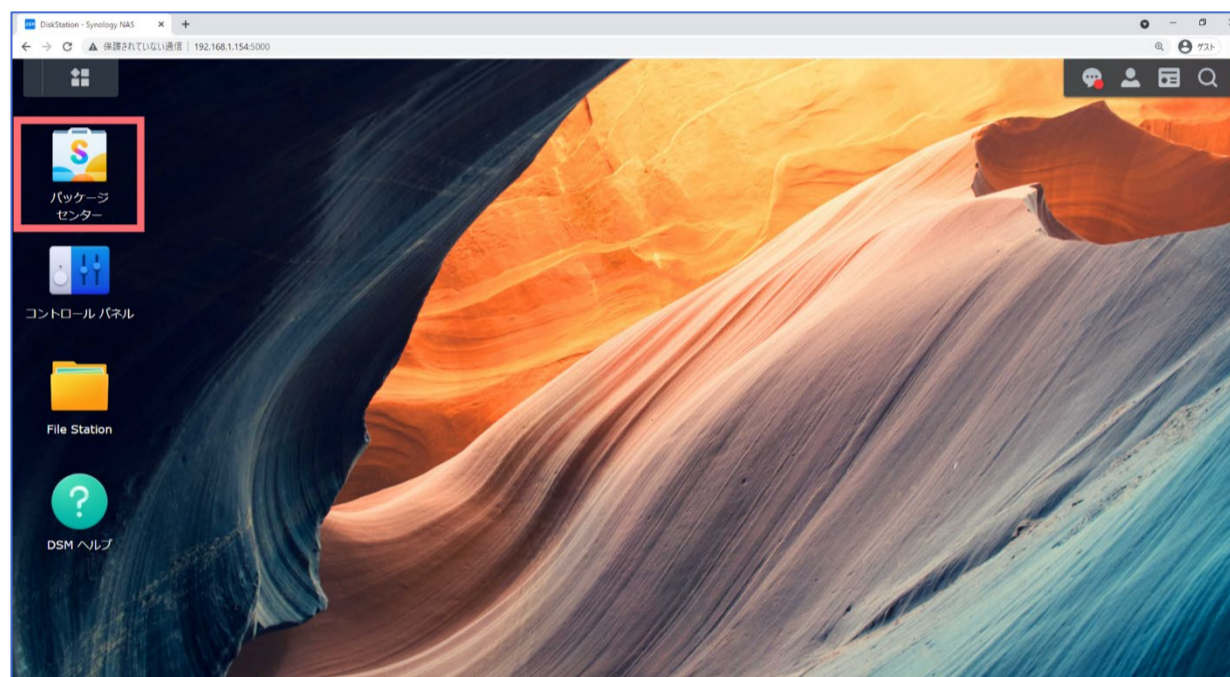
7. QuickConnectの設定が完了し、NASがインターネットに接続可能な環境であれば、QuickConnectリンクやスマートフォンを使って外出先からでもNASのデータにアクセスできるようになります。

4. パッケージの紹介

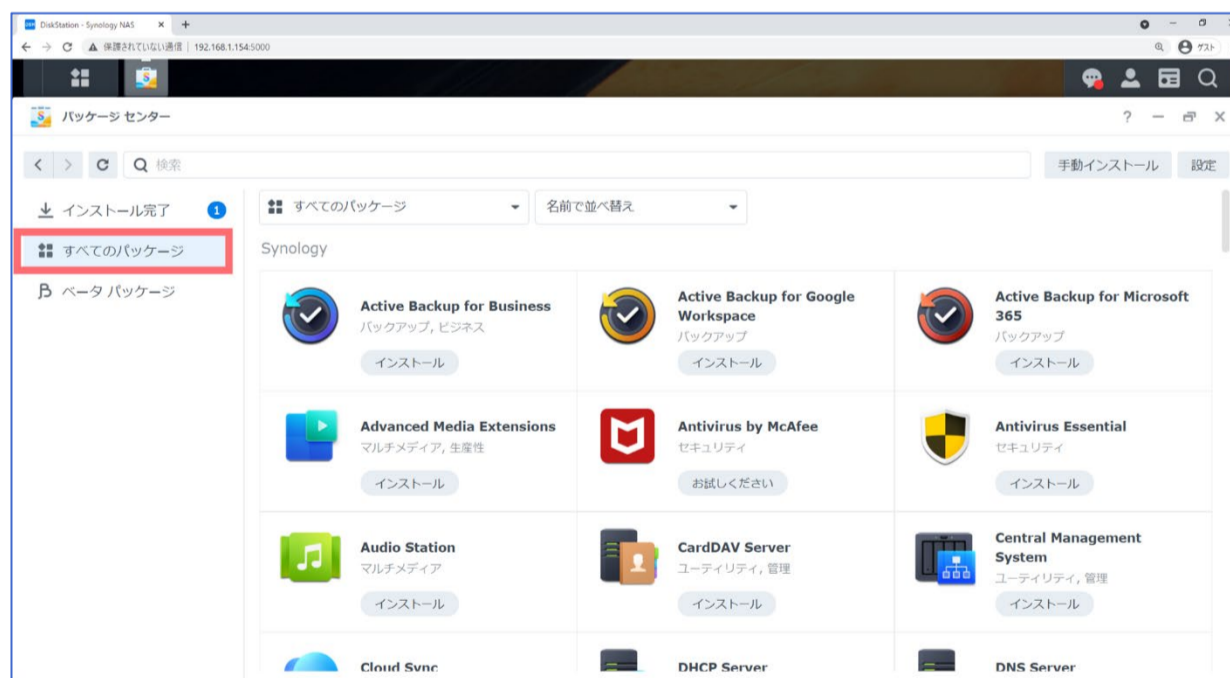
Synology NASではデフォルトで使用できるパッケージの他に、様々なパッケージをご用意しております。スマートフォンにお好みのアプリを追加する感覚で、NASを自分自身でカスタマイズすることが可能です。

4.1 パッケージのインストール方法

1. [パッケージセンター]をクリックします。



2. [すべてのパッケージ]から必要なパッケージをクリックし、インストールボタンをクリックし、インストールします。



3. インストールが完了すると、[メインメニュー]にパッケージが追加されていることが確認できます。

4. パッケージをアンインストールしたい場合、[パッケージセンター]>[インストール完了]タブよりアンインストールしたいパッケージをクリックし、[開く]ボタンの右矢印部分ををクリックすることでアンインストールを選択することができます。



4.2 主なパッケージ紹介

Synologyが開発している一部パッケージをご紹介します。

Synology Photos*

Synologyが提供する新しい写真管理パッケージです。スマートフォン上の写真・動画のWi-Fiバックアップ対応します。今まで煩雑になっていた写真管理を一元化し、さらに撮影日や撮影条件(カメラモデル・絞り)、一部のモデルでは顔認識などから検索することができ、特定の思い出を素早く抽出して閲覧でき、さらに家族や友達と簡単に共有できます。詳細についてはSynology Photos概要をご覧ください。

- Synology Photos 概要 : [<https://sy.to/c4g84>]



Video Station*

ホームビデオや動画コレクションなどの動画データをビデオライブラリーとしてまとめることができます。NASが接続したローカルネットワーク(LAN)上のデバイス(PC/Mac/スマートフォン)からいつでも好きな動画を簡単に楽しめます。また、Video Stationにまとめられた動画はインターネットを経由して閲覧する事も可能です(注意:動画再生には広帯域のインターネット回線が必要です)。外出先に動画データを持っていかなくても、モバイルデバイスから動画を楽しむことも出来ます。

メディアサーバー

NASをマルチメディアサーバーとして、DLNA/UPnP対応デバイス(DMA)からマルチメディアコンテンツを楽しめます。お持ちの大画面TVや高機能ステレオシステムなどがDLNA/UPnPに対応(DMAデバイス)している場合、NAS内の写真や動画、音楽などを再生できます。DLNAは、フォルダやファイルのアクセス権限の制御が行なえない仕様となっています。「メディアインデックス付け」対象とした「photo」フォル

ダ内の動画ファイルは、[Photo Station] で設定されている権限に関わらず、DMAから全て閲覧が可能となりますのでご注意ください。



Synology Drive* (一部のモデルでは対応していません。)

Synology Driveを使用することで、外部からいつでもどこでもデータの編集・管理が可能です。Synology Officeをインストールすることで複数の人との同時編集*にも対応することができます。その他、PC内のデータバックアップやNAS同士のデータ同期、Windows PCへのオンデマンド同期機能の設定が可能です。詳細についてはSynology Driveソリューションガイドを参照ください。

・ Synology Driveソリューションガイド : [<https://sy.to/nxub3>]



Note Station

備考録、アイデア、忘れてはならない情報、とりあえずどこかにメモを書き留めておきたい時、PCやスマートフォンからNote StationやDS noteを使ってメモを作成することが可能です。メモ毎にパスワードを設定できるのでセキュリティも安心です。



Cloud Sync

既にBoxやDropbox、Google Drive、OneDriveなどのパブリッククラウドサービスを利用している場合、パブリッククラウド内のデータをNASと同期することができます。パブリッククラウドにアクセスできない場合、NASと同期していれば設定次第でNASからアクセスできます。さらにパブリッククラウドをNASのデータのバックアップ先として利用することも可能です。詳細については同期ガイドをご覧ください。

・ 同期ガイド : [<https://sy.to/vxzoz>]



Hyper Backup

NASでデータを管理していても、万が一に備えて定期的に外部ストレージにバックアップを行う必要があります。Hyper Backupを使用するとNASの定期的なバックアップおよびフォルダやパッケージを選択したバックアップが行え、また豊富なバックアップ先の選択にも対応しています。

* : こちらのパッケージをインストールするとNASのシステムリソースを消費します。NASモデルや利用環境により、無理なく同時に稼働できるパッケージ数や一度にアップロードできるファイル数は異なります。より快適にSynology NASをご利用いただけるよう、ご利用のNASのパフォーマンスを確認しながら、稼働するパッケージ数やアップロードするファイル数を増やしていくことをお勧めします。

5. モバイルアプリからNASへ接続する方法

お使いのスマートフォンやタブレットからNASのデータにアクセスするための、さまざまなモバイルデバイス向けアプリを提供しています。

5.1 アプリのインストール方法

今回はDS File(File Station用モバイルアプリ)を例にスマートフォンへのアプリのインストール方法およびログイン方法を確認しましょう。その他のSynologyアプリも同様の方法でログインが可能です。

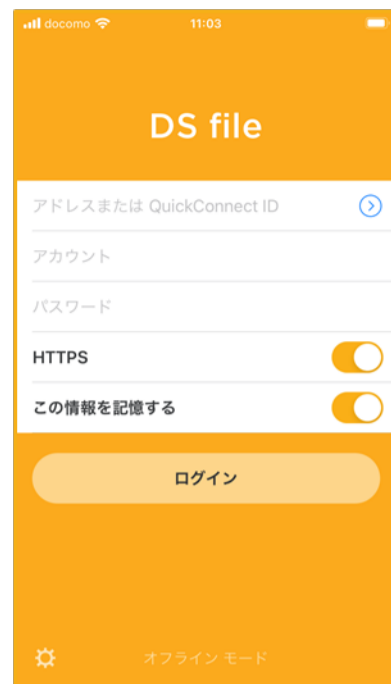
■ DS fileのインストール・ログイン方法

1. iOSではApp store、AndroidではGoogle PlayストアからDS fileをインストールします。



2. DS fileにログインします。

- ① [アドレスまたは QuickConnect ID]にはNASのローカルIPアドレスまたはグローバルIPアドレス、DDNS、ホスト名、QuickConnect ID のいずれかを使用してアクセスできます。
- ②次に[DSMユーザーアカウント]と[パスワード]を入力します。
- ③SSL/TLS 暗号化接続を使用したい場合は、[HTTPS] を有効にします。

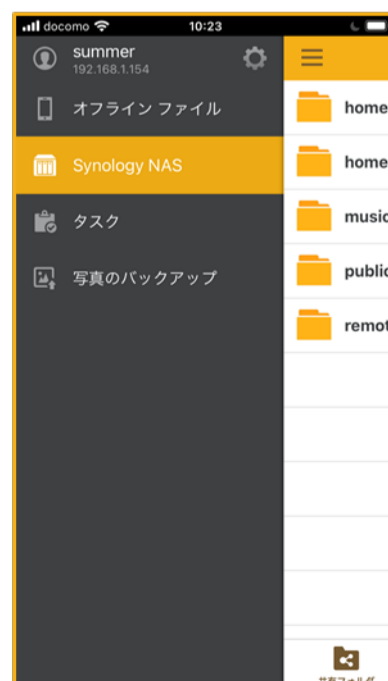


5.2 DS fileの操作方法

DS fileはモバイルデバイス向けのアプリであり、DiskStationに保存されたファイルを管理したり、NASとスマートフォンやタブレットにてファイルをアップロード/ダウンロードすることに適したアプリです。ファイル管理に加えて、DS fileは外出先で画像を参照したり、動画を鑑賞したり、ビジネスドキュメントをチェックするのに便利なツールとなります。

■メインメニュー

- [オフラインファイル]: モバイルデバイス内にファイルがある場合、ローカルファイルを参照できます。また、NAS内のファイルをモバイルデバイス内にダウンロードし、オフライン上で確認することができます。
- [Synology NAS]: NASデバイスのフォルダやファイル进行操作(コピー、削除、ダウンロードなど)したり、管理したりできます。
- [タスク]: アップロード/ダウンロードのタスクリストと、各タスクの状態が表示されます。
- [写真のバックアップ]: モバイルデバイス上にある写真や動画をNASにバックアップすることができます。



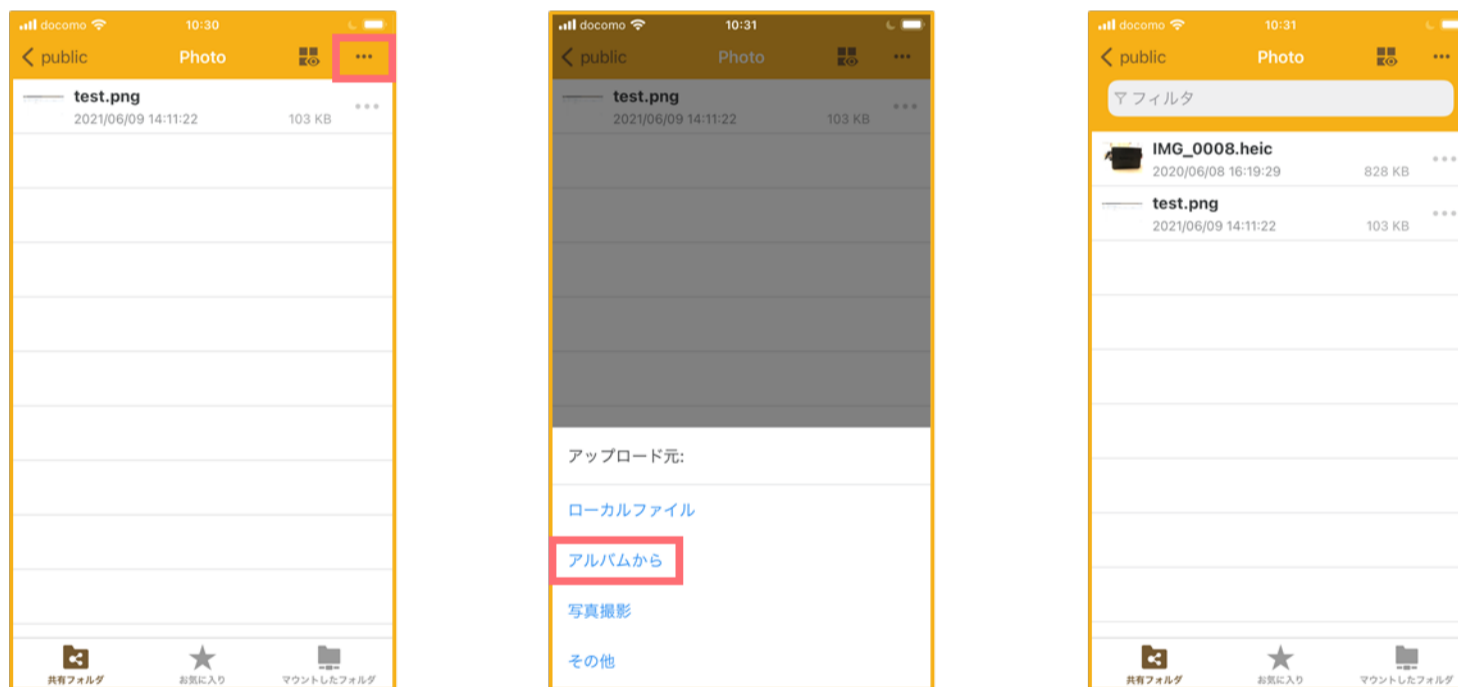
■ 操作画面一覧

以降iOSでの操作画面です。移動したいフォルダ名をタップすると右画面のようにサブフォルダへ移動します。

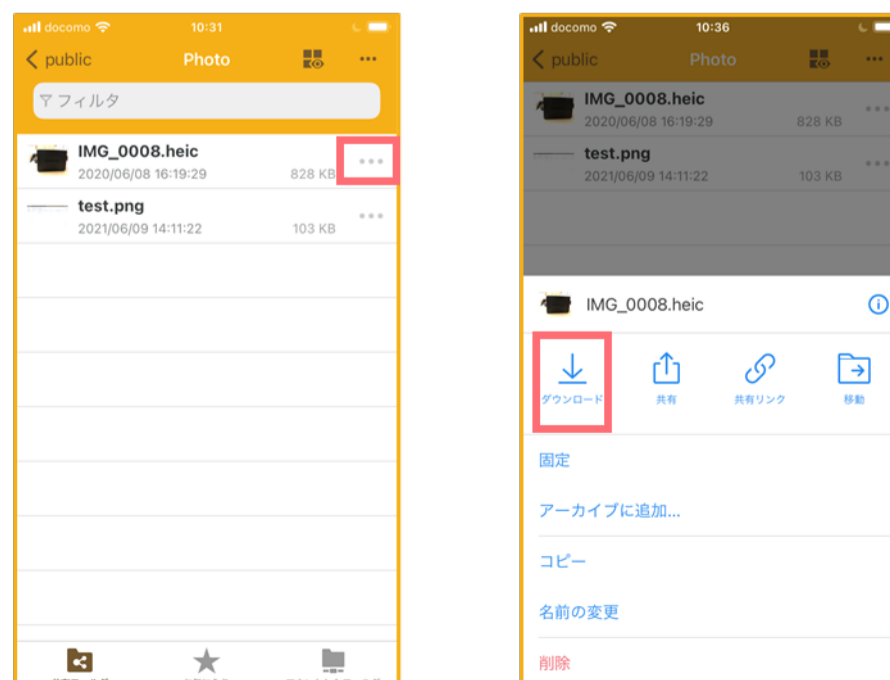


■ ファイルのアップロードとダウンロード方法

アップロード: 目的のフォルダで[...]>[アップロード]をタップし、アップロードするファイルを選択します。

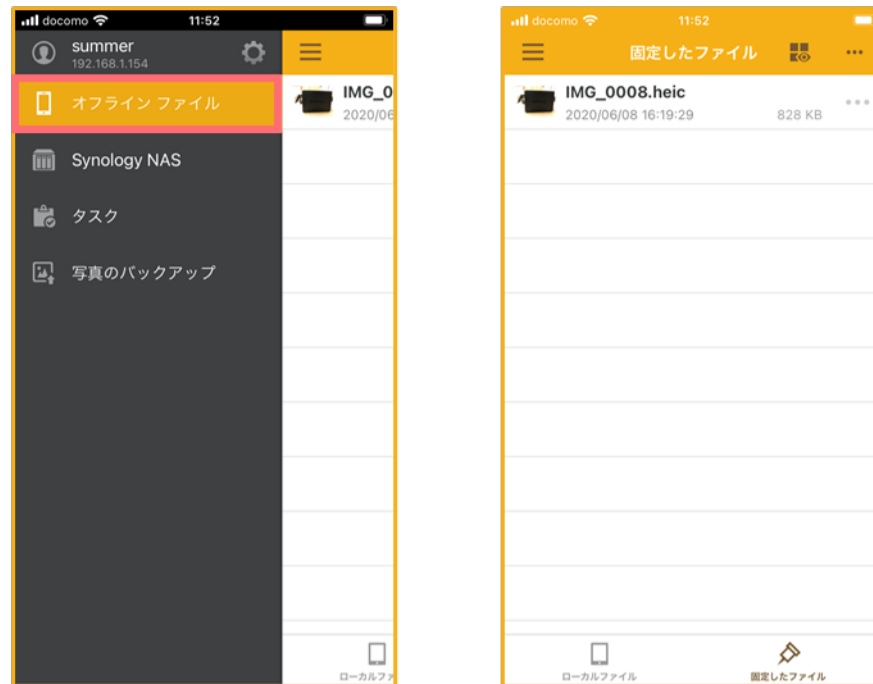


ダウンロード: 目的のファイルの右にある[...]>[ダウンロード]を選択します。



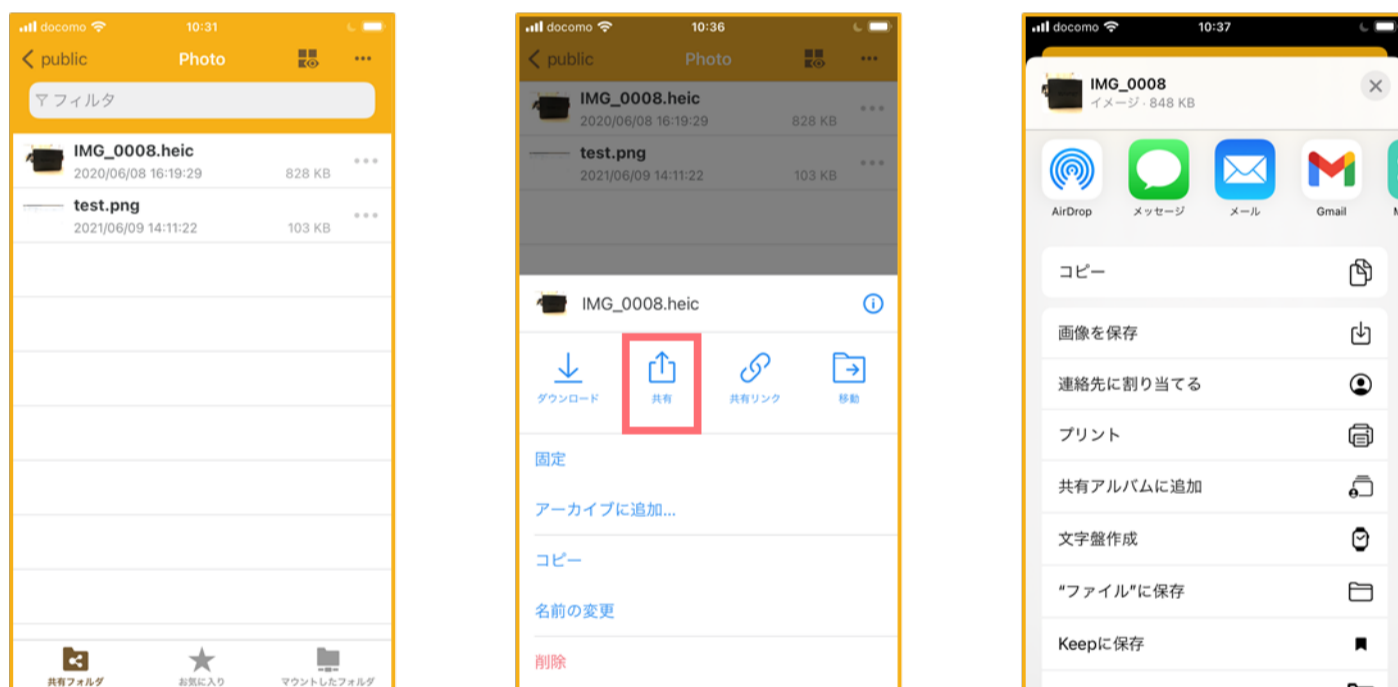
■ 固定したファイル

固定したファイル(読み取り専用ファイル)はメインメニューの[オフラインファイル]から見れます。



■ フォルダやファイルの共有

目的のファイルの共有リンクをシェアします。リンクは直接SNSでシェアすることができます。



■ 写真および動画のバックアップ

メインメニューの[写真のバックアップ]からモバイルデバイス内の写真と動画をバックアップできます。



5.3 対応パッケージ一覧表

モバイル向けアプリはNASのパッケージ毎に対応しています。ご利用しているパッケージに合わせてモバイル向けアプリもインストールください。

Synologyが提供している一部モバイル向けアプリについてご紹介します。

DSM パッケージ名	モバイル向け		
	アプリ名	iOSインストール	androidインストール
File Station	DS file		
			
Synology Photos	Synology Photos		
			
Video Station	DS video		
			
Audio Station	DS audio		
			
Note Station	DS note		
			

6. 困ったとき確認してほしい項目

NASの使い方がわからない場合や、使いたい機能がどのパッケージなのか、その他、万が一不具合が生じたなどの場合にSynologyテクニカルサポートがサポートチケットでお問い合わせ内容に回答いたします。

ここからはSynologyテクニカルサポートとスムーズに対応させていただくために、最低限確認いただきたい項目をご紹介します。

6.1 Synology公式ウェブサイト確認方法

■ Synology公式ウェブサイト

Synology公式ウェブサイトにはたくさんのFAQを掲載しております。

今回はFAQの確認方法及びその他NASを使用する上で役立つページをご紹介します。

- ・ Synology公式ウェブサイト：[\[https://sy.to/mkzzb\]](https://sy.to/mkzzb)



■ Synologyナレッジセンター

FAQやチュートリアルなど、さまざまな問題や疑問に対する解決策をご用意しております。

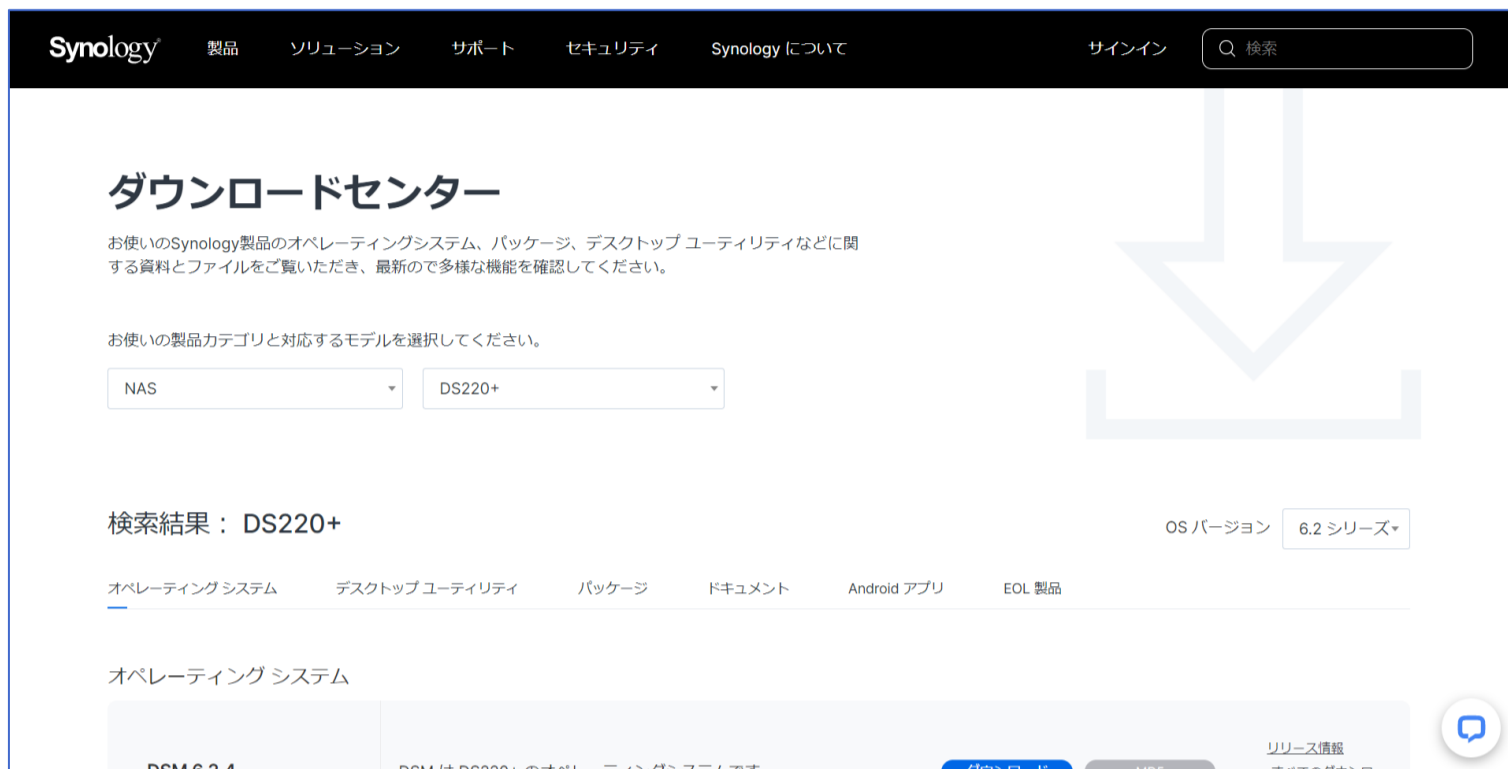
- ・ Synology ナレッジセンター：[\[https://sy.to/7sjjq\]](https://sy.to/7sjjq)



■ダウンロードセンター

ご利用いただいているNAS毎にOSの更新やハードウェア設置ガイド、デスクトップユーティリティ、各種ガイドなどを揃えています。

- ・ダウンロードセンター：[\[https://sy.to/unq3k\]](https://sy.to/unq3k)



■コミュニティ

Synology製品について疑問に思ったことを、ユーザー間で気軽に質問・相談・解決できるツールです。実際に質問したい場合、Synologyアカウントでログインする必要があります。

- ・コミュニティ：[\[https://sy.to/u3mzc\]](https://sy.to/u3mzc)



6.2 サポートチケットの新規作成・返信方法

[6.1 Synology公式ウェブサイト確認方法]をご確認いただいても問題が解決できない場合、Synologyのテクニカルサポートチームが解決できるようお手伝いします。

■ サポートチケット作成手順

ここではサポートチケットの作成手順についてご案内いたします。

● Synologyアカウントサイトから作成する場合

1. Synologyアカウントにログインし「サポート」>「サポートチケットを作成」をクリックします。



2. 「製品型番」「バージョン」「機能性(※1)」をそれぞれ入力し、「現在の問題を一行で要約してください」(※チケットのタイトルとなります)を入力してください。

製品型番 *

登録済デバイスのモデル名/シリアル番号を入力してください。

DS718+

モデル名とシリアル番号を入力してください

現在の問題を一行で要約してください *

間違いないように日本語、Englishでフォームを送信してください。 0 / 100

次へ

※1: 「機能性」は質問のカテゴリとなります。「症状」から検索を行うか、該当する項目を選択すると選択肢が表示されるため合致する内容を選択してください。



3. 選択したカテゴリや入力内容から、関連すると思われる弊社ナレッジが表示されます。

お客様の問題に合致するナレッジが存在する場合はご参照いただき、お客様の問題が解決するかご確認ください。

解決しない場合は「次へ」をクリックしてください。



4. サポートチケットの作成画面が表示されます。「問題の説明」にお客様のお問い合わせ内容について、可能な限り詳細に記入ください。 記入例)現在の状況、問題が発生した経緯、解決のために試した手順(弊社ナレッジを参照いただいた場合はそのURL)、等。

また、システムログや添付ファイルが存在する場合は「ファイルを選択」よりアップロードしてください。



ファイルはまとめて圧縮を行っていただくと複数ファイル添付可能です。

ファイルの圧縮方法は各OSのサポートページ等をご参照ください。

- Windows OSの場合：ファイルを圧縮および展開する(Microsoftサポート) : <https://sy.to/qbqfa>
- macOSの場合：Macでファイルやフォルダを圧縮する/解凍する(Appleサポート) : <https://sy.to/yx0hn>



メモリ・ドライブ(HDD)・ネットワークデバイス等の情報がある場合は「メモリ、ドライブ、またはネットワークデバイス」に記入してください。

5. 全ての記入が終わったら「サービスとプライバシーに関する声明」をご確認ください。

「サービスとプライバシーに関する声明」をご確認いただき、同意される場合、チェックボックスにチェックを入れて「送信」でチケットを送信してください。

さらに追加されているデバイス(オプション)

メモリ、ドライブ、またはネットワークデバイス
インストールされているメモリ、ドライブ、ネットワークデバイスの一覧があると、状況を明らかにするのに役立ちます。

別の連絡先情報(オプション)

電子メールで
通知を受ける必要がある連絡先をつけてこのチケットの最新のステータスを同期できます。チケットがSynology テクニカルサポートによって更新されると、リストにある受信者全員に電子メールの通知が送られます。

電話で
Synologyテクニカルサポートが必要に応じてご連絡差し上げます。

サービス規約とプライバシーに関する声明*

お客様の技術的な問題を解決し、当社のサービスを改善するために、当社はおお客様の連絡先および製品情報を収集することがあります。当社のデータ処理ポリシーの詳細については、テクニカルサポートデータ収集の開示およびプライバシーに関する声明をご覧ください。

私は上記の情報を読み同意します。

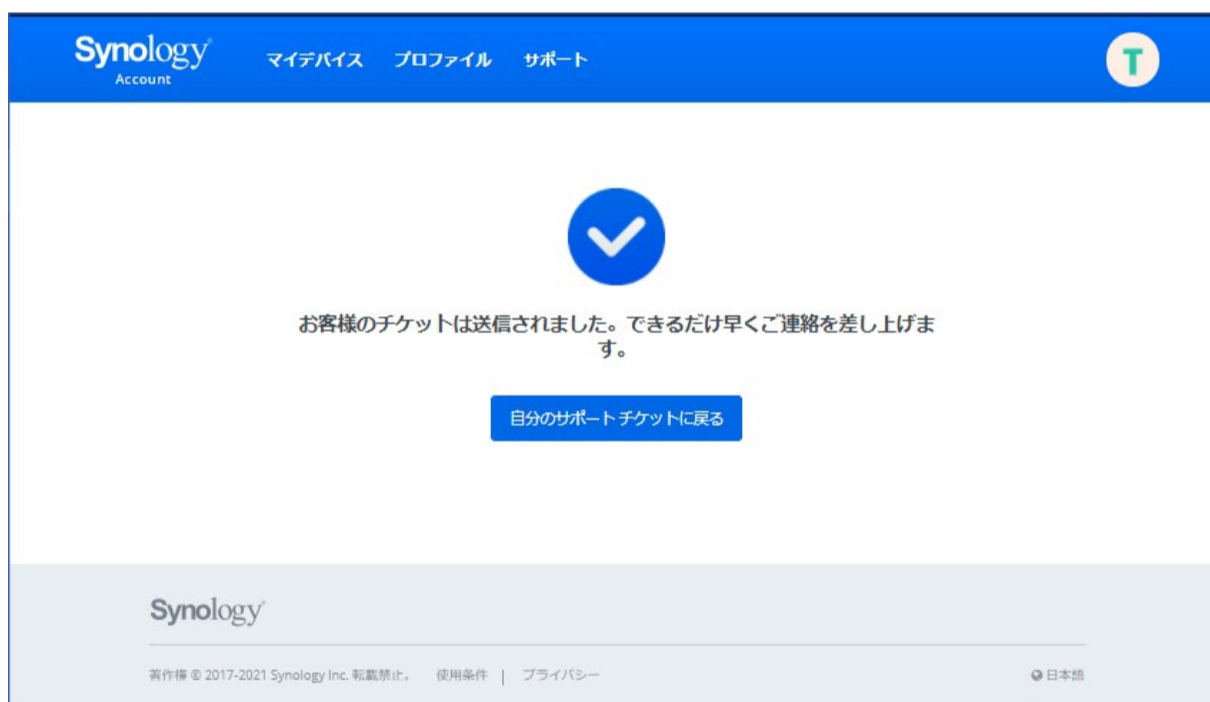
送信

「送信」が完了すると下記画面が表示されますのでSynologyサポートからの返信をお待ちください。

※「別の連絡先情報(オプション)」について

現在、日本サポートでは電話および個別の電子メールでのサポートはご提供しておりません。

日本サポートは、**平日9-18時**のチケットでのサポートのみのご提供となりますことをご了承ください。



● DSM管理画面から作成する場合：

1. DSM管理画面にログインし、メインメニュー(画面左上)より「サポートセンター」を選択します。



2. 起動した画面より「カテゴリ」「サブカテゴリ」「問題のタイプ」を選択し、「現在の問題を一行で要約してください」(※チケットのタイトルとなります)を記入します。

The screenshot shows the Synology Support Center interface. On the left, there are navigation options: 'サポートに問い合わせる' (Contact Support) and 'サポート サービス' (Support Services). The main area contains a form for creating a ticket. At the top, it says '既存のチケットを表示し、それに返事をするには、Synology アカウントページに進みます。' (To view existing tickets and reply to them, please go to the Synology Account page). Below this, there are dropdown menus for 'カテゴリ*' (Category) set to '症状' (Symptoms), 'サブカテゴリ*' (Sub-category) set to 'ストレージ プール クラッシュ/デー...' (Storage Pool Crash/Day...), and '問題のタイプ*' (Problem Type) set to '構成と設定' (Configuration and Settings). A text input field for '現在の問題を一行で要約してください*' (Summarize the current problem in one line) contains the text 'ストレージプールがクラッシュした' (Storage pool crashed) and '16 / 100' characters. A blue '次へ' (Next) button is at the bottom.

3. 選択したカテゴリや入力内容から、関連すると思われる弊社ナレッジが表示されます。お客様の問題に合致するナレッジが存在する場合はご参照いただき、お客様の問題が解決するかご確認ください。

4. 解決しない場合は「次へ」をクリックしてください。

The screenshot shows the Synology Support Center interface with search results. The left sidebar is the same as in the previous screenshot. The main area displays a search result for '[Storage Manager] ストレージ プールを修理 - クラッシュしたストレージプールの解決' (Repair Storage Pool - Solution for Crashed Storage Pool). The text explains that if the volume status is 'Crash', the user cannot restore it themselves and should contact technical support. Below this, there are two sections: 'ボリュームがクラッシュした場合はどうすればいいですか?' (What should I do if the volume has crashed?) and 'ボリュームがクラッシュする原因は何ですか?' (What are the causes of volume crashes?). The first section lists symptoms like drive errors or file system errors and provides a 4-step general scenario. The second section explains that the main causes are drive-related issues or RAID configuration problems. At the bottom, there is a link to 'より詳細はナレッジベースでご覧いただけます。' (For more details, please see the Knowledge Base) and a blue '次へ' (Next) button.

5. 「6.2 サポートチケットの新規作成・返信方法」の4以降を参照ください。

※送信したチケットの内容、および返信はSynologyアカウントにログインいただくことで確認可能です。お客様のNASに紐づいているSynologyアカウントは、[コントロールパネル]>[情報センター]>もしくはは[Synologyアカウント]よりご確認いただくことが可能です。



■ 返信されたチケットの確認方法

チケット返信時にSynologyアカウントに登録したメールアドレス宛に通知メールが送信されますが、メールからチケットへの返信をおこなっていただくことはできません。Synologyアカウントにログインし「自分のサポートチケット」の該当のチケット番号より返信をお願いいたします。



■ 返信されたチケットへの返答方法

チケットに返信があった場合「サポート」画面にて状態が「返信済み」となります。

※お問い合わせをいただいてから24時間以内の返信を心掛けておりますが、土日祝日明けや多数のお問い合わせをいただいている場合、返信に2、3日以上お時間をいただく可能性がございますことをご了承ください。



- チケットは30日以内であれば返信が可能です。

返信を行う場合、該当のチケットをクリックして、下部の「返信」ボタンより返信を行ってください。

30日を経過した場合は該当のチケットから返信は行えなくなりますが、新規チケットにて該当のチケットのチケット番号を記載して問い合わせいただくことで継続してのご対応が可能です。

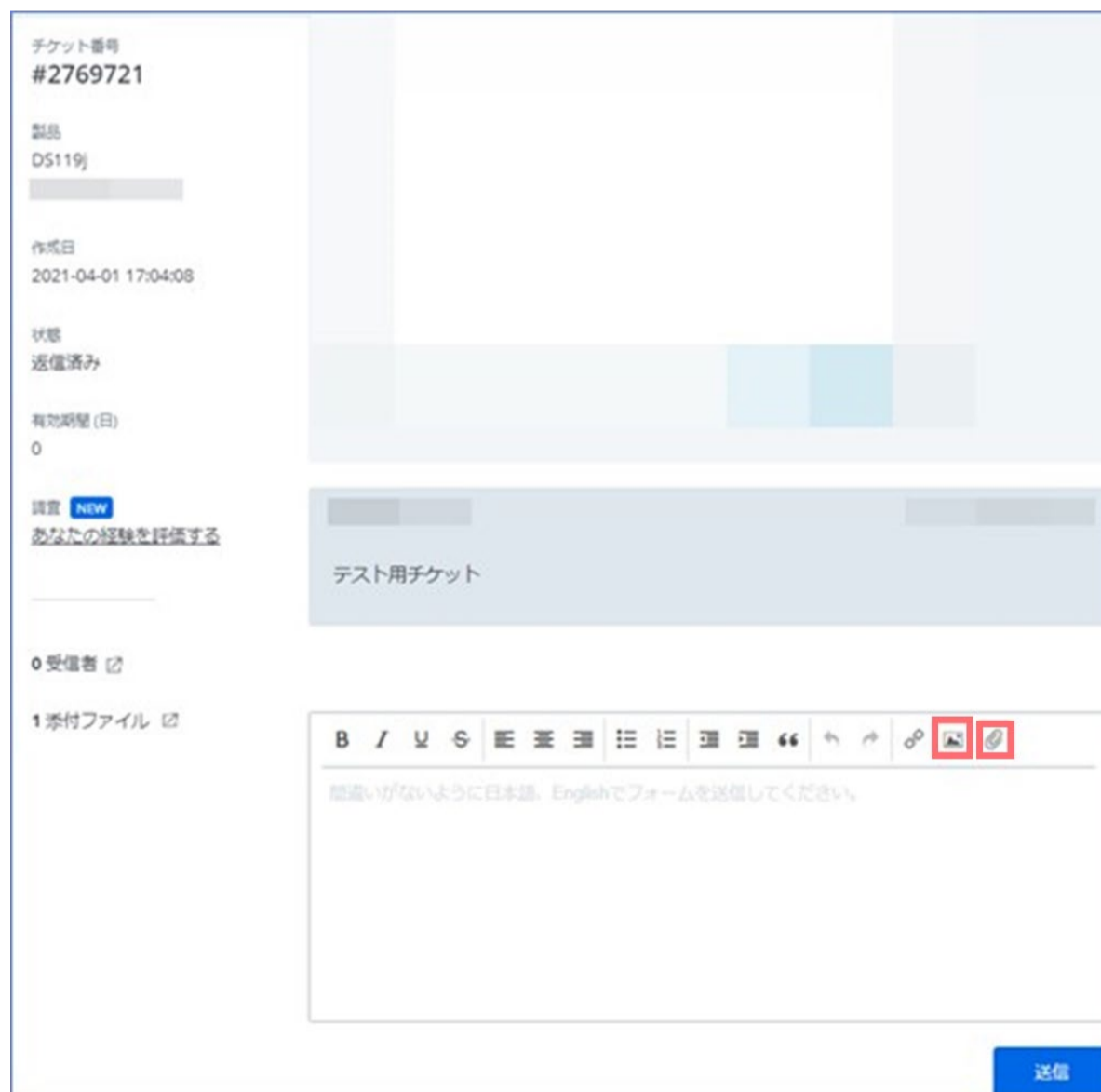


■ 返信時のチケットへのファイルの添付方法について

取得いただいたスクリーンショット等については、Synologyアカウントのサポートチケットの返信にて「画像の貼付」もしくは「ファイルの添付」によるご提供をお願いしております。

スクリーンショットを取得いただく場合は、WebブラウザのアドレスバーにあるURLやサーバー名、IPアドレスなどの情報の判読ができる画像を取得いただきますようご配慮ください。

下記はチケット返信時のサンプル画面です。




- 編集画面にて「画像の挿入/編集」(アイコン: ) から複数の画像を貼付することが可能です。



画像 (スクリーンショットなど) をクリップボードから貼付することもできますが、間違って図を貼付した際のやり直しや画像 (スクリーンショットなど) の大きさの変更などの事前処理をされる場合は、画像ファイルに保存された後で「画像の挿入/編集」から貼付するファイルを選択する方法をご利用ください。

画像ファイルが多数ある場合や、PDFやログファイル、設定ファイルなどを提供いただく場合は「ファイルの添付」をご利用ください。

「ファイルの添付」は、エディター画面にて「ファイルのアップロード」(アイコン: ) から行えます (新規チケットの場合、添付アイコンの場所が異なります)。



一回の返信に添付できるファイルは一つのため、複数のファイルを添付される場合は、事前に複数ファイルを一つのファイルとして「.zip」などの形式で圧縮していただいた後に「添付」します。

ファイルが一つしかない場合は圧縮を行う必要はございません。また、添付ファイルのサイズが大きい場合はチケットへの添付ができませんので、その場合はサポートチケットにてお知らせください。

■ チケットのクローズ後について

お時間がある場合にはチケット内下部「あなたの経験を評価する」より「お客様満足度調査」にご協力ください。

※回答は任意となり必須ではありません



7. 補足資料・よくある質問

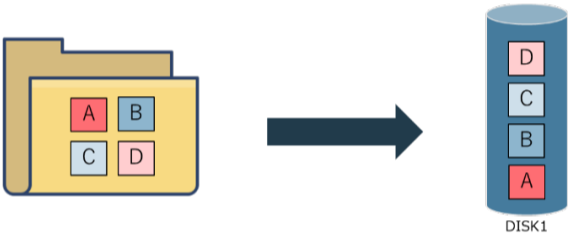

本章はNASのシステムや使い方を詳しく理解したい方向けです。

7.1 RAIDの種類と保護レベル

1台のHDDのみを使用する場合、容量と読み込み/書き込み速度には限界があります。しかし多数のHDDにデータを分散保存することで読み込み/書き込みの性能が向上し、保存されるデータの冗長化(フォールトトレラント*)されることでデータ保護が可能となります。下表は使用されることの多いRAIDの種類について説明しています。

*フォールトトレラント: システムの一部に問題が生じても全体が機能停止することなく(たとえ機能を縮小しても)動作し続けるようなシステム

■ 一般的なRAIDの種類

Type	HDD 必要台数	実容量*	イメージ	保護レベル
BASIC	1台	1台分		HDD故障の場合 データ復旧不可
JBOD	2台以上	HDDの台数分		HDD故障の場合 データ復旧不可
RAID0 ストライピング	2台以上	HDDの台数分		HDD故障の場合 データ復旧不可
RAID1 ミラーリング	2台以上	1台分		HDDが残り1台にな るまで利用可能
RAID5 パリティ分散	3台以上	(HDDの台数-1) 台分		1台のHDDが故障し ても、残りのHDD で利用可能
RAID6 複数パリティ分散	4台以上	(HDDの台数- 2)台分		2台のHDDに障害 があっても、残り のHDDで利用可能

*各 HDD が全く同じ容量の場合

■設定したRAIDからその他のRAIDに変更する場合

SHR以外では、初期設定で決定したRAID構成から、HDDの容量不足などを理由にRAIDタイプを変更する場合、以下の表の組み合わせに限り、RAIDタイプの変更が可能です。

RAIDタイプ	変更可能なRAIDタイプ
BASIC (1つのHDDでRAIDを組まない)	RAID1、RAID5
RAID1	RAID5
RAID5	RAID6

上表の組み合わせで変更される場合、RAIDタイプの変更に際して保存されているデータが失われることはありません。

例えば4ベイ以上を持つNASに最初はHDD2台でRAID1構成をして、その後HDDを増設し容量を拡張する場合、RAID1からRAID5に変更することでストレージ容量を増加させることが可能です。

このようにHDDの容量不足による変更や、より高い冗長性をもったRAIDタイプへ変更する場合、装着するHDDの容量は装着しているHDDと同じ容量にすることが望ましいです。しかし、近年ではHDDの低価格化が進み、既にNASに装着しているHDDよりも、大容量品が低価格で販売されています。

そのため容量が異なるHDDにてRAID構成を組む必要があるかもしれません。

一般的なRAIDでは容量が異なるHDDでRAIDを構成する場合、構成するHDDのうち、最小容量のHDDを基準としてRAIDを構成するため、残りのHDDが大容量だったとしてもストレージ容量を増加させることができない場合があります。

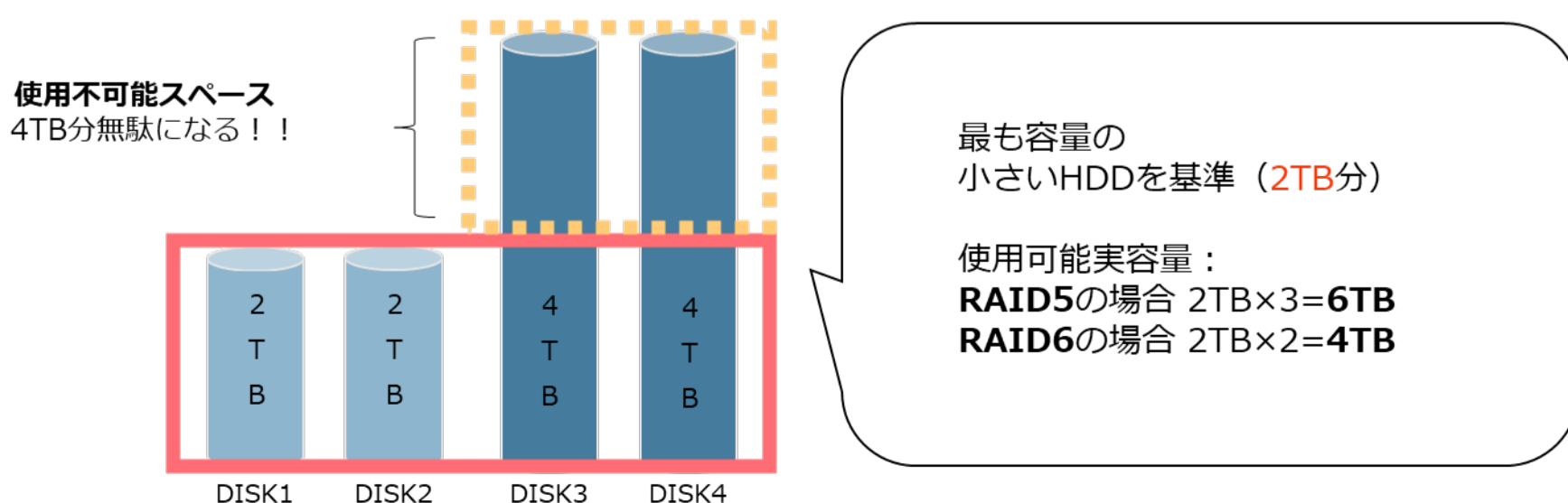
今まで使用してきたRAID構成にHDDを追加することでストレージ容量を増加させたいと考える方にとって、一般的なRAIDの場合、期待通りにならない可能性があります。

Synologyでは、上記のような一般的なRAIDタイプでは対応できない問題を解決するために[Synology Hybrid RAID\(SHR\)](#)を開発しました。

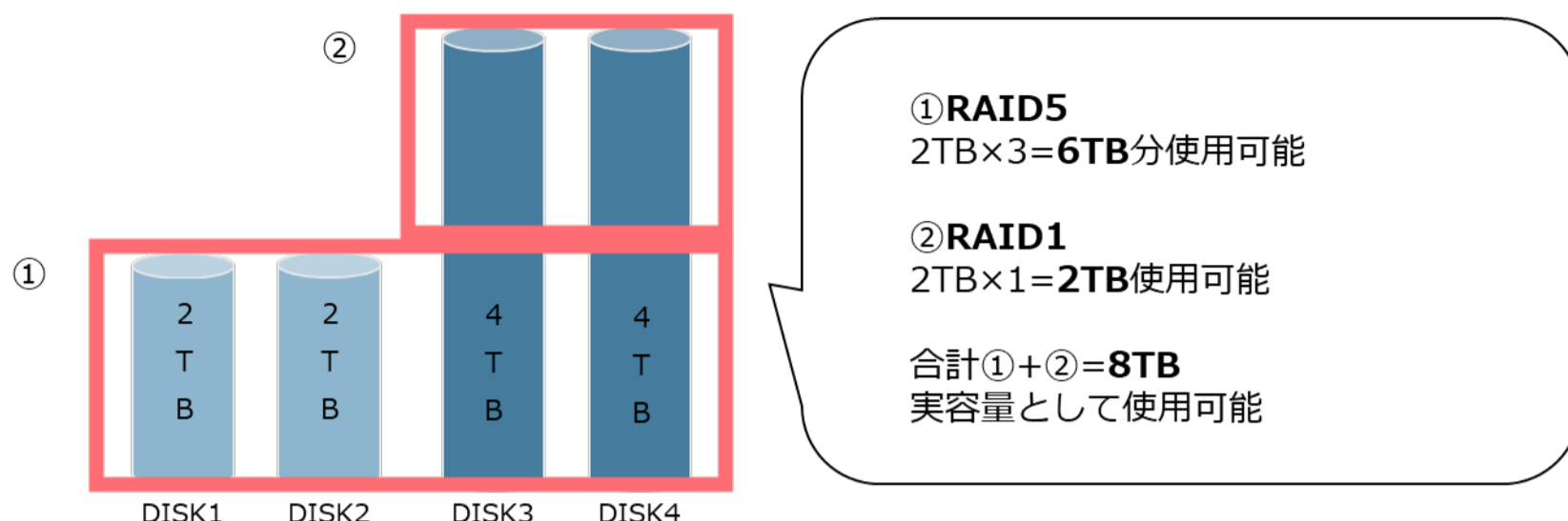
■SHRとは

以下はSHRと従来のRAIDの違いとメリット/デメリットを示しています：

一般的なRAIDは最も容量の小さいHDDを基準とし、RAIDを構成します。そのため、異なる容量のHDDでRAIDを構成する場合、使用できない領域が生じてしまいます。



Synology Hybrid RAID(SHR)は一般的なRAIDの構成では使用できない領域を効率よくRAIDとして組み込むことを可能にします。これによりストレージとして使用できる領域を最大化し、同時にHDD内上のデータもRAIDの冗長化機能により保護される仕組みを提供します。



■一般的な RAID との比較

	一般的な RAID	Synology Hybrid RAID (SHR)
RAIDタイプの選択	1つのRAIDタイプを選択して使用する。各HDDの領域を柔軟に利用できない。	多様なRAIDタイプを組み合わせ使用可能容量を最大化することが可能。各HDDの領域を柔軟に利用できる。
使用可能容量を拡張する場合	使用可能容量を増やすためには全てのHDDを入れ替える必要がある。	HDDの領域を柔軟に使用できるため一部のHDDを入れ替えることで使用可能容量を増やせる。

以上のようにHDDを追加し、容量を増加させる際に柔軟なRAID構成を実現できる特徴があります。

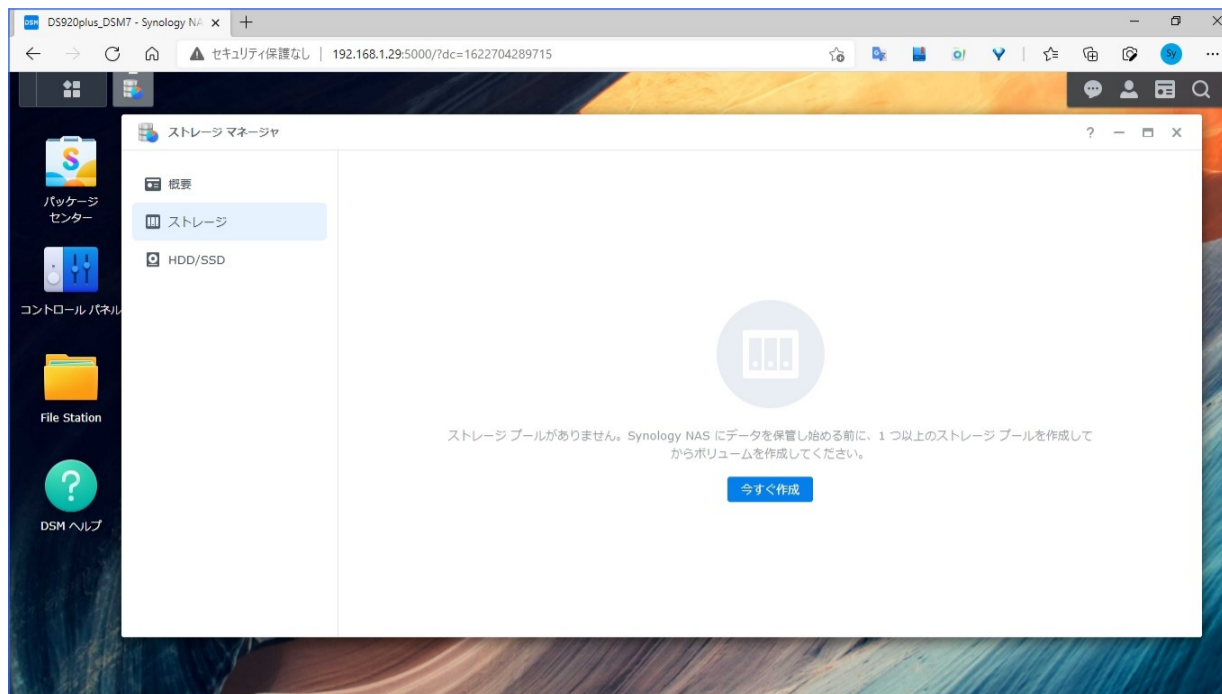
HDDの追加だけでなく、既存のHDDを大容量のHDDに入れ替えてストレージ容量を増加させる場合も効果があります。

あらかじめHDD構成の変更を検討されている、将来2ベイモデルから4ベイ以上のNASモデルへのアップグレードを考えられている場合は、初期セットアップ時にSHR構成とされることをお勧めします。

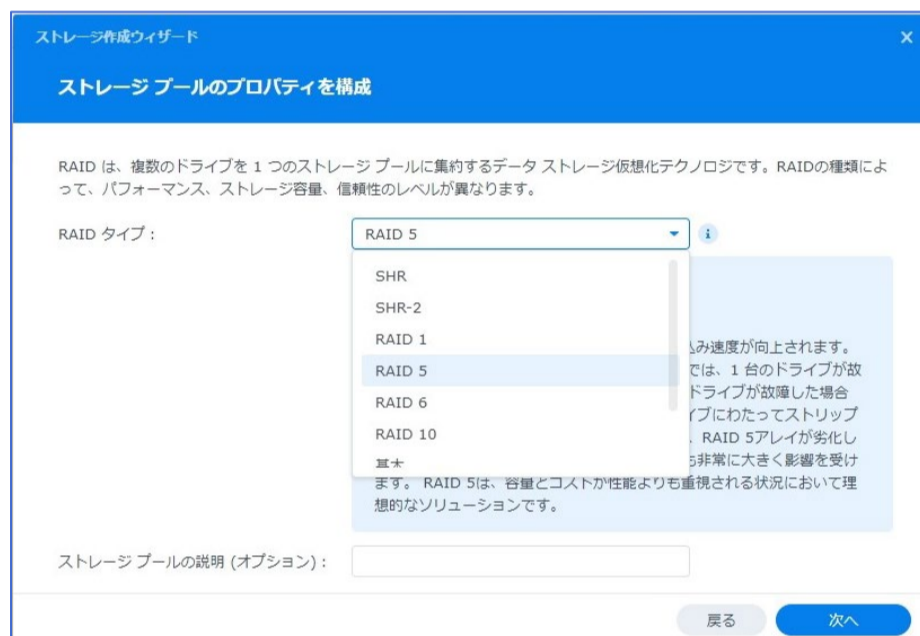
7.2 ストレージプール作成(応用編)

今回はSHR以外のRAID構成を設定する際のストレージプールの作成方法についてご紹介いたします。

1. まず、メインメニューにあるストレージマネージャを開きます。ストレージプールの[今すぐ作成]をクリックします。



2. ストレージプールのプロパティを構成します。RAIDの種類に関しては[7.1 RAIDの種類と保護レベル]を参照ください。



3. ドライブを選択してください。作成するRAIDによって必要なドライブ数が異なります。



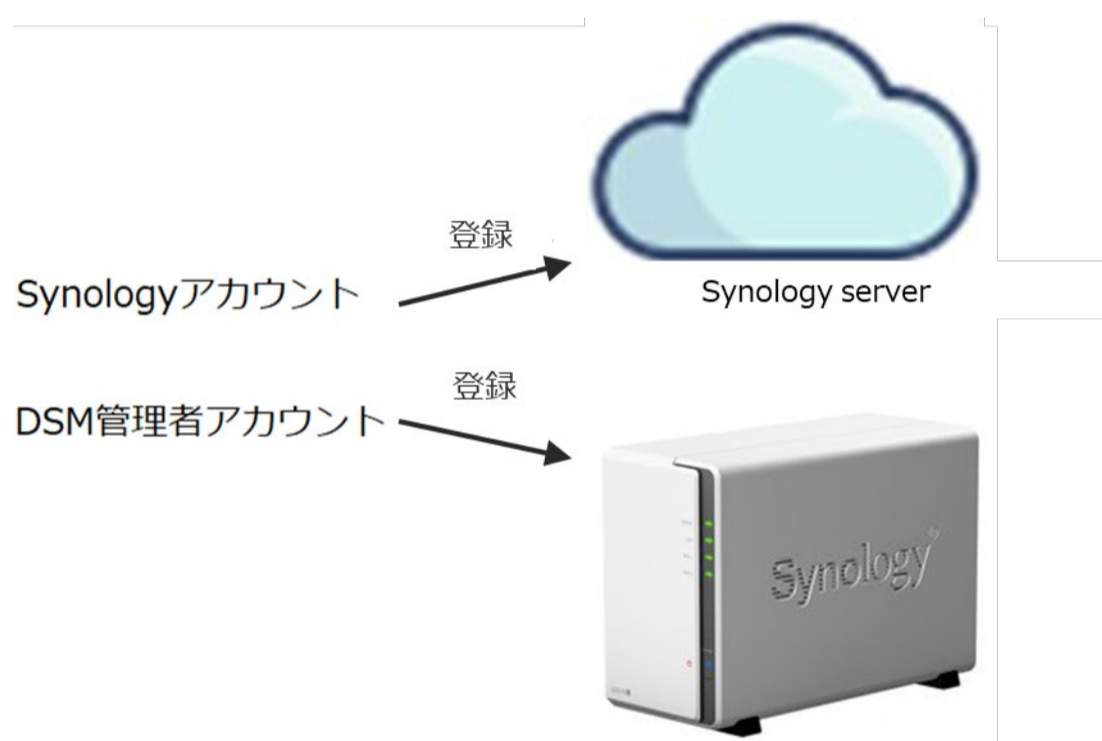
4. 以降は[2.2 ストレージプール作成]の6.以降と手順は一緒ですのでご確認ください。

7.3 DSM管理者アカウントとSynologyアカウントの違い

NAS管理者にはSynology NASを使用するにあたって2種類のアカウントを使い分けていただきます。

[2.1 Web Assistantを使用してDSMをインストールする]で、NASの管理者アカウントを設定し、次に[3.6 QuickConnectの設定方法]でQuickConnect IDを作成する際にSynologyアカウントを作成しました。両者の違いは、DSMユーザーアカウント情報はご自身がお使いのNASに保存され、Synologyアカウントの情報は弊社のサーバーで保存される点です。もし、Synologyアカウントのパスワードを忘れてしまいログインできない場合は弊社Synologyアカウントのウェブサイトよりパスワードを変更することが可能ですが、DSMユーザーアカウントについてはDSMでパスワードを再設定する必要があります。

ここではDSM管理者アカウント(DSMユーザーアカウントの種類の一つ)とSynologyアカウントの機能を紹介します。



■ DSMユーザーアカウントの機能紹介

1. お使いのNASでのみ使用可能なDSM用のアカウントです。DSMユーザーアカウント情報はお客様のNASに保存されています。
2. DSMへログイン用のユーザーID(名)となります。NASの共有フォルダにアクセスする際のユーザーID(名)として使用します。
3. 初期設定時に「管理者アカウントを作成」の画面にて設定した「ユーザー名」と「パスワード」が「DSM管理者アカウント」となります。
 - (DSMユーザーアカウントには「administrators(管理者権限グループ)」と「users(一般ユーザーグループ)」の種類があり、役割が異なります。)
4. WindowsやMacOSからファイルサーバーサービスにアクセスする権限を管理する際にもこちらのIDを使用します。

■ Synologyアカウントの機能紹介

1. Synologyが提供するQuickConnect機能やDDNS機能を使用するために必要なアカウントです。
2. Synologyがサービスを提供するため、お客様の情報(NAS、ライセンス購入情報など)を紐づけるために使用しています。
3. 複数台のNAS、Synology DDNS及び各NASのライセンスが管理できます。
4. Synologyアカウントへのログインは下記URLから可能です。

・ Synologyアカウントへのログイン : [<https://sy.to/gvgls>]



参考情報:

・ SynologyアカウントとDSMユーザーアカウントの間の違いは? : [<https://sy.to/aomjz>]



7.4 よくあるお問い合わせ

Synology公式ウェブサイトで各種FAQを掲載しております。FAQの確認方法については[6.1 Synology公式ウェブサイト確認方法]をご確認ください。

ここではその中でもよくあるお問い合わせの一部を抜粋しました。

カテゴリ	質問	短縮化URL	QRコード
SMB	Windows PCからローカルネットワーク内のNASにファイルを保存する方法は？	https://sy.to/zvy2e	
	SMBでMicrosoft Officeファイルを開くと、編集できないのはなぜですか？	https://sy.to/xx7hw	
	NASがWindows File Explorerに表示されません。どうすればいいですか？	https://sy.to/5jfqd	
Synology Assistant	Synology AssistantとWeb Assistantのデバイスステータスは何を意味していますか？	https://sy.to/hgowd	
	ローカルネットワーク上のNASに接続できません。どうすればいいですか？	https://sy.to/ap2ek	
アカウント	SynologyアカウントとDSMユーザーアカウントの違いは何ですか？	https://sy.to/aomjz	
ストレージ	不良セクター警告を受け取ったとき、ドライブの健康状態をどのように診断できますか？	https://sy.to/iguc7	
	ファイルシステムエラーが発生した場合はどうしたらいいですか？	https://sy.to/rxh2t	
セキュリティ	NASのセキュリティを強化するために何ができますか？	https://sy.to/pr9rg	
	パスワードリセットの電子メールが届かない場合はどうすればいいですか？	https://sy.to/28bbw	
	誰かが私のアカウントを使ってDSMにログインした場合、どうすればいいですか？	https://sy.to/mhczs	
ネットワーク	DSMサービスで使用するネットワークポートは何ですか？	https://sy.to/anvno	
	インターネットを介したNASへのアクセスとファイル共有	https://sy.to/q7fhp	
	QuickConnectからSynologyデバイスにアクセスできません。どうすればいいですか？	https://sy.to/02q81	
	パッケージセンターに接続できないのはなぜですか？	https://sy.to/ierc6	

カテゴリ	質問	短縮化URL	QRコード
ハードウェア	NASが起動せず、電源LEDインジケータが点滅し続けます。どうすればいいですか？	https://sy.to/dhmra	
	NAS本体の不具合が考えられる場合の確認手順	https://sy.to/24wpo	
	不具合 HDDの診断と対応 - シーゲート版	https://sy.to/qmdzm	
	不具合 HDDの診断と対応 - WD社用	https://sy.to/hxikh	
	「不適切なシャットダウン」の通知が何度も届きます。どうすればいいですか？	https://sy.to/7n9i9	
	Synology サーバーのメモリを拡張してパフォーマンスを向上させる方法	https://sy.to/u9nwy	
	NASがハイバネーションに入らないのはなぜですか？	https://sy.to/rbfin	
	STATUSまたはALERT LEDインジケータがオレンジ色に点滅または点灯し続けます。どうすればいいですか？	https://sy.to/udazb	
バックアップ/ 復元	以前のHyper Backupタスクからシステム設定、パッケージ、およびデータを復元する方法は？	https://sy.to/0drgt	
	Hyper Backupでデータを複数の外部USBデバイスにバックアップするには？	https://sy.to/beaw0	
メディア サーバー	アクセス制限を設定した後も、音楽、写真、ビデオのフォルダにアクセスできます。どうすればいいですか？	https://sy.to/lwlip	
モバイル アプリ	Synologyモバイルアプリでビデオを再生しているときに証明書エラーが発生した場合はどうしたらいいですか？	https://sy.to/hucjo	
リセット	NASをリセットするには？ (DSM 6.2.3 以前の場合)	https://sy.to/grfm7	
	NASをリセットするには？ (DSM 6.2.4以降の場合)	https://sy.to/5c0ax	
リソース モニター	NASのCPU使用率が高い場合はどうしたらいいですか？	https://sy.to/ko5hw	
ログイン	DSMアカウントにサインインできない場合はどうしたらいいですか？	https://sy.to/wbbu2	
ログセンター	予期しないファイル変更の理由は何ですか？	https://sy.to/cufgv	
互換性	Synology製品互換性リストにないデバイスを使用できますか？	https://sy.to/dicbe	

カテゴリ	質問	短縮化URL	QRコード
よくある質問集	一般的なセットアップに関するよくある質問 (LiveChatから収集)	https://sy.to/wqh0y	
	DSMアップデートに関するよくある質問	https://sy.to/1zkc3	
	SMBファイルサービスに関するよくある質問	https://sy.to/uczo1	
	Synology SSDキャッシュの使用に関するよくある質問	https://sy.to/olsox	
	Synologyアカウントへのアクセスに関するよくある質問	https://sy.to/wuhvf	
	Synology DDNSサービスに関するよくある質問	https://sy.to/bli6t	
	安全でない接続と証明書に関するよくある質問	https://sy.to/wtmj0	
	ファイルとフォルダのアクセス許可に関するよくある質問	https://sy.to/9ptsv	
	物理的なネットワークポートとUSBポートに関するよくある質問	https://sy.to/3zm1l	
外部ストレージデバイス	USBデバイスがNASで動作しません。どうすればいいですか？	https://sy.to/x0xmm	

7.5 オンライン上の説明とナレッジベース

<p>Synology Japan 公式YouTubeチャンネル</p> 	<p>初心者から中級者まで幅広いお悩みに対する解決策やNASを使う上での役立つポイントをご紹介します！ コンテンツ追加のため日々作成中！</p> <p>https://sy.to/9clwg</p> 
<p>Synology 台湾本社 公式YouTubeチャンネル</p> 	<p>Synologyの最新の情報をお届け！ 日本語字幕付き動画ですのでぜひご視聴ください。</p> <p>https://sy.to/hhsl</p> 
<p>ホームネットワーク研究所</p>	<p>65歳からブログを開始し、NASの使用方法についてご紹介しています！ NASが簡単に操作できることを体感いただいています。</p> <p>https://sy.to/b0ezm</p> 
<p>Synology FAN</p>  <p>Synologyの総合情報サイト</p>	<p>Synologyの使い方やNASの選び方、NASとは何かなどを紹介しております。 初めてNASを使用する方必見！</p> <p>https://sy.to/rstto</p> 
<p>株式会社アスク</p> 	<p>弊社販売代理店 法人様へは貸出サービスなどを行っております。</p> <p>https://sy.to/a3ssh</p> 

Loggy®

SYNOLOGY INC.

9F, No. 1, Yuan Dong Rd.
Banqiao, New Taipei 22063
Taiwan
電話: +886 2 2955 1814

SYNOLOGY AMERICA CORP.

3535 Factoria Blvd SE, Suite #200,
Bellevue, WA 98006
USA
電話: +1 425 818 1587

SYNOLOGY UK LTD.

Unit 5 Danbury Court, Linford Wood,
Milton Keynes, MK14 6PL,
United Kingdom
電話: +44 (0) 1908048029

SYNOLOGY FRANCE

102 Terrasse Boieldieu (TOUR W)
92800 Puteaux
France
電話: +33 147 176288

SYNOLOGY GMBH

Grafenberger Allee 295
40237 Düsseldorf
Deutschland
電話: +49 211 9666 9666

SYNOLOGY SHANGHAI

200070, Room 201,
No. 511 Tianmu W. Rd., Jingan Dist., Shanghai,
China

SYNOLOGY JAPAN 株式会社

〒101-0031 東京都
千代田区東神田 3-1-2
ユニゾ東神田三丁目ビル 4F

Synology®



synology.com

2021.07 Ver A.

Synology では仕様・製品説明を随時予告なく変更する場合があります。Copyright © 2021 Synology Inc. All rights reserved. Synology® および Synology 製品のその他の名称は、Synology Inc. の商標または登録商標です。本書に記載されているその他の製品名および会社名は各所有権利者の商標です。